山崎遺跡土坑観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
1号土坑	24住北東2m	92×92	41	実測図	神ノ木、諸磯、曽利Ⅰ～Ⅱ式小破片。
2号土坑	22住南東2m	145×145	35	実測図	藤内式土器1個体。
3号土坑	26住西11m	95×95	173	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が混じる。	諸磯式小破片。
4号土坑	26住西10m	113×95	12	実測図	曽利Ⅰ式。顕著に摩滅した土器破片、磨製石斧破片2が接合する。
5号土坑	20住南10m	105×100	12	実測図	井戸尻式か。磨石類1、ミニチュア石皿1。
6号土坑	20住南2m	75×74	35	10YR4/4(褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	諸磯式か、小破片。
7号土坑	35住北西3m	98×86	31	10YR4/4(褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が混じる。	
8号土坑	24住北東壁	380×380	30	実測図	24住に切られる。曽利Ⅰ・Ⅱ式土器。
9号土坑	20住南8.5m	68×60	6	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
10号土坑	20住東5m	103×-	35	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	11号土坑を切る。諸磯式併行の果梅系土器か、井戸尻式
11号土坑	20住東5m	90×-	32	10YR4/4(褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	井戸尻式小破片。
12号土坑	26住南西8.5m	59×50	16	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	
13号土坑	26住南西7.5m	45×45	15	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
14号土坑	26住南西4m	96×90	22	7.5YR2/3(極暗褐)シルト粒土に焼土粒子1%混じる。しまる。	
15号土坑	26住南西5m	53×41	16	10YR4/6(褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が20%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。固くしまる。	
16号土坑	26住南西5m	66×47	19	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	
17号土坑	20住西1m	47×32	39	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまりなし。	中期中葉。
18号土坑	17住西14m	48×30	34	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
19号土坑	17住西14.5m	62×62	39	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	
20号土坑	17住西14m	65×57	28	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
21号土坑	17住西13m	92×92	32	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	
22号土坑	17住西14.5m	57×47	9	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
23号土坑	17住西14m	37×-	16	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。	24号土坑と切りあう。
24号土坑	17住西14m	50×-	14	10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる	23・25号土坑と切りあう。
25号土坑	17住西14 m	37×35	34	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	24号土坑と切りあう。
26号土坑	26住内	120×117	30	暗褐色土に褐色土がまじる。	26住を切る。
27号土坑	17住西14 m	70×40	18	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が15%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が1%、焼土粒子1%混じる。ややしまる。	
28号土坑	17住西14 m	57×40	17	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)」シルト粒土が5%混じる。しまる。	
29号土坑	17住西14.5 m	43×39	13	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
30号土坑	20住北5m	39×40	41	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片3。
31号土坑	欠番				
32号土坑	欠番				
33号土坑	4住西6m	60×70	26	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が30%、10YR3/3(暗褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
34号土坑	欠番				
35号土坑	26住西8m	67×59	33	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR6/8(明黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	諸磯式、曽利Ⅰ～Ⅱ式破片。
36号土坑	調査区西側通路	59×35	20	10YR4/4(褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	
37号土坑	調査区西側通路	47×36	26	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片。
38号土坑	調査区西側通路	36×28	18	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
39号土坑	調査区西側通路	80×76	42	実測図	井戸尻式3段階2個体、被熱した礫。
40号土坑	調査区西側通路	45×41	28	10YR4/6(褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる	
41号土坑	調査区西側通路	48×46	30	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が混じる。	
42号土坑	調査区西側通路	96×93	9	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
43号土坑	調査区西側通路	94×92	10	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式。
44号土坑	調査区西側通路	130×130	5	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐が混じる。	井戸尻式小破片、焼土。
45号土坑	欠番				
46号土坑	30住北2m	110×90	18	10YR3/3(暗褐)に10YR4/(褐)が混じる。	
47号土坑	調査区西側通路	50×40	22	10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が混じる。	

山崎遺跡土坑観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
48号土坑	調査区西側通路	40×39	13	1層10YR3/4(暗褐)シルト粒土　2層10YR5/8(黄褐)シルト粒土。しまる。	
49号土坑	調査区西側通路	56×56	22	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
50号土坑	調査区西側通路	48×40	25	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	
51号土坑	調査区西側通路	43×40	17	10YR2/3(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が混じる。	井戸尻式小破片。
52号土坑	調査区西側通路	43×32	16	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が3%混じる。ややしまる。	
53号土坑	調査区西側通路	44×43	22	10YR3/3(暗褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が混じる。	
54号土坑	調査区西側通路	43×40	25	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が3%混じる。ややしまる。	
55号土坑	調査区西側通路	35×30	18	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が混じる。	
56号土坑	調査区西側通路	29×23	15	10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	
57号土坑	4住内	74×74	16	10YR3/2(黒褐)に10YR4/6(褐)が混じる。	
58号土坑	4住内	90×80	70	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が混じる。	東に隣接する別の住居の柱穴か。柱痕なし。
59号土坑	4住南東0.5m	70×53	40	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。	別の住居の柱穴か。柱痕あり。
60号土坑	4住南0.5m	65×65	35	10YR3/4(暗褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が混じる。	
61号土坑	欠番				
62号土坑	4住南東0.5m	82×82	35	実測図	五領ヶ台式破片。1住出土品とよく似た乳白色胎土の縄文地文破片。
63号土坑	調査区西側通路	127×127	18	10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)、10YR4/5(にぶい黄褐)が混じる。	中越式、十三菩提式併行小破片。
64号土坑	調査区西側通路	90×-	55	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)、10YR5/6(黄褐)が混じる。	40gの黒曜石原石、上層は撹乱。
65号土坑	調査区西側通路	40×40	10	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が25%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
66号土坑	調査区西側通路	46×40	13	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が15%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が1%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
67号土坑	30住北9m	35×32	12	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	
68号土坑	30住北9m	28×28	41	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	
69号土坑	30住北8m	34×34	13	10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	
70号土坑	30住北3.5m	42×41	17	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が15%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
71号土坑	2住内	200×200	45	実測図	諸磯b2式の浅鉢破片。1号、2号住と接合する土器破片あり。
72号土坑	27住東0.5m	81×81	68	実測図	中越式、諸磯c式小破片。
73号土坑	27住北壁	112×112	62	10YR3/3(暗褐)に10YR6/6(明黄褐)が混じる。	諸磯式か、磨石類1。
74号土坑	27住内	127×113	9	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中越式小破片、磨石類1。
75号土坑	27住内	68×60	17	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	磨石類1。
76号土坑	35住南壁	77×67	18	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	27住を切る。
77号土坑	31住西11m	180×141	38	実測図	骨片、滑石製のビーズ状製品、曽利Ⅰ式。
78号土坑	35住北西2.5m	46×46	13	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が20%混じる。しまる。	
79号土坑	35住北西6m	94×53	42	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	土器小破片。
80号土坑	24住西5m	94×94	29	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が15%、10YR2/3(黒褐)シルト粒土が10%、炭化粒子2%混じる。しまる。	井戸尻式の小破片か。
81号土坑	24住北西3m	135×135	52	10YR2/3(黒褐)シルト粒土。しまる。	中越式、諸磯式。
82号土坑	欠番				
83号土坑	20住北東4m	95×95	28	10YR3/3(暗褐)シルト粒土。固くしまる。	諸磯式か、小破片2。
84号土坑	17住南西7m	72×72	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土。固くしまる。しまる。	中越式か、小破片。
85号土坑	20住北4.5m	56×60	46	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	下部に石あり。
86号土坑	20住内	65×45	39	10YR5/4(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	土器小破片。
87号土坑	20住内	120×80	33	10YR4/4(褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が混じる。	諸磯式か、小破片。
88号土坑	20住内	60×40	47	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	曽利Ⅰ式か。
89号土坑	35住南壁	80×80	20	10YR3/4(暗褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が混じる。	76号土坑を切る。
90号土坑	1住北西壁	102×102	25	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が混じる。	1住に切られる。
91号土坑	18住東0.5m	152×152	55	10YR3/4(暗褐)に10YR/58(黄褐)が斑に混じる。	磨石類1。
92号土坑	20住北3m	48×43	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%、炭化粒子2%、焼土粒子3%混じる。しまる。	曽利Ⅰ式か、小破片2、磨石類1。
93号土坑	20住北3.5m	34×33	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土。しまる。	
94号土坑	17住西12.5m	55×51	10	10YR4/6(褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	

山崎遺跡土坑観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
95号土坑	26住西7m	51×44	25	10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	諸磯式、井戸尻式小破片。
96号土坑	20住北5m	35×23	35	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中期小破片。
97号土坑	20住北4.5m	64×58	50	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子2%混じる。しまる。	下部に石多数。井戸尻3段階か。
98号土坑	20住北5m	30×24	38	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子3%混じる。しまる。	曽利Ⅰ式か、小破片4、118号土坑に切られる。
99号土坑	20住北6m	30×30	10	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	
100号土坑	17住西壁	108×108	38	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	17住に切られる。
101号土坑	20住北5m	62×43	43	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が3%混じる。ややしまる。	
102号土坑	17住北西壁	105×123	28	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	17住に切られる。
103号土坑	欠番				
104号土坑	34住内	70×66	57	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が混じる。	
105号土坑	17住南西2m	135×135	51	10YR3/4(暗褐)に10YR6/6(明黄褐)が混じる。	106号土坑を切る。
106号土坑	17住南西2m	80×80	15	10YR3/3(暗褐)に10YR6/6(明黄褐)が混じる。	105号土坑、107号土坑に切られる。
107号土坑	17住南西2m	110×110	22	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が混じる。	
108号土坑	36住南壁	128×128	30	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が混じる。	34住に切られる。前期前葉の繊維土器、諸磯b式土器。形状から128号、129号土坑と同じく曽利式期の遺構と思われる。
109号土坑	24住東1m	143×110	21	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	焼成粘土塊。
110号土坑	27住東1m	93×93	16	7.5YR2/3(極暗褐)に7.5YR3/4(暗褐)が20%混じる。固くしまる。	中越式小破片。
111号土坑	24住北1m	78×65	9	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/4(にぶい黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
112号土坑	24住北東2m	101×101	34	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	
113号土坑	39住西壁	120×110	12	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	神ノ木式、諸磯式、磨石類1、打製石斧1。
114号土坑	6住内	125×110	46	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	6住を切る。68gの黒曜石原石。中越式、諸磯a式
115号土坑	38住西0.5m	101×101	61	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	諸磯式か。
116号土坑	35住西1m	85×85	61	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。ややしまる。	中越式、神ノ木式、中期小破片。
117号土坑	38住内	130×100	20	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が2%混じる。ややしまる。	
118号土坑	20住北5m	50×38	10	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子3%混じる。しまる。	98号土坑を切る。諸磯式か、小破片1。
119号土坑	6住北壁	120×120	26	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	6住を切る。井戸尻式の鉢形土器、浅鉢。
120号土坑	38住内	75×75	28	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%混じる。ややしまる。	
121号土坑	36住南東1m	99×99	21	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	137号土坑と切りあう。
122号土坑	27住北2m	144×144	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	123号土坑に切られる。
123号土坑	27住北3m	107×107	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	122号土坑と126号土坑を切る。井戸尻式3段階。
124号土坑	38住西1m	100×60	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が7%混じる。ややしまる。	井戸尻式か、小破片。
125号土坑	38住内	170×150	49	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
126号土坑	27住北3m	98×98	25	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	123号土坑に切られる。頁岩製打製石斧1。
127号土坑	38住南西1m	170×140	47	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%混じる。ややしまる。	諸磯a、曽利Ⅴ式の2個体。曽利Ⅴ式を埋納した土坑に諸磯式破片がまとめて入れてある。
128号土坑	36住南壁	125×120	25	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/2(黒褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	36住を切る。曽利式破片、被熱した磨石類1。
129号土坑	36住北東壁	135×135	42	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に炭化粒子2%、焼土粒子1%混じる。しまる。	37住を切る。曽利Ⅳ式破片、磨石類1。
130号土坑	37住内	90×90	50	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に炭化粒子2%混じる。しまる。	貼床状の黄褐色土が上層で検出された。34号住居床面か。152号ピットを切る。井戸尻式の浅鉢。
131号土坑	6住北壁	107×107	30	10YR2/3(黒褐)シルト粒土。しまる。	6住を切る。
132号土坑	25住南西2m	118×118	11	7.5YR3/4(暗褐)に7.52/2(黒褐)が15%、7.5YR5/8(明褐)が3%混じる。しまる。	中越式小破片2。
133号土坑	6住北壁	120×-	43		6住と切りあうが、新旧関係不明。
134号土坑	6住西壁	78×-	44		6住と重複。新旧不明、諸磯式か、小破片
135号土坑	40住南壁	120×120	25	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が15%、炭化粒子1%混じる。しまる。	関山、神ノ木、木島式、213号土坑出土の関山式破片と同一個体
136号土坑	36住内	62×62	30	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が15%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	155号ピットを切る。石皿破片1、台石か1、礫、34号住居貯蔵穴か。
137号土坑	39住西1m	121×100	22	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/4(にぶい黄褐)シルト粒土が20%、10YR2/3(黒褐)が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	121号土坑に切られる。中越式。
138号土坑	38住内	63×63	24	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が1%、炭化粒子1%混じる。しまる。	

山崎遺跡土坑観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
139号土坑	38住内	58×58	19	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、混じる。しまる。	
140号土坑	26住北0.5m	98×98	29	10YR4/4(褐)シルト粒土。しまる。	中期中葉か、小破片。
141号土坑	26住北西1.5m	82×82	21	10YR4/3(にぶい黄褐)。しまる。	
142号土坑	24住北西2m	96×96	25	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が7%混じる。固くしまる。	
143号土坑	22住南3.5m	94×94	22	10YR3/2(黒褐)シルト粒土。しまる。	
144号土坑	24住東3m	136×136	34	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、10YR4/4(褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	中越、諸磯、井戸尻式小破片。
145号土坑	22住南4m	120×120	58	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が20%混じる。しまる。	井戸尻3段階小破片。
146号土坑	欠番				
147号土坑	38住北西1m	113×113	43	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が30%混じる。固くしまる。	頁岩の二次加工剥片。
148号土坑	17住南西7.5m	64×64	31	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式。
149号土坑	20住東5m	90×90	16	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	
150号土坑	17住南西6.5m	90×70	26	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、焼土粒子1%混じる。しまる。	諸磯か、小破片2。
151号土坑	24住北東4m	80×70	22	10YR3/2(黒褐)シルト粒土。しまる。しまる。	頁岩製打製石斧1、ミニチュア石皿1、石皿破片1、曽利Ⅰ式1個体。
152号土坑	17住南西5.5m	80×75	12	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が15%混じる。しまる。	
153号土坑	欠番				
154号土坑	24住北東4m	116×116	30	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)」シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	曽利Ⅱ式、柱穴の可能性あり。
155号土坑	38住内	58×58	28	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)」シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	156号土坑に切られる。
156号土坑	38住内	79×79	30	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
157号土坑	38住内	49×49	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	158号土坑を切る。
158号土坑	38住内	30×-	19	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
159号土坑	24住北東3m	130×90	29	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が20%、10YR4/4(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	曽利Ⅰ式か、小破片。
160号土坑	38住内	180×180	25	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、焼土粒子1%混じる。しまる。	石皿破片。
161号土坑	6住東壁	140×100	17	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
162号土坑	6住東壁	130×110	25	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
163号土坑	24住北東3.5m	100×90	57	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が20%、10YR4/3(にぶい黄褐)んシルト粒土が5%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片。
164号土坑	24住北3m	98×70	49	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	諸磯式、曽利式小破片。
165号土坑	24住北東4m	40×30	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子2%混じる。ややしまる。	159、154、151号土坑に切られる。
166号土坑	24住南東0.5m	63×50	7	10YR4/6(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	溶岩状の多孔質礫。
167号土坑	38住内	120×100	45	10YR2/2黒褐に10YR4/4褐が混じる	175号土坑と重複。
168号土坑	37住北0.5m	116×116	22	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が15%、炭化粒子2%混じる。しまる。	曽利式か小破片、磨石類1。
169号土坑	欠番				
170号土坑	24住南東2m	66×66	18	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	
171号土坑	6住北西0.5m	140×130	21	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	黒曜石石鏃1、中越式、諸磯式小破片。
172号土坑	39住東5m	80×40	27	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
173号土坑	39住東2m	80×60	30	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	黒曜石石鏃未成品1、中越式小破片。
174号土坑	36住北東3m	93×93	35	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	木島式、中越式。
175号土坑	36住北東2.5m	110×110	22	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が15%混じる。しまる。	
176号土坑	39住東4.5m	70×70	30	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR3/2(黒褐)シルト粒土が15%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中越式小破片。
177号土坑	6住北1m	90×90	31	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中越式、神ノ木式小破片。
178号土坑	39住東3m	105×90	20	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	曽利Ⅰ式小破片。
179号土坑	6住東0.5m	53×53	23	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
180号土坑	欠番				
181号土坑	47住内	200×120	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	神ノ木式が主、五領ヶ台式1、井戸尻式3段階小破片、磨石類1。
182号土坑	28住西1m	110×110	49	10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が混じる。	黒曜石石鏃1、神ノ木式、諸磯a式小破片。
183号土坑	6住内	50×40	13	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が10%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が1%、炭化粒子5%、焼土粒子2%混じる。固くしまる。	6住を切る、中越式小破片。
184号土坑	38住内	59×59	19	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が20%混じる。しまる。	

山崎遺跡土坑観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
185号土坑	6住北壁	150×120	30	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	129号土坑・215号ピットと切りあう。
186号土坑	36住北東0.5m	111×111	27	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	171号土坑に切られる。
187号土坑	47住東3m	112×112	27	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	磨石類2。
188号土坑	欠番				
189号土坑	39住内	100×100	50	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	39住を切る。黒曜石使用痕剥片1、中越式小破片。
190号土坑	17住内	82×82	25	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土がブロックで7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
191号土坑	39住東2m	150×106	16	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	173号土坑に切られる。
192号土坑	39住東6m	61×61	16	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
193号土坑	欠番				
194号土坑	欠番				
195号土坑	欠番				
196号土坑	17住内	110×90	38	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が10%、10YR4/6(褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	17住を切る。
197号土坑	21住内	80×50	51	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が30%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	
198号土坑	18住内	79×79	29	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土がブロックで2%、炭化粒子2%混じる。ややしまる。	
199号土坑	22住南4.5m	120×120	60	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土がブロックで5%、炭化粒子2%混じる。しまる。	曽利Ⅱ式の大形破片2、礫。
200号土坑	5住内	97×80	38	上部　10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。 下部　10YR5/4(にぶい黄褐)シルト粒土に炭化粒子1%混じる。固くしまる。	住居の床が乗ってない。貯蔵穴か。曽利Ⅰ～Ⅱ式の土器底部が出土。
201号土坑	5住内	87×75	44	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	住居の床が乗ってない。貯蔵穴か。
202号土坑	25住北東1m	95×90	23	10YR2/3(黒褐)シルト粒土。しまる。	浅い土坑。桑株の抜根にしては固くしまった土。
203号土坑	9住内	107×107	32	上部　10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。 下部　10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土あ30%混じる。しまる。	18住を切る。
204号土坑	21住西0.5m	112×112	19	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
205号土坑	46住南西3m	112×112	38	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	井戸尻式3段階から曽利Ⅰ式1個体。砂岩製打製石斧1。
206号土坑	44住東壁	150×100	32	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に炭化粒子1%混じる。しまる。	後期か、小破片。
207号土坑	31住内	80×80	17		集石土坑。
208号土坑	17住東壁	120×90	33	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	460号ピットを切る。石鏃。
209号土坑	44住内	92×92	32	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中越式、神ノ木式、諸磯式a、台石破片1、石皿破片1。
210号土坑	21住内	114×114	24	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
211号土坑	45住内	155×-	24	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%ん混じる。しまる。	諸磯か、小破片。
212号土坑	32住北壁	140×117	21	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%まじる。しまる。	
213号土坑	32住内	130×115	19	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が1%、炭化粒子1%混じる。しまる。	214号土坑を切る。中越式、神ノ木式、関山式。
214号土坑	32住内	83×83	56	1層　10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。 2層　10YR5/6(黄褐)シルト粒土に10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。　3層　10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	213号土坑に切られる。諸磯b式が主。十三菩提式併行期の土器、中越式、曽利式破片も混じる。
215号土坑	47住内	135×85	22	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
216号土坑	33住内	150×100	6	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が30%混じる。しまる。	
217号土坑	33住内	101×101	30	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	45住に切られる。神ノ木式、諸磯式か、台石状の礫半欠1
218号土坑	33住西0.5m	83×83	12	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%混じる。しまる。	
219号土坑	33住北西1m	123×100	8	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が7%混じる。	
220号土坑	45住内	102×102	23	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じる。しまる。	472号ピットと切りあうが新旧不明。井戸尻式3段階から曽利Ⅰ式。
221号土坑	44住北1m	115×115	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じるややしまる。	中越、神ノ木、関山、井戸尻式のやや大きめの底部破片、台石か炉石1、打製石斧破片1、磨石類1。
222号土坑	33住西1m	79×79	19	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が10%混じる。ややしまる。	
223号土坑	47住内	107×70	14	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じる。ややしまる。	
224号土坑	45住内	75×75	36	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	神ノ木式。
225号土坑	48住北西3.5m	150×130	19	1層　10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が15%、炭化粒子2%混じる。しまる。 2層　10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子2%混じる。しまる。	曽利Ⅰのやや大形の破片。
226号土坑	47住内	70×70			181号土坑内。

山崎遺跡土坑観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
227号土坑	28住北0.5m	108×108	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片。
228号土坑	25住東1m	94×94	57	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式の大形破片。
229号土坑	25住東3m	122×122	54	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	曽利Ⅰ式。
230号土坑	28住東3.5m	75×55	12	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒1%混じる。しまる。	
231号土坑	21住南1m	80×56	20	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	頁岩の二次加工剥片1式。
232号土坑	28住東7m	130×100	11	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式、小破片。
233号土坑	28住南東11m	65×65	8	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	諸磯式か、小破片。
234号土坑	28住南東12m	67×67	15	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
235号土坑	47住東18m	105×105	41	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式の大形口縁部破片。
236号土坑	28住東9m	48×48	12	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
237号土坑	28住南東13.5m	79×79	15	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片。
238号土坑	31住西壁	80×-	30	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が20%混じる。しまる。	
239号土坑	31住北壁	140×-	32	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が20%混じる。しまる。	
240号土坑	28住東6.5m	110×110	10	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に炭化粒子1%混じる。しまる。	
241号土坑	28住北東1.5m	60×60	12	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	
242号土坑	47住東4m	77×77	25	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	木島式、諸磯式か、小破片。
243号土坑	47住東15m	140×140	30	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻式3段階、礫
244号土坑	47住東8m	91×91	22	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子3%、焼土粒子5%混じる。しまる。	黒曜石使用痕剥片1、中期中葉小破片
245号土坑	33住東15m	123×123	38	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	土器小破片、磨石類1
246号土坑	33住東15.5m	53×53	9	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。ややしまる。	
247号土坑	47住東18m	140×140	19	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が15%、炭化粒子1%混じる。しまる。	神ノ木式小破片。
248号土坑	43住東9.5m	62×62	15	10YR5/6(黄褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	
249号土坑	47住東6m	38×38	16	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
250号土坑	33住東12m	120×120	52	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
251号土坑	33住東9m	110×110	23	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じる。しまる。	頁岩製のミニチュア石匙1、中越式、神ノ木式小破片。
252号土坑	33住東4m	111×111	30	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が10%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。ややしまる。	井戸尻式3段階から曽利Ⅰ式2個体。
253号土坑	33住東5m	51×51	15	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が15%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中期か、小破片。
254号土坑	33住東16m	72×72	11	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%混じる。ややしまる。	
255号土坑	47住南東5m	80×80	27	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じる。しまる。	曽利Ⅰ式か、小破片。
256号土坑	28住東8m	82×82	12	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	252号土坑と別の方が新旧不明、井戸尻3～曽利Ⅰ式
257号土坑	33住東5m	92×92	27	10YR4/6(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%、焼土粒子1%混じる。しまる。	諸磯式か、小破片。

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
1号ピット	27住内			微細図あり	
2号ピット	27住内			微細図あり	
3号ピット	27住内			微細図あり	
4号ピット	27住内			微細図あり	
5号ピット	27住内			微細図あり	
6号ピット	27住内			微細図あり	
7号ピット	24住内	30×30	60	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が2%、炭化物粒子が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
8号ピット	24住内	45×40	52	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が10～30%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
9号ピット	24住内	31×31	52	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、10YR5/6(黄褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
10号ピット	24住内	50×40	60	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2%、炭化物粒子が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
11号ピット	30住内	42×33	57	10YR2/3(黒褐)に10YR/5/4(にぶい黄褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が3%混じる。ややしまる	12号ピットを切る。
12号ピット	30住内	33×33	32	10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が5%、10YR5/6(黄褐)が1%混じる。ややしまる	
13号ピット	29住内	44×43	12	10YR3/3(暗褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が15%混じる。焼土が5%混じる。ややしまる	
14号ピット	30住内	22×22	43	10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が5%、10YR5/6(黄褐)が5%混じる。ややしまる	
15号ピット	29住内	25×15	25	10YR3/4(暗褐)に炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
16号ピット	30住内	25×25	23		
17号ピット	29住内	40×30	62	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
18号ピット	30住内	25×15	42		
19号ピット	30住内	23×17	22	10YR3/3(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
20号ピット	30住内	18×18	22	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が2%混じる。しまる	
21号ピット	30住内	16×13	16	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
22号ピット	29住内	34×33	13	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が15%混じるシルト粒土。しまる。	
23号ピット	29住内	33×29	11	10YR4/6(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%混じるシルト粒土。ややしまる。	
24号ピット	29住内	30×24	12	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が15%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
25号ピット	29住内	20×20	15	10YR3/3(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
26号ピット	30住内	16×15	24	10YR2/3(黒褐)に10YR6/8(明黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
27号ピット	30住内	50×38	14	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が3%混じる。ややしまる	
28号ピット	29住内	42×-	7		
29号ピット	30住内	40×-	38	10YR4/6(褐)に10YR6/8(明黄褐)が15%混じる。しまる	頁岩礫1。
30号ピット	30住内	20×20	23	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
31号ピット	30住内	35×31	34	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
32号ピット	30住内	33×33	15	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が混じるシルト粒土。ややしまる。	
33号ピット	31住西12m	12×15	8	10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/8(黄褐)が7%混じるシルト粒土。しまる。	
34号ピット	31住西11.5m	12×18	4	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%混じるシルト粒土。しまる。	
35号ピット	31住西11m	19×22	12	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
36号ピット	31住西11m	12×17	4	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が3%混じるシルト粒土。しまる。	
37号ピット	31住西11m	35×15	10	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が7%混じるシルト粒土。ややしまる。	
38号ピット	20住内	43×31	52	10YR4/6(褐)に10YR5/6(黄褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
39号ピット	20住内	48×43	62	10YR4/6(褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	縄文土器小破片2。
40号ピット	20住内	19×20	20	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
41号ピット	20住内	14×14	19	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
42号ピット	20住内	21.5×20	11.5	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
43号ピット	20住内	19×17	24	10YR2/3(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
44号ピット	20住内	23×23	43	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
45号ピット	20住内	17×18	15	10YR4/6(褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
46号ピット	20住内	17×14	12	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
47号ピット	20住内	17×17	24	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
48号ピット	20住内	22×19	21.5	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
49号ピット	20住内	17×18	21	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
50号ピット	31住西11m	18×22	13	10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。	

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
51号ピット	31住西11m	19×30	15	10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
52号ピット	31住西11.5m	11×15	6	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
53号ピット	31住西11m	18×16	7.5	10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%混じるシルト粒土。ややしまる。	
54号ピット	20住内	26×24	42	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
55号ピット	20住内	31×24	42	10YR2/2(黒褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
56号ピット	20住内	20×15	20	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が20%混じるシルト粒土。しまる。	
57号ピット	20住内	16×15	15	10YR3/3(暗褐)。シルト粒土。しまる。	
58号ピット	20住内	20×16	20	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	
59号ピット	20住内	21×17	9	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
60号ピット	20住内	35×34	17	10YR4/4(褐)に炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
61号ピット	20住南西0.5m	45×20			62号ピットと切りあう。
62号ピット	20住南西0.5m	40×40			中期中葉か。61号ピットと切りあう。
63号ピット	26住内	22×20	12	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
64号ピット	26住内	22×19	10	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
65号ピット	26住内	29×27	20	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
66号ピット	26住内	27×26	8	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
67号ピット	26住内	21×18	19	10YR3/4(暗褐)に10YR6/6(明黄褐)が3%混じるシルト粒土。しまる。	
68号ピット	26住内	40×35	30	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
69号ピット	26住内	17×16	7	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が30%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
70号ピット	26住内	26×25	6	10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
71号ピット	26住内	41×34	13	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
72号ピット	34住内	28×22	6.5	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が30%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
73号ピット	26住内	27×25	20	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
74号ピット	26住内	30×24	10.5	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が30%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
75号ピット	26住内	20×18	21	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
76号ピット	26住内	24×21	17	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
77号ピット	26住内	33×26	15.5	10YR4/4(褐)に10YR3/3(暗褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
78号ピット	36住内	20×20	28	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
79号ピット	36住内	44×40	18.5	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
80号ピット	37住内	46×36	21	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
81号ピット	37住内	40×31	30	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
82号ピット	34住内	61×61	20	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が30%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
83号ピット	26住内	35×35	9	10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が3%混じるシルト粒土。ややしまる。	
84号ピット	26住内	31×28	10	10YR4/4(褐)に10YR6/6(明黄褐)が3%混じるシルト粒土。ややしまる。	
85号ピット	26住内	22×22	18	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が2%混じるシルト粒土。しまりなし。	
86号ピット	25住内	40×30	22	10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が15%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
87号ピット	25住内	32×31	18	10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
88号ピット	25住内	34×28	21	10YR3/3(暗褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
89号ピット	25住内	32×31	19	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
90号ピット	25住内	40×33	14	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)、10YR4/3(にぶい黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
91号ピット	25住内	49×30	22		
92号ピット	28住内	19×19	22	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
93号ピット	28住内	20×20	10	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が20%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
94号ピット	28住内	19×19	22.5	10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
95号ピット	28住内	41×41	36	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が20%、10YR4/3(にぶい黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
96号ピット	28住内	28×28	42	10YR2/3(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が10%。炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
97号ピット	1住内	26×26	15	10YR3/3(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
98号ピット	1住内	30×20	14	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
99号ピット	1住内	25×20			
100号ピット	1住内	20×20	18	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が15%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
101号ピット	1住内	30×25			
102号ピット	1住内	22×22	9	10YR3/3(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式小破片1。
103号ピット	1住内	20×20	17	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
104号ピット	1住内	25×20			
105号ピット	1住内	28×28	18	10YR3/3(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)、炭化粒子が3%混じるシルト粒土。ややしまる。	
106号ピット	1住内	17×17	22	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	諸磯式小破片1。
107号ピット	3住内	25×25			
108号ピット	3住内	60×45			諸磯b式小破片1。
109号ピット	3住内	30×25			
110号ピット	17住内	70×50			111号ピットに切られる。
111号ピット	17住内	65×55			110号ピットを切る、中期中葉か曽利の小破片4。
112号ピット	24住北東1m	48×38	28	10YR2/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)、炭化粒子が7%、焼土が2%混じるシルト粒土。しまる。	曽利Ⅱ式破片多い、珪質頁岩の楔形石器もしくは石核。
113号ピット	36住内	52×52	25	10YR2/2(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	114号ピットを切る。
114号ピット	36住内	47×47	19	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	113号ピットに切られる、諸磯b式。
115号ピット	36住内	57×35	22	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式破片が31号住居、34号住居、13号住居と接合、中期中葉か曽利式小破片。
116号ピット	34住内	42×42	22	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が3%混じるシルト粒土。しまる。	
117号ピット	36住内	27×27	13	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
118号ピット	37住内	36×36	23	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
119号ピット	34住内	57×57	39	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
120号ピット	34住内	60×30	46	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%混じるシルト粒土。しまる。	
121号ピット	34住内	67×67	32	完掘済み	104号土坑と切り合う。
122号ピット	37住内	60×60	31	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式か。
123号ピット	37住内	34×34	23	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
124号ピット	37住内	25×25	8	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
125号ピット	36住内	28×28	10	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式、中期中葉。
126号ピット	36住内	30×30	38	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	中越式、諸磯式。
127号ピット	36住内	30×30	52	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式。
128号ピット	36住内	57×57	23	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
129号ピット	36住内	21×15	26	完掘済み	186号土坑を切る。
130号ピット	34住内	34×25	10	完掘済み	
131号ピット	36住内	24×24	10	10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)が2%混じるシルト粒土。しまりなし。	
132号ピット	34住内	24×24	10	完掘済み	
133号ピット	36住内	25×25	29	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式。
134号ピット	26住内	33×33	7	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	
135号ピット	26住内	27×27	13	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
136号ピット	27住東1m	22×22	24	10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が50%、焼土が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	縄文小破片1式。
137号ピット	36住内	26×26	5	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が2%混じるシルト粒土。ややしまる。	80号ピットと重複するが新旧不明。
138号ピット	36住内	52×52	40	10YR3/4(暗褐)に10YR6/6(明黄褐)がブロック状に5%、焼土が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	37住炉に切られる。
139号ピット	36住内	70×50	26	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	138号ピットを切る。
140号ピット	36住内	60×50	33	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	141号ピットと重複するが新旧不明。
141号ピット	36住内	70×52	29	上層　10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)がブロック状に3%、焼土が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。下層　10YR5/6(黄褐)	140号ピットと重複するが新旧不明。
142号ピット	37住内	36×36	20	10YR6/8(明黄褐)に10YR3/1(黒褐)が混じるシルト粒土。しまる。	
143号ピット	36住内	50×50	20	10YR2/1(黒)に10YR4/6(褐)が2%混じるシルト粒土。しまる。	
144号ピット	6住内	30×-	7	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
145号ピット	6住内	35×35	8	10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
146号ピット	6住内	41×41	15	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
147号ピット	6住内	37×37	16	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
148号ピット	6住内	41×41	5	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
149号ピット	6住内	32×32	5	10YR3/2(黒褐)に10YR4/6(褐)が2%混じるシルト粒土。しまる。	

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
150号ピット	34住内	38×38	17	10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が20%、10YR5/6(黄褐)が3%混じるシルト粒土。	打製石斧1、曽利Ⅱ式。
151号ピット	36住内	30×30	42	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	130号土坑に切られる、中越式、曽利式か、礫。
152号ピット	36住内	30×20	24	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)がブロック状に、炭化粒子が1%混じる。	151号ピット、130号土坑に切られる。
153号ピット	36住内	25×25	55	10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じる。	中越式破片2。
154号ピット	36住内	53×40	41	10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	37住の炉、138号ピットに切られる、諸磯b式か。
155号ピット	36住内	20×20	6	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	136号土坑に切られる。
156号ピット	34住内	54×54	23	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯b式か。
157号ピット	38住内	83×83	33	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式小破片1。
158号ピット	25住西4m	36×36	18	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)、10YR5/8(黄褐)が混じる。	
159号ピット	38住内	41×41	20	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)、10YR4/6(褐)が混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式か、小破片2。
160号ピット	38住内	30×30	10	10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が混じるシルト粒土。しまる。	
161号ピット	欠番				
162号ピット	6住内	32×32	12	10YR2/2(黒褐)のシルト粒土。しまる。	
163号ピット	6住内	38×38	10	10YR2/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が2%、焼土が1%混じるシルト粒土。しまる。	中越式1、諸磯式1。
164号ピット	6住内	30×30	8	10YR2/2(黒褐)に10YR4/6(褐)が2%混じるシルト粒土。しまる。	中越式。
165号ピット	24住北東4m	40×40	20	10YR2/3(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	打製石斧未成品のようなホルンフェルスの扁平礫。
166号ピット	24住北東4.5m	25×25	11	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が2%混じるシルト粒土。ややしまる。	
167号ピット	24住北東3m	45×45	23	10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が30%、炭化粒子が3%混じるシルト粒土。しまりなし。	縄文小破片4、曽利式か。
168号ピット	1住内	33×33	66	10YR3/1(黒褐)に焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
169号ピット	1住内	28×28	40	10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
170号ピット	1住東壁	47×47	47	10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	縄文小破片1。
171号ピット	1住南東壁	27×27	41	10YR3/2(黒褐)に炭化粒子が2%混じるシルト粒土。ややしまる。	縄文小破片3、諸磯式か。
172号ピット	1住内	24×24	27	10YR3/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
173号ピット	1住内	29×29	34	10YR3/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)と炭化粒子が2%混じるシルト粒土。しまる。	
174号ピット	1住内	26×26	24	10YR3/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)と炭化粒子が2%混じるシルト粒土。しまる。	
175号ピット	38住内	41×41	25	10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が2%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片1、中越式あるいは神ノ木式。
176号ピット	38住内	75×70	40	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
177号ピット	6住内	38×38	18	10YR2/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が3%混じるシルト粒土。ややしまる。	
178号ピット	6住内	27×27	8	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が2%混じるシルト粒土。ややしまる。	縄文小破片1。
179号ピット	6住内	22×22	16	10YR2/2(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が20%混じるシルト粒土。ややしまる。	
180号ピット	6住内	28×28	10	10YR2/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が3%混じるシルト粒土。ややしまる。	
181号ピット	4住内	42×42	22	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片5、諸磯式か。
182号ピット	4住内	45×45	32	10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が20%、10YR3/3(暗褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯b式小破片。
183号ピット	4住内	44×44	36	10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	井戸尻式小破片。
184号ピット	4住内	35×30	27	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が15%、10YR5/6(黄褐)と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式小破片2。
185号ピット	4住内	37×37	38	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
186号ピット	4住内	55×43	21	10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
187号ピット	1住内	24×24	30	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。固くしまる。	
188号ピット	38住内	43×43	33	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	160号土坑内。井戸尻3段階の破片4。
189号ピット	2住内	27×27	8	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
190号ピット	2住内	19×19	8	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
191号ピット	2住内	20×20	9	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
192号ピット	2住内	19×19	15	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
193号ピット	2住内	19×19	8	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
194号ピット	1住北壁	27×27	7	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
195号ピット	2住北西0.5m	30×21	7	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
196号ピット	2住北壁	50×11	7	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
197号ピット	4住内	50×50	16	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が3%混じるシルト粒土。しまる。	184号ピットに切られる。
198号ピット	2住内	20×20	43	完掘済み	
199号ピット	2住内	40×25	42	完掘済み	
200号ピット	24住東2m	91×91	18	10YR3/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が10%混じるシルト粒土。ややしまる。	曽利Ⅴ式の大形破片3。

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
201号ピット	24住東4.5m	60×60	17	10YR3/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が10%混じるシルト粒土。ややしまる。	
202号ピット	25住南西5m	65×50	15	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片、井戸尻式か。
203号ピット	25住西4m	38×38	14	10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が混じるシルト粒土。ややしまる。	
204号ピット	25住南西4m	46×46	12	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が3%混じるシルト粒土。しまる。	
205号ピット	6住北東1m	55×50	16	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が7%混じるシルト粒土。しまる。	
206号ピット	6住北東1.5m	54×54	15	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	中越式小破片3。
207号ピット	6住北東2m	57×40	13	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が7%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片3、諸磯b式。
208号ピット	25住南西3.5m	30×30	16	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片1、中期中葉か。
209号ピット	13住内	31×31	40	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、10YR5/6(黄褐)と炭化粒子が3%混じるシルト粒土。しまる。	
210号ピット	13住内	25×25	43	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が7%、炭化粒子が3%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片2、井戸尻式あるいは曽利式。
211号ピット	13住内	34×34	33	10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
212号ピット	13住内	32×32	30	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)と炭化粒子が3%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片1、諸磯式か。
213号ピット	6住北1m	42×42	16	10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR4/4(褐)と10YR4/6(褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	
214号ピット	36住北東0.5m	58×58	25	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片1。
215号ピット	36住東1m	100×-	14	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	186号土坑、171号土坑に切られる。
216号ピット	47住内	70×70	17	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	181号土坑内。
217号ピット	13住内	25×25	35	10YR3/3(暗褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が30%、10YR5/6(黄褐)が3%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
218号ピット	47住東2.5m	24×24	15	10YR5/6(黄褐)に10YR3/4(暗褐)が7%混じるシルト粒土。しまる。	
219号ピット	47住東2m	44×44	8	10YR5/6(黄褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
220号ピット	47住北東0.5m	25×25	15	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
221号ピット	40住東5.5m	47×47	11	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
222号ピット	40住東4.5m	29×29	17	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が15%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
226号ピット	22住内	85×75	24	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、10YR4/6(褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
229号ピット	17住内	60×40	30	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片1。
230号ピット	17住内	55×40	50	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	中越式か。
231号ピット	17住内	85×85	50		井戸尻3～曽利Ⅰ式破片5。
232号ピット	17住内	72×72	25	10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	325号ピットに切られる。
233号ピット	17住内	65×65	29	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式。
234号ピット	40住内	24×30	6	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
235号ピット	40住内	30×31	10	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
237号ピット	40住内	19×19	14	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
239号ピット	40住内	24×24	4	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
240号ピット	40住内	14×17	11	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
241号ピット	40住内	20×20	5	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
242号ピット	40住内	35×25	7	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	中越式。
243号ピット	40住内	18×14	7	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	244号ピットと切りあう。
244号ピット	40住内	12×12	7	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	243号ピットと切りあう。
245号ピット	40住内	21×17	8	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
246号ピット	40住内	28×24	7	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
247号ピット	40住内	22×22	3	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
248号ピット	40住内	38×35	31	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
249号ピット	40住内	12×8	10	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
250号ピット	40住内	17×12	14	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	209号ピットに切られる。
251号ピット	40住内	13×35	6	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
252号ピット	40住内	24×22	7	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
253号ピット	40住内	27×25	17	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
254号ピット	40住内	23×15	11	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
255号ピット	40住内	26×20	5	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土が1%、炭化粒子が3%混じるシルト粒土。しまる。	
256号ピット	33住東13.5m	40×30			
257号ピット	40住内	25×25	9	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	258号ピットと切りあう。

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
258号ピット	40住内	28×14	10	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	257号ピットと切りあう。
259号ピット	40住内	27×27	12	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
260号ピット	13住内	27×20	3	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
261号ピット	欠番				
262号ピット	欠番				
263号ピット	13住内	10×28	6	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
264号ピット	13住内	20×18	6	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
265号ピット	欠番				
266号ピット	欠番				
267号ピット	欠番				
268号ピット	欠番				
269号ピット	39住内	14×10	12	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
271号ピット	39住内	16×14	18	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	39住の一番内側の周溝を切る。
272号ピット	39住内	21×17	4	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
273号ピット	39住内	17×17	14	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
275号ピット	39住内	20×14	7	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
276号ピット	39住内	31×27	1	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
280号ピット	39住内	18×17	10	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
281号ピット	13住内	36×29	36	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	抜き取り痕:25×18×深さ36cm。中越式。
282号ピット	13住内	31×33	35	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。 掘り起こした土:10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	281号ピットを切る、292号ピットと対応。
283号ピット	13住内	20×10	4	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%(中央に床がたわにブロックあり)、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	284号ピットを切る、39住の真ん中の周溝を切る。
284号ピット	13住内	10×10	2	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	283号ピットに切られる、39住の真ん中の周溝に切られる。
285号ピット	13住内	22×18	5	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	39住の真ん中の周溝に切られる。
286号ピット	13住内	22×18	15	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
287号ピット	13住内	35×28	34	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)がブロック状に5%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	40住の焼土1を切る。柱痕なし。
288号ピット	13住内	13×13	4	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
289号ピット	13住内	15×11	5	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
290号ピット	欠番				
291号ピット	13住内	14×10	5	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
292号ピット	13住内	30×36	43	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が40%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	316号ピットと土色が類似。282号ピットと対応。
293号ピット	13住内	21×21	5	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
294号ピット	13住内	21×21	3	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
295号ピット	39住内	22×19	9	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
296号ピット	13住内	15×14	14	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
297号ピット	欠番				
298号ピット	欠番				
299号ピット	欠番				
300号ピット	39住内	10×10	8	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
302号ピット	6住内	13×12	16	10YR4/3(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
303号ピット					
304号ピット	6住内	23×18	3	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
305号ピット	6住内	24×24	26	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が2%混じるシルト粒土。しまる。	
306号ピット	6住内	37×37	26	10YR5/6(黄褐)に10YR4/4(褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	上部、中とも地山のような色、39住の古い周溝を切る。
308号ピット	17住内	60×60	24	10YR3/3(暗褐)に10YR3/1(黒褐)が30%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
309号ピット	17住内	90×90	38	10YR4/6(褐)に10YR5/8(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	埋め戻したようなロームブロックが多く含有。2基の新旧柱穴が重複している。
310号ピット	17住内	50×50	40	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片5、諸磯式か。
311号ピット	17住内	70×44	40	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が15%混じるシルト粒土。ややしまる。	
312号ピット	17住内	60×60	30	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	縄文小破片1。
313号ピット	39住内	25×25	25	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	189号土坑内。

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
314号ピット	17住内	45×45	20	10YR4/4(褐)に10YR4/6(褐)が10%混じるシルト粒土。しまる。	
315号ピット	17住内	75×75	20	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	330号ピットと重複するが新旧不明。
316号ピット	6住内	32×32	26	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が20%、焼土と炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	292号ピットの土色と類似。
317号ピット	21住内	44×44	48	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	中越式小破片2。
318号ピット	21住内	84×84	39	10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が2%混じるシルト粒土。しまる。	21号住居貯蔵穴か。井戸尻3～曽利Ⅰ式、磨製石斧1、打製石斧1、打製石斧未成品1、磨石類1、ハンマー2、砂岩剥片1、石皿破片1。
319号ピット	21住内	54×54	40		
320号ピット	21住内	30×30	13	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が15%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
321号ピット	21住内	38×38	30	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が15%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
322号ピット	21住内	70×70	38	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が10%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	諸磯式か。
323号ピット	欠番				
324号ピット	39住東2.5m	52×40	36	10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
325号ピット	17住内	70×35	41		232号ピットを切る。磨石類1。
326号ピット	17住内	65×55	33		縄文小破片2。
327号ピット	17住内	70×47	12	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が40%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
328号ピット	6住内	33×33	34	10YR3/4(暗褐)に10YR5/8(黄褐)、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
330号ピット	17住内	40×40	30	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が7%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	315号ピットと重複するが新旧不明。384号ピットも同様。
331号ピット	21住内	58×58	37	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)に3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
332号ピット	39住東2m	40×30	14	10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が3%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
333号ピット	17住内	64×64	20	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が30%、10YR5/6(黄褐)が2%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	砂岩剥片1、井戸尻式か。
334号ピット	21住内	86×86	42	10YR3/3(暗褐)に10YR2/2(黒褐)が15%、10YR5/6(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。ややしまる。	ホルンフェルス剥片1、井戸尻3～曽利Ⅰ式。
335号ピット	6住内	13×13	4	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
336号ピット	6住内	16×16	2	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。	PJ6Bの内側の周溝に切られる。
337号ピット	6住内	28×23	17	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
338号ピット	6住内	22×19	23	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
339号ピット	6住内	19×19	1	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。	
340号ピット	6住内	14×14	13	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	
341号ピット	6住内	15×15	1	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	342号ピットを切る。
342号ピット	6住内	40×35	5	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土粒子2%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	
343号ピット	6住内	22×22	8	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、焼土粒子1%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。	195号土坑内。
344号ピット	6住内	30×24	18	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、焼土粒子1%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。	195号土坑内。
345号ピット	6住内	23×23	4	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土粒子1%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	195号土坑内。
346号ピット	6住内	19×19	15	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。ややしまる。	195号土坑と6B住の内側の周溝を切る。
347号ピット	6住内	32×29	9	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。	195号土坑と6B住の内側の周溝と348号ピットを切る。
348号ピット	6住内	19×19	6	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。	347号ピットに切られる。
349号ピット	6住内	16×16	3	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。ややしまる。	
350号ピット	6住内	20×20	2	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。ややしまる。	6B住の内側の周溝を切る。
351号ピット	欠番				
352号ピット	6住内	22×22	2	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	353号ピットに切られる。
353号ピット	6住内	21×18	23	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が1%混じるシルト粒土。しまる。	352号ピットと6B住の内側の周溝を切る。
354号ピット	6住内	21×18	13	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子が2%混じるシルト粒土。しまる。	6B住の外側と真ん中の周溝を切る。
355号ピット	6住内	35×-	35	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。ややしまる。	6B住の外側と356号ピット、357号ピットを切る。
356号ピット	欠番				
357号ピット	6住内	30×-	23	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	355号ピットと356号ピットに切られる。6B住の外側の周溝を切る。
358号ピット	欠番				
359号ピット	欠番				
360号ピット	6住内	17×17	22	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	
361号ピット	欠番				
362号ピット	欠番				

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
363号ピット	欠番				
364号ピット	欠番				
365号ピット	欠番				
366号ピット	欠番				
367号ピット	6住内	19×19	15	10YR2/3(黒褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土粒子1%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	6B住の焼土1を切る。
368号ピット	6住内	20×20	19	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	
369号ピット	6住内	18×18	23	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	
370号ピット	6住内	14×14	13	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	6B住の外側の周溝を切る。
371号ピット	21住内	65×55	37	10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、焼土粒子1%、炭化粒子2%混じるシルト粒土。しまる。	井戸尻式小破片1。
372号ピット	欠番				
373号ピット	欠番				
374号ピット	6住内	15×15	15	10YR4/4(褐)に10YR5/8(黄褐)が7%混じる。しまる。	6B住の外側の周溝を切る。
375号ピット	6住内	40×31	15	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	6B住の外側、内側の周溝を切る。
377号ピット	6住内	14×20	11	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	193号土坑と383号ピットを切る。
378号ピット	6住内	18×18	9	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、焼土粒子1%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	6B住の外側の周溝を切る。
379号ピット	6住内	32×-	27	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。ややしまる。	6B住の外側の周溝を切る。
381号ピット	17住内	80×45	18		
382号ピット	6住内	27×27	18	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%混じるシルト粒土。しまる。	
383号ピット	6住内	34×34	9	10YR3/3(暗褐)に10YR5/8(黄褐)が5%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	377号ピットに切られる。193号土坑を切る。諸磯式小破片4
384号ピット	17住内	49×49	30	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が混じるシルト粒土。しまる。	323号ピットを切る。330号ピットに切られるか。縄文小破片1
385号ピット	21住内	74×74	33	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じるシルト粒土。しまる。	ホルンフェルス剥片2、安山岩礫2。
386号ピット	6住内	47×31	7	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
387号ピット	39住内	40×35	44	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が50%、炭化粒子1%混じる。しまる。	13住の211号ピットに切られる。281号ピットと対応。
388号ピット	21住内	48×48	36	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に焼土粒子1%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
389号ピット	21住内	40×40	46	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%混じる。ややしまる。	
390号ピット	22住南1m	50×50	31	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が15%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%混じる。しまる	
391号ピット	17住内	44×44	44		232号ピットに切られるか。
392号ピット	21住内	44×44	47	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
393号ピット	21住内	44×44	43	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	他のピットと覆土色が違う。ややくすんだ色。
394号ピット	18住内	60×38	41	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
395号ピット	18住内	37×46	46	10YR5/6(黄褐)シルト粒土に10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
398号ピット	18住内	30×30	27	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が15%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
399号ピット	18住内	70×70	14	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	五領ヶ台式小破片1。
401号ピット	6住内	28×22	18	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	6B住の内側の周溝と重複するが新旧不明。
402号ピット	6住内	35×27	30	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	6B住より新しい床の上にあった平石の下で検出。
404号ピット	21住内	52×20	18	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
405号ピット	21住内	38×38	35	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が1%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	縄文小破片1。
407号ピット	6住内	25×25	27	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	6B住より新しい床の上にあった平石の下で検出。中越式。
408号ピット	6住内	24×17	17	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	諸磯式小破片2。
409号ピット	6住内	15×15	17	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
410号ピット	6住内	22×22	18	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
411号ピット	6住内	17×17	17	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	382号ピットと重複するが新旧不明。
412号ピット	17住内	77×77	32	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
413号ピット	6住内	25×25	23	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。	
414号ピット	18住内	32×32	36	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
415号ピット	21住内	35×35	11	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	388号ピットに切られる。
416号ピット	21住内	40×40	11	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
417号ピット	21住内	38×38	5	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
418号ピット	21住内	29×29	8	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に炭化粒子1%混じる。しまる。	
419号ピット	18住内	60×50	24	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
420号ピット	18住内	32×32	24	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
421号ピット	12住内	38×38	30	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	柱痕なし。
422号ピット	12住内	42×42	36	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	柱痕なし。
423号ピット	12住内	40×40	48	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR3/2(黒褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	柱痕なし。
424号ピット	12住内	42×42	26	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
425号ピット	12住内	75×60	38		曽利Ⅱ式小破片4。
426号ピット	12住内	43×43	43	10YR4/4(褐)」シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
427号ピット	12住内	37×37	30	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
428号ピット	12住内	70×45	42	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が20%混じる。ややしまる。	
433号ピット	40住内	32×32	21		PJ13埋甕を埋設したピット。
436号ピット	22住南3.5m	48×30	38	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が20%、10YR4/6(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
437号ピット	22住南2m	44×30	36	10YR3/3(暗褐)」シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	
438号ピット	25住北西5.5m	39×39	25	10YR4/6(褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が5%混じる。固くしまる。	
439号ピット	25住北西4.5m	58×58	35	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が5%、焼土粒子1%、炭化粒子1%混じる。	160号土坑内。
440号ピット	5住内	38×38	42	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、縄文小破片2。
441号ピット	5住内	46×46	33	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、中越式、井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片1。
442号ピット	38住内	55×55	23	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子2%混じる。しまる。	曽利Ⅰ～Ⅱ式小破片4。
443号ピット	38住内	52×33	33	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
444号ピット	5住内	48×48	30	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、頁岩剥片1、小型の台石1。
445号ピット	5住内	43×43	33	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし。
446号ピット	5住内	59×59	26	柱痕:10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%炭化粒子1%混じる。しまる。 埋め戻し:10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が40%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕あり。
447号ピット	5住内	56×56	37	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が15%、10YR4/6(褐)シルト粒土5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱の抜き取り痕。
448号ピット	38住内	40×30	28		157号ピットと切りあう。
449号ピット	38住内	46×-	15		117号土坑と切りあう。
450号ピット	9住内	67×56	36	10YR1.7/1(黒)シルト粒土に10YR4/6(褐)の非常に固くしまった粘土が5%混じる。しまる。9号住居柱穴。	柱痕なし、縄文小破片2。
451号ピット	9住内	63×50	37	10YR 1.7/1(黒)sシルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	柱痕なし、縄文小破片1。
452号ピット	9住内	73×73	32	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、縄文小破片1。
453号ピット	9住内	92×60	35	10YR 1.7/1(黒)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、諸磯b式小破片2。
454号ピット	42住内	70×41	23	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%混じる。しまる。	
455号ピット	42住内	65×50	24	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%混じる。ややしまる。	
456号ピット	42住内	50×39	33	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
457号ピット	9住内	75×47	42	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、諸磯式小破片2。
458号ピット	9住内	78×48	22	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし、縄文小破片3。
459号ピット	9住内	75×55	32	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	柱痕なし。
460号ピット	17住内	45×45	38		208号土坑に切られる。
461号ピット	9住内	68×68	40	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	9住より古い床が乗っている。柱痕なし。
462号ピット	33住内	38×38	55	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	中越式小破片1。
463号ピット	33住内	35×35	44	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%、炭化粒子1%混じる。しまる。	中越式あるいは神ノ木式小破片1。
464号ピット	33住内	31×-	17	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	
465号ピット	33住内	60×-	18	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%混じる。ややしまる。	
466号ピット	33住内	28×28	33	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化物1%混じる。ややしまる。	
467号ピット	33住内	40×30	37	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/8(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子2%混じる。ややしまる。	
468号ピット	44住内	31×31	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
469号ピット	44住内	36×36	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%混じる。ややしまる。	
470号ピット	44住内	27×27	12	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が3%混じる。ややしまる。	
471号ピット	44住内	31×31	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。ややしまる。	
472号ピット	45住内	20×-	11	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じる。しまる。	220号土坑に切られる。
473号ピット	32住内	22×22	24		
474号ピット	32住内	23×23	27		

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
475号ピット	32住内	24×24	33	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
476号ピット	32住内	50×40	17	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が15%混じる。ややしまる。	
477号ピット	32住内	24×24	21	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%混じる。ややしまる。	
478号ピット	32住内	24×24	22	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%混じる。しまる。	217号土坑と切りあう。
479号ピット	33住内	20×20	23	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。	
480号ピット	33住内	27×27	26	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が20%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
481号ピット	47住内	63×63	28	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が15%混じる。しまる。	
482号ピット	31住内	33×33	26	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
483号ピット	31住内	33×33	17	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が20%混じる。しまる。	
484号ピット	31住内	33×33	38	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子2%混じる。しまる。	
485号ピット	31住内	26×26	39	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子2%混じる。しまる。	
486号ピット	31住内	30×30	59	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
487号ピット	31住内	34×34	49	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
488号ピット	42住内	52×42	20	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR3/4(暗褐)シルト粒土が10%、10YR4/6(褐)シルト粒土が3%、炭化物1%混じる。しまる。	
489号ピット	31住内	22×22	50	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子3%混じる。しまる。	
490号ピット	31住内	28×28	37	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
491号ピット	31住内	42×42	51	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR2/3(黒褐)シルト粒土が15%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
492号ピット	47住内	18×18	21		
493号ピット	47住内	25×25	23		
494号ピット	42住内	55×24	32	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	
495号ピット	47住南東1m	27×27	24	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が30%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
496号ピット	33住北東3m	34×34	10	10YR4/4(褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
497号ピット	42住内	53×53	22	10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
498号ピット	46住内	90×90	33	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が3%、炭化物1%混じる。しまる。	磨石類2、中期中葉か曽利式。
499号ピット	46住内	57×57	50	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
500号ピット	46住内	56×56	44	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
501号ピット	48住内	54×54	20	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
502号ピット	28住東3m	33×33	7	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が3%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
503号ピット	46住内	65×65	47	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子2%混じる。しまる。	504号土坑に切られる。
504号ピット	46住内	50×50	50	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
505号ピット	46住内	60×60	62	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土がブロック状に10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	506号土坑に切られる。井戸尻3～曽利Ⅰ式小破片1。
506号ピット	46住内	54×37	47	10YR2/2(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
507号ピット	46住内	30×30	25	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
508号ピット	46住内	45×45	27	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
509号ピット	46住内	65×40	27	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
510号ピット	46住内	40×40	48	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	511号ピットに切られる。
511号ピット	46住内	51×51	50	10YR3/2(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式破片4。
512号ピット	28住東5.5m	32×32	15	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が7%、炭化粒子2%混じる。しまる。	
513号ピット	46住内	70×63	43	10YR3/4(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。しまる。	
514号ピット	46住内	97×60	30	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR3/3(暗褐)シルト粒土が20%、10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%、炭化粒子1%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式破片4。
515号ピット	47住東9m	43×43	16	10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土に」10YR4/6(褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	
516号ピット	48住内	47×27	36	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/4(褐)シルト粒土が5%混じる。ややしまる。	
517号ピット	48住内	40×40	23		
518号ピット	48住内	60×50	15	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が20%混じる。	
519号ピット	46住内	89×48	75	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%、炭化粒子1%混じる。	曽利Ⅰ～Ⅱ式小破片3。
520号ピット	46住内	66×47	68	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%、炭化粒子1%混じる。しまる。	磨石類1。
521号ピット	47住東16.5m	35×35	10	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が10%混じる。しまる。	中越式か、小破片1。
522号ピット	48住内	46×46	13		
523号ピット	48住内	42×31	13		

山崎遺跡ピット観察表

遺構番号	位置	大きさ(cm)	深さ(cm)	埋土色	備考
524号ピット	48住内	48×38	10		
525号ピット	33住北東5.5m	22×22	16	10YR2/3(黒褐)シルト粒土に10YR5/6(黄褐)シルト粒土が2%混じる。しまる。	
526号ピット	欠番				
527号ピット	33住北11.5m	36×36	26	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)シルト粒土が5%混じる。しまる。	井戸尻3～曽利Ⅰ式の同一個体破片8。
528号ピット	33住東3m	50×50	26	10YR3/3(暗褐)シルト粒土に10YR4/6(褐)」シルト粒土が7%混じる。しまる。	中越式あるいは神ノ木式小破片1。
529号ピット	48住内	30×20	10		

山崎遺跡土器観察表

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第8図1	1号住居	PJ-1.図-1	深鉢	－	－	9.5	1,232.0	1/2	○	△	○	○	土埋甕。単節縄文、結節浮線文。	諸磯b式。二次被熱あり。埋甕炉
第9図1	1号住居	PJ-1.20.21.28.69.73.93.125	深鉢	30.0	－	－	254.0	1/10	○	△	△	△	単節縄文、二列の連続刺突文。	諸磯a式
第9図2	1号住居	PJ-1.146	深鉢	(28.0)	－	－	158.0	破片	○	△	△	△	単節縄文、二列の連続刺突文。	諸磯a式
第9図3	1号住居	PJ-1.47.104.117.127	深鉢	(26.0)	－	－	201.0	破片	△	△	△	△	単節縄文、連続爪形文。	諸磯a式
第9図4	1号住居	PJ-1.27.145.152	壺	(15.5)	－	－	183.0	破片	△	○	△	×	連続爪形文による入組木葉文、腕骨文。	諸磯a式
第9図5	1号住居	PJ-1.24.60	深鉢	(32.0)	－	－	133.0	破片	○	△	×	△	単節縄文、単沈線による木葉文。	諸磯a式
第9図6	1号住居	PJ-1.25　DK-71	鉢	(25.0)	－	－	61.0	破片	△	△	×	×	連続爪形文による腕骨文。口唇に微隆起線を貼り付ける。	諸磯a式
第9図7	1号住居	PJ-1.101	深鉢	(24.0)	－	－	121.0	破片	○	○	△	△	連続爪形文による木葉文。	諸磯a式
第9図8	1号住居	PJ-1.59.89.90.133　　PJ-3.18.図-8.10.11.15	深鉢	(32.5)	－	－	583.0	1/6	○	△	◎	△	無節縄文、浮線文による同心円文。浮線上に無節縄文。	諸磯b式
第9図9	1号住居	IG-145. IG-677	深鉢	(27.0)	－	－	122.0	破片	○	○	△	△	単節縄文、浮線文、口唇に連続指頭文。浮線上に連続刻目文。	諸磯b式
第9図10	1号住居	IG-148	深鉢	(24.0)	－	－	99.0	破片	△	△	△	△	単節縄文、浮線文、浮線上に幅狭の連続刻目文	諸磯b式
第9図11	1号住居	PJ-1.121.136	深鉢	(30.0)	－	－	136.0	破片	△	○	△	△	単節縄文、多段の連続爪形文	諸磯b式
第9図12	1号住居	PJ-1.147.88.　PJ-3.3	深鉢	(25.0)	－	－	195.0	破片	△	△	×	△	0段多縄文、羽状縄文。	前期後葉(東海系か)、器壁が薄く脆い。
第9図13	1号住居	PJ-1.147.　DK-71	深鉢				36.0	破片	△	△	×	△	0段多縄文、口唇に指頭文。	前期後葉(東海系か)、器壁が薄く脆い。
第9図14	1号住居	PJ-1.140	深鉢	(28.0)	－	－	65.0	破片	○	○	×	△	無節縄文、内面に指ナデ調整痕が明瞭に残る	前期後葉か
第9図15	1号住居	PJ-1.76	深鉢	(31.0)	－	－	23.0	破片	○	△	×	△	単節縄文	前期後葉か
第9図16	1号住居	PJ-1.95	鉢	(18.0)	－	－	113.0	破片	○	○	×	○	単節縄文。焼成堅緻、内面にミガキ。	前期後葉か
第9図17	1号住居	IG-1.44	深鉢	(29.0)	－	－	89.0	破片	△	△	△	×	口唇に連続刻目文	前期後葉か
第9図18	1号住居	PJ-1.41	深鉢	(26.0)	－	－	40.0	破片	○	△	△	○		中期後葉
第10図1	1号住居	PJ-17.　PJ-3.12	深鉢				178.0	破片	△	△	×	×	連続相互刺突文。繊維を含む。	有尾式か
第10図2	1号住居	PJ-1.65.103.117.120.144. IG-132	深鉢				246.0	破片	○	○	△	○	単節縄文、連続爪形文、円形竹管文	諸磯a式
第10図3	1号住居	DK-71.15	深鉢				32.0	破片	○	○	△	△	単節縄文、円形竹管文	諸磯a式。4と接合
第10図4	1号住居	PJ-1	深鉢				22.0	破片	○	○	△	△	単節縄文、円形竹管文	諸磯a式。3と接合
第10図5	1号住居	PJ-1	深鉢				23.0	破片	○	△	△	△	単節縄文、円形竹管文	諸磯a式
第10図6	1号住居	PJ-1	深鉢				22.0	破片	○	△	○	○	単節縄文、櫛歯状工具による波縄文、円形竹管文	諸磯a式。10と同一個体
第10図7	1号住居	PJ-1	深鉢				17.0	破片	△	△	○	○	平行沈線による米字縄文、円形押捺文	諸磯a式
第10図8	1号住居	PJ-1	深鉢				15.0	破片	△	△	△	○	単節縄文、円形竹管文	諸磯a式
第10図9	1号住居	PJ-1.79.80 PJ-3	深鉢				67.0	破片	△	△	×	×	5本一単位の櫛歯状工具による菱形文円形竹管文。	諸磯a式
第10図10	1号住居	PJ-1　DK-71.16	深鉢				29.0	破片	○	△	○	○	単節縄文、櫛歯状工具による波縄文	諸磯a式。6と同一個体
第10図11	1号住居	PJ-1.8.9.10.11.12.29.64.66.97.98.99. 100. 126. 129　IG-667	深鉢				477.0	1/8	○	△	×	△	無節縄文→平行沈線文	諸磯b式
第10図12	1号住居	PJ-1.32.45.48.50.61.63	深鉢	－	(18.0)	8.0	210.0	1/8	△	○	△	△	単節縄文、浮線文による楕円文。浮線上に連続刻目文。	諸磯b式、二次被熱激しい。
第10図13	1号住居	PJ-1.2	深鉢				78.0	破片	○	△	△	△	単節縄文、浮線文による同心円文。浮線上は連続刻目文。	諸磯b式
第10図14	1号住居	IG-11	深鉢				21.0	破片	△	△	○	△	連続爪形文、円形竹管文。	諸磯b式
第10図15	1号住居	PJ-1	深鉢				26.0	破片	○	○	△	△	連続爪形文	諸磯b式
第10図16	1号住居	PJ-1.84	深鉢				50.0	破片	○	○	◎	△	集合沈線文	五領ヶ台式
第10図17	1号住居	PJ-1.135	深鉢				76.0	破片	△	○	△	△	集合沈線文	諸磯c式
第10図18	1号住居	PJ-1.17.40.68.149　PJ-3.22 IG-131	深鉢				197.0	破片	○	○	○	○	撚り戻しの単節縄文による羽状縄文。内面に指頭痕が顕著に残る	釈迦堂Z3式
第10図19	1号住居	PJ-1.102.114.132	深鉢	－	－	14.5	245.0	1/7	○	○	◎	○	単節縄文、ループ文。	前期中葉か
第10図20	1号住居	PJ-1.141.142	深鉢	－	－	9.0	731.0	1/2	○	◎	△	△	単節縄文	前期後葉か。床面出
第14図5	2号住居	PJ-2.	深鉢	(24.0)	－	－	28.0	破片	○	△	△	△	単節縄文、連続爪形文	諸磯a式
第14図6	2号住居	PJ-2.31.27	深鉢	(21.0)	－	－	7.0	破片	△	△	○	△	押型文	早期後半
第14図7	2号住居	PJ-2.	深鉢	(15.0)	－	－	16.0	破片	◎	◎	△	△	口唇に櫛歯上工具による連続刺突文	前期後葉
第14図8	2号住居	PJ-2.	深鉢				25.0	破片	△	△	×	△	浮線文、浮線文上に斜位の連続刻目文。口縁部にボタン状貼付文	諸磯b式
第14図9	2号住居	PJ-2.30	深鉢	(29.0)	－	－	33.0	破片	○	○	×	×		前期後葉か
第14図10	2号住居	PJ-2.44	深鉢				57.0	破片	○	○	△	△	胎土に繊維と赤色粒子を含む。半截竹管の腹面による縦位の蛇行沈線文	中越式
第14図11	2号住居	PJ-2.2.7	深鉢				49.0	破片	○	○	×	×	連続爪形文	諸磯b式
第14図12	2号住居	PJ-2.　DK-7.4	深鉢				43.0	破片	△	◎	○	△	連続爪形文による木葉文か	諸磯a～b式
第14図13	2号住居	PJ-2.6	深鉢				42.0	破片	○	○	△	△	浮線文	諸磯b式
第14図14	2号住居	PJ-2.5	深鉢				31.0	破片	○	○	△	◎	連続爪形文	諸磯b式、摩滅激し
第14図15	2号住居	PJ-2.	深鉢				16.0	破片	△	○	×	△	連続爪形文、円形竹管文	諸磯b式
第14図16	2号住居	PJ-2.29.46.PJ-1.46	深鉢				284.0	1/10	○	○	◎	△	単節縄文(撚り戻しか)	後期後葉か、14-17と同一個体
第14図17	2号住居	PJ-2.25 DK-71.11.12 PJ-1.図-3	深鉢	－	－	13.3	474.0	破片	○	○	◎	△	単節縄文(撚り戻しか)	後期後葉か、14-16と同一個体
第14図18	2号住居	PJ-2.9.　DK-71.13	鉢				148.0	破片	◎	○	△	△	胴部に単節縄文(撚り戻し)、頸部に半截竹管の腹面による連続爪形文、頸部と胴部の境に連続刺突文	諸磯b式
第14図19	2号住居	PJ-2.22.24.38.　DK-7.14	浅鉢	－	－	(13.5)	459.0	破片	○	○	△	△	浮線文、浮線文上に斜位の連続短沈線	諸磯b式、有孔浅鉢
第15図1	3号住居	PJ-3.	深鉢				14.0	破片	○	○	△	△	胎土に繊維を含む	前期前葉
第15図2	3号住居	PJ-3.19	浅鉢か	(20.0)	－	－	30.0	破片	○	△	×	△	浮線文、浮線文上に斜位の連続短沈線、口縁に穿孔列を有する(外面から内面への穿孔)	諸磯b式、有孔浅鉢か。
第15図3	3号住居	PJ-3.図-5.8	深鉢	(22.0)	－	－	180.0	破片	◎	△	△	△	単節縄文、浮線文、浮線文上は斜位の連続短沈線	諸磯b式
第15図4	3号住居	PJ-3.	深鉢				5.0	破片	△	△	△	△	幅広の隆線を貼り付け隆線上に細沈線、内面は指頭による調整痕	木島式
第15図5	3号住居	PJ-3.7.11. PJ-5. IG-150.684	深鉢				90.0	破片	△	◎	×	△	単節縄文による羽状縄文	前期中葉か
第15図6	3号住居	PJ-3.14	深鉢				21.0	破片	○	○	○	△	単節縄文、連続刺突文	諸磯a式
第15図7	3号住居	PJ-3.2	深鉢				40.0	破片	◎	○	△	△	連続爪形文、円形竹管文	諸磯b式
第15図8	3号住居	PJ-3.	深鉢				20.0	破片	○	○	△	△	連続爪形文、円形竹管文	諸磯b式
第15図9	3号住居	PJ-3.図-4.8	深鉢	－	－	10.0	109.0	破片	○	△	△	△	単節縄文	後期後葉
第15図10	3号住居	PJ-3.図-1.8.12.13 PJ-1.100.109	深鉢				569.0	1/5	○	△	○	△	単節縄文→浮線文→浮線文脇を指ナデにより押さえる→浮線文上に単節縄文により押捺	諸磯b式
第15図14	71号土坑	DK-71.3	深鉢	(19.0)	－	－	30.0	破片	○	◎	△	○	浮線文、浮線文上は斜位の短沈線	諸磯b式
第16図1	4号住居	IG-672	深鉢	(29.0)	－	－	15.0	破片	△	△	×	△	単節縄文	諸磯b式
第18図1	5号住居	PJ-5.190.230.255	深鉢	54.3	－	－	2,905.0	1/8	○	○	×	○	胴部は2本一単位の隆線を貼り付ける→棒状工具の単沈線による縦位の集合沈線文、隆帯は指ナデにより押える	曽利Ⅰ式、内面に二次被熱痕あり。
第18図2	5号住居	PJ-5.19.159.169.186.236.239. 240.241.248.254.261	深鉢	46.5	－	－	4,226.0	1/8	○	○	△	○	胴部に2本一単位の隆線をU字状に貼り付ける→半截竹管の腹面を用いた2本一単位の沈線による縦位の集合沈線文で充填→隆線上に半截竹管の腹面を用いた連続爪形文	曽利Ⅰ式、外面の剥落が激しい。
第18図3	5号住居	PJ-5. 148.151.187.233.238. 240.242.245.251	深鉢	33.5	－	－	2,600.0	1/5	○	○	×	○	把手貼り付け→幅広で低い隆帯をU字状に貼り付け隆帯上を3条の沈線で背割→半截竹管の腹面による縦位集合沈線	曽利Ⅰ式
第18図4	5号住居	PJ-5.45.105.106.107.194.195 222.225.226.227.229.230.239	深鉢	31.5	－	－	1,114.0	1/8	○	○	△	○	胴部に2本一単位の隆線を垂下→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線、隆線上に連続刻目文	曽利Ⅰ式
第18図5	5号住居	PJ-5.28.35.70.71.234 図-1.3.4.5.6.	深鉢	21.3	30.4	8.5	3,750.0	完形	△	△	×	○	8単位の把手貼り付け、胴部に幅広の隆帯をU字状に3単位を貼り付ける→半截竹管の腹面を用いた縦位の集合沈線→胴部隆帯上を単沈線により背割、把手に平行沈線をめぐらし「S」字状に文様を作出、頸部は半截竹管による連続爪形文	曽利Ⅰ式

山崎遺跡土器観察表

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第18図6	5号住居	PJ-5.図-13.115	深鉢	－	－	－	565.0	1/8	○	○	×	△	胴部に2本一単位の隆線を垂下→半截竹管腹面による縦位の集合沈線文、隆線上は同一工具による連続爪形文、頸部は細い粘土紐による籠目文	曽利Ⅰ式、内面にコゲ付着。
第18図7	5号住居	PJ-5.7.174.199.220.221.244.247 255.256.257.図-6.12	深鉢	－	－	6.2	703.0	2/3	○	○	×	△	胴部に2本一単位の隆線をU字状に貼り付け、半截竹管の腹面による縦位の集合沈線文→隆線上は同一工具による連続爪形文、頸部は細い粘土紐による籠目文	曽利Ⅰ式、小形、二次被熱が激しい。
第18図8	5号住居	PJ-5.88.119.137.260	深鉢	－	－	7.4	501.0	1/5	◎	○	×	△	胴部に2本一単位の隆線を2列垂下→それぞれの隆線間に蛇行した隆線を垂下、半截竹管の覆面を用いた集合沈線文	曽利Ⅰ式
第18図9	5号住居	PJ-5.図-7.8.9 PJ-5.139.149. 150.154.210.247.249 .250. 259 IG-106	有孔鍔付	22.5	44.0	20.8	5,570.0	1/2	○	△	×	○	幅広の低隆帯上に単沈線による連続沈線文をめぐらす、把手はおそらく2単位、口縁部の穿孔は1/3の残存率で一箇所のみ認められる、円形の透かしを持つ器台がつく	井戸尻式3段階
第18図10	5号住居	PJ-5.7.28.219.220.237.249.256	浅鉢	24.5	11.0	8.5	1,166.0	2/3	△	○	×	△	地文撚糸文	中期後葉か
第18図11	5号住居	PJ-5.図-11.12.13.14 IG-107 PJ-5. 171.173.175.176.177.178 .179. 226. 239.243.244.249	浅鉢	38.0	19.0	13.0	1,670.0	1/6	◎	○	×	△	単節縄文	曽利Ⅰ式か、摩滅激しい。
第19図1	5号住居	PJ-5.226.231	深鉢	13.8	20.5	6.5	1,046.0	3/4	○	○	×	△	半截竹管の腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式
第19図2	5号住居	PJ-5.161　PT-447	深鉢	11.6	16.2	5.5	104.0	3/4	△	○	×	○	微隆起状の隆線を口縁部から胴部にかけ垂下、胴部に棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線→沈線間に不定間隔で連続刺突文	曽利Ⅰ式、小形。PT447は5号住居柱穴
第19図3	5号住居	PJ-5.246	深鉢	(32.5)	－	－	194.0	破片	△	△	×	○		曽利Ⅰ式か
第19図4	5号住居	PJ-5.図-10	深鉢	－	－	8.5	1,067.0	破片	△	△	×	○	粘土紐の接合部で欠損	中期後葉か
第25図1	6A号住居	PJ-6.26. PJ-6B	深鉢				74.0	破片	○	△	×	△	わずかに繊維を含む、単節縄文→半截竹管の腹面による幾何学状の平行沈線文	関山Ⅱ式
第25図2	6A号住居	PJ-6 PT-292	深鉢				41.0	破片	×	×	×	×	繊維を含む、単節縄文→3本一単位の櫛歯状工具による波状沈線文、平行沈線文	関山Ⅱ式
第25図3	6A号住居	PJ-6.313	深鉢				18.0	破片	△	△	×	×	繊維を含む、内外面に指頭調整痕が明瞭に残る	前期前葉
第25図4	6A号住居	PJ-6.32.320 PJ-6B.366	深鉢				66.0	破片	△	○	×	×	繊維を含む、内外面に指ナデ調整痕が明瞭に残る、口縁に穿孔あり	前期前葉
第25図5	6A号住居	PJ-6.252	深鉢	(26.0)	－	－	60.0	破片	△	○	×	△	繊維を含む、内外面に指ナデ調整痕が明瞭に残る、口縁に穿孔あり	前期前葉
第25図6	6A号住居	PJ-6	深鉢	(23.0)	－	－	14.0	破片	○	○	△	○	口縁に幅広の連続爪形文	堂ノ上Z式か
第25図7	6A号住居	PJ-6.231	深鉢				24.0	破片	○	△	×	△	単節縄文、口縁に縦位連続沈線文	堂ノ上Z式か
第25図8	6A号住居	PJ-6.31.307	深鉢	(25.0)	－	－	228.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、外面と口縁の内面に無節縄文、結節縄文	花積下層式、69-5と68-1と同一個体
第25図9	6A号住居	PJ-6.132.317　周溝. PJ-6B PJ-13-149.155　PJ-26.145 PJ-34 PJ-39.39 PT-287	深鉢	(30.0)	－	－	283.0	破片	△	△	△	△	無節縄文、口縁に櫛歯状工具による連続刺突文	神ノ木式
第25図10	6A号住居	PJ-6.12.141.144.145.202.216. 233.276.　PJ-6B.338.354	深鉢	(32.0)	－	－	415.0	1/9	○	△	◎	◎	2本一単位の櫛歯状工具による綾杉状沈線文、円形竹管文、口唇に連続爪形文	諸磯a式
第25図11	6A号住居	PJ-6.281.PJ-6B.342	深鉢	25.5	－	－	25.0	破片	○	○	○	○	単節縄文、半截竹管の腹面による木葉脈状文、連続爪形文、円形押捺文、口唇に連続刺突文	諸磯a式
第25図12	6A号住居	PJ-6.80.152.327　DK-114 PJ-6B.69.145.175.274.278. 398	深鉢				492.0	1/9	○	○	◎	○	単節縄文、櫛歯状工具による米字状文、円形押捺文、口唇は連続刺突文	諸磯a式
第25図13	6A号住居	PJ-6.30.51.75.78.90.91.111 .127.158.162.187.305.327.331	深鉢	26.0	－	－	1,239.0	破片	◎	◎	○	○	単節縄文、連続爪形文による崩れた入組木葉文	諸磯b式
第26図1	6A号住居	PJ-6.38.44.52.85.102.113.160. 213.252.264.299.314.328 PJ-6B 353 PJ-34.119 PJ-39.49 IG-461	深鉢	26.2	－	－	770.0	1/3	△	○	△	△	横位の集合沈線文をめぐらせる→単節縄文(反撚りか)	諸磯b式
第26図2	6A号住居	PJ-6.301.347.355.203.151	深鉢	(19.0)	－	－	286.0	破片	○	○	△	△	単節縄文、半截竹管の腹面による連続押引文	前期後葉か
第26図3	6A号住居	PJ-6.36.84	深鉢	(34.0)	－	－	80.0	破片	△	△	×	△	浮線文、浮線文上は斜位の連続沈線文、胎土は黄灰褐色から黒色を呈し焼成堅緻で器壁が薄め	北白川下層Ⅱ式か
第26図4	6A号住居	DK-114	深鉢				51.0	破片	○	△	○	○	単節縄文→半截竹管の腹面よる幾何学状沈線文	諸磯b式
第26図5	6A号住居	PJ-13.24	深鉢				17.0	破片	○	△	×	○	口縁に短い隆線を縦位に貼り付ける、細密沈線による羽状沈線文、ボタン上貼り付け	諸磯c式
第26図6	6A号住居	PJ-6.15.24.25.46.48.140.148. 176.190.207.215.256.266.288 PJ-6B.386	深鉢	(23.0)	－	－	444.0	破片	○	○	△	△	単節縄文による羽状縄文、内面に指頭調整痕が残る、内削ぎ状の口縁	釈迦堂Z3式
第26図7	6A号住居	PJ-6.143.210.386.370.436.400	深鉢	(17.0)	－	－	311.0	破片	○	○	◎	○	単節縄文、内削ぎ状の口縁	釈迦堂Z3式
第26図8	6A号住居	PJ-6.1.139	深鉢	(25.0)	－	－	77.0	破片	○	△	×	△	単節縄文	前期中葉か
第26図9	6A号住居	PJ-6. IG-64.439.583	深鉢	(28.0)	－	－	161.0	破片	○	△	○	△	半截竹管の腹面による細密な連続爪形文、棒状工具による細密な沈線文	前期末葉
第26図10	6A号住居	PJ-6.5.4　IG-577　PJ-34.179	深鉢	30.8	－	－	260.0	破片	△	△	△	○	口縁に逆「つ」字状に隆帯を貼り付ける→半截竹管の腹面による羽状沈線文、胴部は三角形状の区画内に沈線文を充填	五領ヶ台式
第26図11	6A号住居	PJ-6.285	浅鉢	(23.0)	－		25.0	破片	○	○	△	△	口縁下端の稜を浮線文状に作出	諸磯b式、有孔浅鉢か
第26図12	6A号住居	PJ-6.17.42.106.108.110.136.146 153.184.199.326.204.216.265 .320.270.228.276.284.293.277.389. 279.222.209.286.225.259 . PJ-6B.401.444.373.374 .362.367.411.369.363.351.372 PJ-39 DK114	鉢	39.8	(24.0)	－	1,768.0	2/3	○	○	△	△	単節縄文	諸磯b式
第26図13	6A号住居	PJ-6B.404.429 PJ-6.137 DK-114	深鉢				187.0	破片	◎	○	△	△	幅広の浮線文、浮線文上に斜位の連続沈線文、浮線脇に連続爪形文	諸磯b式
第26図14	6A号住居	PJ-6.88.130.169.255.263 PJ-6B.420 DK-114	深鉢	(28.0)	－	－	598.0	破片	○	○	○	○	単節縄文、連続爪形文、半截竹管の腹面を用いた集合沈線文	諸磯a～b式
第26図15	6A号住居	PJ-6	深鉢				15.0	破片	○	○	△	×	幅広の隆帯上に連続指頭圧痕文、細密沈線文	木島式
第26図16	6A号住居	PJ-6.241.　PJ-13	深鉢				58.0	破片	△	○	△	◎	半截竹管の腹面による縦位の集合沈線文、二対のボタン上貼り付け	諸磯c式
第26図17	6A号住居	PJ-6.276.329　PJ-6B-391	深鉢				105.0	破片	○	◎	△	△	単節縄文→連続爪形文	諸磯a式
第26図18	6A号住居	PJ-6 PJ-39 PJ-6B DK-114	深鉢				158.0	破片	△	○	△	△	単節の結節縄文、連続爪形文、2列の円形竹管文	諸磯a式
第26図19	6A号住居	PJ-6.9.103.168.267PJ-13.60.90 DK-114	深鉢				330.0	破片	△	△	△	△	単節縄文、連続爪形文	諸磯a式
第27図1	6A号住居	PJ-6.285	深鉢				29.0	1/5	△	△	○	△	無節縄文、浮線文	諸磯b式、小形(ミニチュアか)
第27図2	6A号住居	PJ-6.40	深鉢	(26.0)	－	－	102.0	破片	○	○	△	○	単節縄文、内面に指頭調整痕が残る。種子圧痕あり。	前期中葉
第27図3	6A号住居	PJ-6.211	深鉢				56.0	破片	○	○	×	◎	単節縄文(撚り戻し)による羽状縄文	前期中葉か
第27図4	6A号住居	PJ-6.59	深鉢				20.0	破片	△	○	△	×	縦位の細密沈線文、内外面に指頭調整痕が明瞭に残る	木島式
第27図5	6A号住居	PJ-6	深鉢				9.0	破片	△	△	○	○	貝殻復縁文	早期後半か
第27図6	6A号住居	PJ-6.22	深鉢か	－	－	8.0	18.0	破片	△	○	×	×	底部がやや丸みを帯びる、胎土は黄灰褐色から黒色を呈す	北白川下層式
第27図7	6A号住居	PJ-6B.418	深鉢	－	－	8.5	35.0	破片	△	△	×	△	横方向の条痕	前期か
第27図8	6A号住居	PJ-6B.370	器台か(器種不明)	－	－	9.0	31.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、無節縄文	前期前葉か
第27図9	6B号住居	PJ-6B　PJ-6-303　DK114	深鉢	(26.0)	－	－	61.0	破片	△	△	×	×	繊維を含む、内外面に指頭調整痕が明瞭に残る	前期前葉
第27図10	6B号住居	PJ-6B.447.372.376.377.375 371.443	深鉢	(30.2)	－	－	1,021.0	1/5	○	△	△	△	無節縄文、半截竹管の腹面の平行沈線による入組木葉文・連続爪形文	諸磯a式

山崎遺跡土器観察表

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第27図11	6B号住居	PJ-6B.341.351. DK114-2 PJ6-159.253.155.99 PJ39 55	深鉢	(24.0)	－	－	472.0	破片	△	◎	◎	◎	単節縄文	前期後葉
第27図12	6B号住居	PJ-6B.378.383	深鉢	(9.5)	－	－	115.0	破片	△	○	△	×	単節縄文、連続爪形文	諸磯b式
第27図13	6B号住居	PJ-6B.412.447.403.437.381.419.下層 PJ-6-43.289.296 PT383	鉢	(30.0)	－	－	672.0	破片	△	○	○	△	単節縄文、半截竹管の腹面による平行沈線文・連続爪形文、入組木葉文	諸磯a～b式
第27図14	6B号住居	PJ-6B.447. PJ-6	深鉢				105.0	破片	△	○	×	×	無節縄文、連続刻目文を持つ凹線文、集合沈線文による格子目状文、	諸磯a式
第27図15	6B号住居	PJ-6B PJ-39 PJ-13.102.140	深鉢				25.0	破片	△	△	×	△	組紐	神ノ木式
第27図16	6B号住居	PJ-6B PJ-6	深鉢				17.0	破片	△	○	×	△	組紐	神ノ木式
第27図17	6B号住居	PJ-6B.351.PJ6-185.251	深鉢				93.0	破片	△	△	×	×	単節縄文	前期
第27図18	6B号住居	PJ-6B.411	深鉢				25.0	破片	△	△	×	×	0段多縄文	前期
第27図19	6号住居	PJ-6.197	深鉢				18.0	破片	△	○	△	△	結節縄文(単節)	前期後葉
第27図20	6号住居	PJ-6.136.197	深鉢				72.0	破片	△	○	△	×	結節縄文(単節)	前期後葉
第27図21	6号住居	PJ-6.7	深鉢				34.0	破片	△	△	×	×	単節縄文による羽状縄文、内面に指ナデ調整痕あり	前期中葉～後葉
第27図22	6号住居	PJ-6.229	深鉢				18.0	破片	×	○	○	×	結節縄文(単節)	前期後葉
第30図1	39号住居	PJ-39.38	深鉢	(25.0)	－	－	30.0	破片	○	○	△	△	繊維を含む、内面に指頭調整痕が残る	前期前葉か
第30図2	39号住居	PJ-39.53	深鉢	(28.0)	－	－	19.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、口唇に斜位の連続刻目文	下吉井式
第30図3	39号住居	PJ-39.54	深鉢	(26.0)	－	－	47.0	破片	○	○	△	○	繊維を含む、内面に凹凸あり	中越式
第30図4	39号住居	PJ-13.18 PJ-6.182 PJ-39.15 PT-281 DK-135	深鉢	(28.0)	－	－	224.0	1/8	○	△	△	△	無節の3本の縄の束、口唇は連続爪形文	神之木式PT281は39号住居柱穴
第30図5	39号住居	PJ-13-11	深鉢	(18.0)	－	－	81.0	破片	○	△	×	△	無節縄文、内面に凹凸が激しい	釈迦堂Z3式か
第30図6	39号住居	PJ-13.78.96	深鉢	(26.0)	－	－	40.0	破片	△	○	○	△	口唇に櫛歯状工具による連続刺突文を3列めぐらす、内外面に指頭調整痕が残る	上の坊式、外面にすす付着
第30図7	39号住居	PJ-13.28	深鉢	(25.0)	－	－	18.0	破片	○	○	△	△	無節縄文、口唇に不定間隔の刻目文	神之木式
第30図8	39号住居	PJ-39	深鉢	(25.0)	－	－	12.0	破片	○	△	△	△	口唇に2列の連続刺突文	上の坊式
第30図9	39号住居	PJ-13.18	深鉢	(24.0)	－	－	40.0	破片	△	△	×	△		中越式か
第30図10	39号住居	PJ-39.45	深鉢	(18.0)	－	－	45.0	破片	○	○	△	○	口縁一部に連続爪形文	前期中葉
第30図11	39号住居	PJ-13.143.21	深鉢	(16.0)	－	－	79.0	破片	○	△	△	△	内外面に指頭調整痕が残る、薄手	前期中葉か
第30図12	39号住居	PJ-13.159 DK135 PJ39 DK114	深鉢				119.0	破片	△	×	×	△	繊維を含む、組紐か、半截竹管の腹面による平行沈線文	関山Ⅱ式、82-16と同一個体
第30図13	39号住居	PJ-6.248 PJ-13.49	深鉢				174.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、単節縄文	関山Ⅱ式
第30図14	39号住居	PJ-13.39	深鉢				16.0	破片	○	△	×	△	櫛歯状工具による連続刺突文、条線文	神之木式
第30図15	39号住居	PJ-13	深鉢				4.0	破片	△	△	×	△	櫛歯状工具による連続刺突文、条線文	神之木式
第30図16	39号住居	PJ-39	深鉢				12.0	破片	△	△	×	△	櫛歯状工具による連続刺突文	神之木式
第30図17	39号住居	PJ-13.150	深鉢				45.0	破片	○	△	×	△	単節縄文、内面に凹凸が激しい	釈迦堂Z3式か
第30図18	39号住居	PJ-39.35.52	深鉢				80.0	破片	○	○	△	△	わずかに繊維を含む、底部尖底、外面に指頭調整痕が残る	中越式
第30図19	39号住居	PJ-13.168	深鉢	－	－	6.8	46.0	破片	○	△	△	△	単節縄文	前期中葉か
第30図20	39号住居	PJ-13	深鉢	－	－	7.5	25.0	破片	△	×	△	△	底部直上に連続爪形文をめぐらす	前期前葉か
第30図21	39号住居	PJ-39.65 IG-551 PJ-13.145.148.154	深鉢	－	－	7.2	371.0	1/5	○	○	△	△	無節縄文	前期後葉か。
第32図1	13号住居	PJ-13.埋カメ	深鉢	24.5	(29.0)	－	1,274.0	3/4	○	△	×	△	棒状工具による単沈線で縦位に文様施文域を区画(5単位)、区画内にハの字状沈線	曽利Ⅴ式、口縁外面の一部にオコゲ付着。埋甕
第32図2	13号住居	PJ-13.図-1	深鉢	(26.2)	－	－	468.0	破片	○	○	×	○	棒状工具による幅広の単沈線で縦位に文様施文域を区画→区画内にハの字状沈線	曽利Ⅴ式
第32図3	13号住居	PJ-13.89.174.72.23.65	深鉢	(28.0)	－	－	326.0	破片	○	△	×	△	棒状工具による幅広の単沈線で縦位に文様施文域を区画→区画内にハの字状沈線	曽利Ⅴ式
第32図4	13号住居	PJ-13.113.51 PJ-24.66	深鉢	(12.0)	－	－	158.0	1/6	△	△	×	△	4本一単位の櫛歯状工具による条線文をパッチワーク状に施文	曽利Ⅴ式
第32図5	13号住居	PJ-13.182	深鉢	(18.0)	－	－	48.0	破片	◎	△	×	○	棒状工具による単沈線で縦位に文様施文域を区画、区画内にハの字状沈線、区画間に蕨手状懸垂文	曽利Ⅴ式
第32図6	13号住居	PJ-13.70	深鉢	(15.0)	－	－	28.0	破片	○	△	×	△	棒状工具を用いた単沈線で口縁区画を施す、単位不明の条線文で胴部文様を描出	曽利Ⅴ式、外面にオコゲ付着
第34図1	9号住居	PJ-9.39.49.77.85.91.96.97.99.101 102.106.115.113.162.170.171.179.下層	深鉢	35.3	(55.0)	－	5,150.0	1/4	○	○	△	◎	隆線の貼付→隆線上に連続刺突文、隆線脇を単沈線により押さえる→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線	井戸尻式3段階
第34図2	9号住居	PJ-9.213.下層	深鉢	31.6	－	－	592.0	破片	△	×	×	○	隆線の貼付→隆線脇を単沈線で押さえる	井戸尻式3段階～曽利Ⅰ式
第34図3	9号住居	PJ-9.193.194	深鉢	32.0	－	－	975.0	1/9	△	△	×	○	二本の隆線を縦位に貼り付ける→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線→隆線上に連続刺突文	井戸尻式3段階～曽利Ⅰ式
第34図4	9号住居	PJ-9.26.73.74.194.195.196.203.209.212.下層	深鉢	17.0	36.5	8.0	2,803.0	ほぼ完形	△	△	△	○	隆線の貼付→隆線上に連続刺突文、隆線脇を単沈線により押さえる→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式
第34図5	9号住居	PJ-9.189	深鉢	－	－	13.5	3,720.0	4/5	△	△	×	○	隆線の貼付→棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線文で文様施文域を分割→区画内に横位の集合沈線文・楕円文	井戸尻式第3段階
第35図1	9号住居	PJ-9.180.185.190.205.下層	深鉢	－	－	7.0	868.0	2/3	△	△	×	△	隆線の貼付→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線、背割隆線により三叉上の手のようなモチーフを作出。	曽利Ⅰ式
第35図2	9号住居	PJ-9.10.34.47.51.59.109.110 112.123.127.128.下層. IG-222.227	深鉢	24.2	－	－	2,690.0	1/4	○	△	×	○	半截竹管の腹面による縦位の集合沈線→隆線上に連続刺突文→隆線脇を単沈線により押さえる。人面状のモチーフを作出。	曽利Ⅰ式
第35図3	9号住居	PJ-9.206	深鉢	－	－	9.0	2,510.0	3/4	△	○	×	△	半截竹管の腹面による縦位の集合沈線→隆線上に連続刺突文→隆線脇を単沈線により押さえる。人面状のモチーフを作出。	曽利Ⅰ式
第35図4	9号住居	PJ-9.79.163	深鉢	16.5	29.5	9.0	1,276.0	2/3	○	△	×	○	隆線の貼付→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線→隆線上に連続刺突文、隆線脇を単沈線により押さえる	曽利Ⅰ式
第35図5	9号住居	PJ-9.147.187.下層	深鉢	17.3	32.0	7.5	1,866.0	4/5	○	△	×	△	隆線貼り付け→棒状工具の単沈線による縦意の集合沈線文→隆線上に連続刺突文、隆線脇を単沈線により押さえる。頸部に粘土紐貼付による籠目文	曽利Ⅰ式
第35図6	9号住居	PJ-9.7.8.55.111.129	深鉢	－	－	7.4	1,240.0	2/3	△	△	△	○	隆線の貼付→隆線上に連続刺突文、隆線脇を単沈線により押さえる→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式
第35図7	9号住居	PJ-9.113.130.70	深鉢	－	－	5.5	409.0	1/2	△	△	×	○	半截竹管の腹面によりU字状の半隆帯を作出。隆帯上に連続刺突文→棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式
第35図8	9号住居	PJ-9.127.76.52.49.121	深鉢	12.4	14.5	6.0	502.0	2/3	△	△	×	△	粘土紐貼り付けによる縦位の蛇行懸垂文→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線。頸部に粘土紐貼付による籠目文	曽利Ⅱ式、小形
第35図9	9号住居	PJ-9.132.197.下層	深鉢				785.0	1/3	○	○	×	○	低い隆帯の貼り付け→棒状工具を用いた縦位の集合沈線→隆線脇を単沈線により押さえる	曽利Ⅰ式
第35図10	9号住居	PJ-9.93.174	深鉢	36.5	－	－	1,383.0	1/7	△	△	×	○	隆線の貼付→隆線上に連続刺突文、半截竹管の腹面による縦位の集合沈線	井戸尻式3段階～曽利Ⅰ式
第35図11	9号住居	PJ-9.159.下層. PJ-5	深鉢	13.4	－	－	456.0	1/4	△	△	×	○	単沈線で区画後、区画内に刺突文を充填	曽利Ⅰ式
第35図12	9号住居	PJ-9.126.179.180	深鉢	(16.0)	－	6.0	940.0	4/5	○	○	×	○	隆線を横位にめぐらす→隆線脇を棒状工具による単沈線で押さえる→隆線上に連続刺突文、胴部は単節縄文	曽利Ⅰ式
第35図13	9号住居	PJ-9.27.128.203.20. IG-229.236	深鉢	11.2	18.2	5.8	521.0	4/5	△	×	×	△	棒状工具を用いた縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式
第35図14	9号住居	PJ-9.165	深鉢	－	－	7.5	931.0	4/5	○	△	×	○	隆線を縦位に貼付→棒状工具を用いた縦位の集合沈線→隆線上に連続刺突文	曽利Ⅰ式
第35図15	9号住居	PJ-9.201	深鉢	－	－	8.5	927.0	1/3	△	△	×	◎	隆線の貼付→隆線脇を単沈線で押さえる→棒状工具を用いた縦位の集合沈線、隆線上に連続刺突文	曽利Ⅰ式、土器内に30個程度の小礫を埋納
第36図1	9号住居	PJ-9.213.下層	深鉢	38.0	－	－	1,059.0	1/8	○	△	×	○	隆帯と幅広の単沈線による褶曲文	曽利Ⅰ式
第36図2	9号住居	PJ-9.181	鉢	26.0	－	－	547.0	破片	△	×	×	△	眼鏡状の把手を貼り付ける→単節縄文	曽利Ⅰ式
第36図3	9号住居	PJ-9.202.188.202	浅鉢	38.0	18.5	13.5	3,650.0	4/5	◎	△	×	△	隆帯脇を単沈線で押さえる	井戸尻式3段階

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第36図4	9号住居	PJ-9.214.172	浅鉢	21.0	13.8	9.5	1,475.0	1/2	○	○	×	○	口縁に7～8単位の環状の把手をめぐらす、半隆帯脇を連続刺突文で押さえる	曽利Ⅰ式
第36図5	9号住居	PJ-9.37.140.182.210	浅鉢	44.0	23.6	13.0	1,325.0	1/4	△	△	×	○	単節縄文	加曽利1式か
第36図6	9号住居	PJ-9	深鉢	(25.0)	－	－	12.0	破片	○	○	○	△	口唇に連続した単節縄文原体の押捺	前期
第36図7	9号住居	PJ-9.下層	深鉢				8.0	破片	○	◎	○	×	押型文	早期
第36図8	9号住居	PJ-9	ミニチュア	(1.5)	－	－	1.3	1/5	△	△	×	△	先端が鋭利な工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式か
第36図9	9号住居	PJ-9.114	深鉢				56.0	破片	△	×	×	○	撚糸文	中期後葉か
第36図10	9号住居	PJ-9.下層.　PT458	深鉢	－	－	(4.0)	70.0	破片	○	△	○	△	結節縄文、4本一単位の櫛歯状工具による連続刺突文および沈線文→円形竹管文	諸磯a式。PT458は9号住居柱穴
第36図11	9号住居	PJ-9.134.191	深鉢	(15.0)	－	－	125.0	破片	△	×	×	○	隆線の貼付→隆線脇を単沈線で押さえる→隆線上に連続刺突文、細かな粘土紐を貼り付ける	曽利Ⅰ式
第36図12	9号住居	PJ-9.209	深鉢	9.4	13.3	5.5	309.0	ほぼ完形	△	△	×	△	文様描出は棒状工具による単沈線	曽利Ⅰ式、ミニチュア
第36図13	9号住居	PJ-9.199	深鉢	12.7	14.7	6.0	561.0	破片	○	△	×	○	無文だが一部に無節縄文の押圧あり	中期中葉～後葉、小
第36図14	9号住居	PJ-9.200	台付椀形土器	8.7	10.8	6.3	362.0	完形	○	△	×	○	文様描出は棒状工具による単沈線	曽利Ⅰ式、ミニチュアか
第36図15	9号住居	PJ-9	ミニチュ	(4.0)	(4.0)	－	62.0	1/5	△	△	×	△	内外面に指ナデ調整痕あり	不明
第36図16	9号住居	PJ-9	土偶	－	(7.5)	(4.0)	67.0	2/3	△	×	×	○	棒状工具による単沈線は胴部と脚部、粘土紐貼り付けにより正中線と臍部分部を表現	曽利Ⅰ式
第36図17	9号住居	PJ-9	土偶	－	(6.0)	－	119.0	1/3	○	△	○	×	隆線により正中線と臍部分を表現、それ以外は棒状工具の単沈線で表現	曽利Ⅰ式
第38図8	10号住居	PH-10.4.7.8 PJ-9	高台付椀	14.1	5.7	6.5	78.0	破片	×	×	×	×	灰釉陶器、胎土緻密、ロクロ整形、ハケによる釉薬塗布	10世紀前半
第38図9	10号住居	PJ-10	高台付椀	9.2	4.1	4.5	48.0	1/4	△	×	△	△	土師器、内外面とも黒色でミガキ調整、ロクロ整形	10世紀前半
第40図1	12号住居	PJ-12.35	深鉢	(23.8)	－	－	240.0	破片	△	△	×	○	隆線の貼付→隆線上に連続押引文、隆線脇を棒状工具による単沈線で押さえる	曽利Ⅰ式
第40図2	12号住居	PJ-12 IG-83	深鉢				289.0	破片	○	△	×	△	隆線の貼付→半截竹管の腹面による縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式
第40図3	12号住居	PJ-12.3.27　IG-254	深鉢	－	－	6.7	508.0	1/4	△	△	×	○	二本の隆線を縦位に貼り付ける→棒状工具を用いた縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式、二次被熱激しい
第44図1	17号住居	PJ-17.209.212.C図-1	深鉢	44.5	－	－	837.0	1/8	○	△	△	△	中空の水煙把手	曽利Ⅰ式
第44図2	17号住居	PJ-17.29.118.119.121 A図-4.7.9.10.11.12.13.14.17.19.20.2124.25.26.28.30.31.35	深鉢	31.6	(52.0)	－	3,746.0	2/3	○	△	×	△	連続刺突を有する隆線を横位にめぐらす、単節縄文	曽利Ⅰ式か
第44図3	17号住居	PJ-17.A図-29	深鉢	13.8	18.5	5.9	835.0	ほぼ完形	○	△	△	△	幅広の隆帯をU字状に貼り付ける(3単位)→隆帯上に2条の平行沈線文、棒状工具を用いた縦位の集合沈線、頸部に蛇行した隆線をめぐらせる	曽利Ⅰ式
第44図4	17号住居	PJ-17.C図-8	深鉢	18.2	24.5	7.5	899.0	4/5	○	△	×	△	2本一単位の隆線を縦位に貼り付ける→棒状工具を用いた縦位の集合沈線→隆線上に連続刺突文、頸部に蛇行した隆線をめぐらせる	曽利Ⅰ式
第44図5	17号住居	PJ-17.1.8.60.80.90.91	深鉢	15.2	24.3	7.2	598.0	1/2	△	△	×	△	棒状工具を用いた縦位の集合沈線→沈線間に一定間隔で連続刻目文	曽利Ⅰ式
第44図6	17号住居	PJ-17.87.104.188 B図-1.2	浅鉢	28.2	15.0	11.0	1,184.0	1/2	○	△	×	△		曽利Ⅰ式か
第44図7	17号住居	PJ-17.12	匙状土製品	3.8	(6.1)	－	29.0	2/3	○	△	×	△	胎土にスコリアを含む、手づくねによる整形	時期不明(中期か)
第44図8	17号住居	PJ-17.66	土製品				13.0	破片	△	×	△	△	胎土にスコリアを含む、手づくねによる整形、中央に穿孔を有するが形状不明	時期不明(中期か)
第44図9	17号住居	PJ-17	ミニチュ	(4.8)	－	－	7.0	破片	△	×	×	△	棒状工具を用いた縦位の集合沈線	曽利Ⅰ式か
第49図1	18号住居	PJ-18.36.15.　IG-269,271	深鉢	22.1	(32.0)	－	894.0	1/6	◎	○	×	△	単節縄文	曽利Ⅰ式か
第49図2	18号住居	PJ-18.35.4.5	深鉢				131.0	1/8	○	△	×	△	2本一単位の隆線を縦位に貼り付ける→隆線間に蛇行した隆線を貼り付ける、棒状工具を用いた縦位の集合沈線、頸部は蛇行隆線を横位に2段めぐらす	曽利Ⅰ式
第52図1	20号住居	PJ-20.29.38.46.56.57.94.102	鉢か	(16.0)	－	7.0	333.0	1/8	△	△	×	△	単節縄文、連続爪形文による幾何学状文、底部は楕円形を呈す	諸磯a式
第52図2	20号住居	PJ-20.98	深鉢	(12.0)	－	－	56.0	破片	○	○	×	△	無節縄文	前期
第52図3	20号住居	PJ-20.57	深鉢	(27.0)	－	－	13.0	破片	△	○	△	△	櫛歯状工具による条線文、口唇に連続刺突文	諸磯b式
第52図4	20号住居	PJ-20.39.46.47.49.62.82	深鉢				209.0	破片	○	○	×	△	半截竹管の腹面による波状文を横位に3列めぐらす	諸磯a式
第52図5	20号住居	IG-19	深鉢				25.0	破片	○	○	◎	△	単節縄文による結節縄文、櫛歯状工具による条線文、内面に輪積み痕が残る	諸磯b式
第52図6	20号住居	PJ-20.17	深鉢				28.0	破片	○	○	◎	△	櫛歯状工具による条線文	諸磯b式
第52図7	20号住居	DK-88.2	深鉢				33.0	破片	○	◎	◎	○	単節縄文、6本一単位の櫛歯状工具による条線文	諸磯b式
第52図8	20号住居	PJ-20.41	深鉢				25.0	破片	○	○	○	△	6本一単位の櫛歯状工具による条線文	諸磯b式
第52図9	20号住居	PJ-20.38.92	深鉢				78.0	破片	○	○	△	△	半截竹管の腹面を用いた集合沈線で米字状文を描く、円形竹管文	諸磯a式
第52図10	20号住居	PJ-20.87	鉢か				35.0	破片	○	○	○	△	単節縄文	諸磯b式
第52図11	20号住居	PJ-20	深鉢				7.0	破片	○	○	△	△	山形押型文	早期後半
第52図12	20号住居	DK-86	深鉢				15.0	破片	○	○	◎	△	2本一単位の隆線を横位に貼り付ける→隆線上に連続刺突文、櫛歯状工具による条線文	諸磯b式
第54図1	318号ピット	PT-318 図-2	深鉢	15.6	－	－	331.0	1/3	○	○	△	○	半截竹管腹面による斜格文・格子目状文	前期中葉か、内外面に二次被熱痕あり
第54図2	318号ピット	PT-318 図-5.6.15.18	深鉢				343.0	破片	△	△	×	△	幅広の隆帯に交互刺突、連続刺突文	曽利Ⅰ式、外面に被熱痕あり
第54図3	318号ピット	PT-318　図-3	深鉢				343.0	破片	△	△	×	○	幅広の隆帯を棒状工具の単沈線で背割、半截竹管の腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第54図4	21号住居	埋カメ　IG-251	深鉢				1,810.0	1/4	○	○	×	△	2本一単位の隆線を直線状に貼り付ける、隆線上に半截竹管腹面による連続爪形文、頸部は粘土紐貼り付けによる籠目文	曽利Ⅰ式、二次被熱激しい。埋甕
第59図1	24号住居	炉.図-1.4.8.10　TR-17　IG-57 PJ -24.11.24.25.26.28.32.34.58.61.63.67.69.70.75.76.80.82.83.84. PJ-13.111.164	深鉢	42.0	55.2	9.5	2,880.0	1/5	○	△	△	○	口縁部は幅広の沈線により半隆帯を作出、口縁部区画を施す→区画内に単節縄文、胴部は幅広の単沈線による逆U字状区画文、蕨手状懸垂文→区画内に単節縄文	加曽利E3式
第59図2	24号住居	PJ-24.22　図-1	深鉢	28.7	(40.0)	－	461.0	1/6	◎	◎	△	△	縦位に単沈線を垂下し区画→区画内に単節縄文→蕨手状の蛇行懸垂文	曽利Ⅳ式
第59図3	24号住居	埋カメ	深鉢				2,280.0	1/2	○	△	△	△	幅広の単沈線による対向U字状懸垂文→櫛歯状工具による縦位の綾杉状条線文→蛇行懸垂文	曽利Ⅳ式。埋甕
第59図4	24号住居	炉.図-2.3.12.13.14　PJ-24.7.8.26 34.45.99 PJ-13.97.98.99 IG-511	深鉢	25.6	－	－	1,950.0	3/4	○	○	△	△	単沈線による「Π」状の区画→区画内に6本一単位の櫛歯状工具による縦位の綾杉状条線文	曽利Ⅳ式
第59図5	24号住居	PJ-24.33.39.41.42.43.46　IG-57	深鉢	25.5	－	－	606.0	1/4	○	○	△	○	単沈線による「Π」状の区画→区画内に単沈線による縦位の綾杉状文	曽利Ⅳ式
第59図6	24号住居	PJ-24.2.4.6.48.49.50. 炉.図-1.2.5.7	深鉢	15.0	25.0	7.0	316.0	1/3	○	○	○	△	2本一単位の単沈線による懸垂文→縦位の集合沈線文→蛇行懸垂文	曽利Ⅳ式
第59図7	24号住居	PJ-24.56.90	深鉢	(27.0)	－	－	267.0	破片	○	○	△	○	幅広の単沈線により半隆帯を作出→単節縄文→胴部は半隆帯区画内に蛇行懸垂文	加曽利E3式
第59図8	24号住居	PJ-24.54	深鉢	(26.0)	－	－	126.0	破片	○	○	×	○	幅広の単沈線による逆U字状文→櫛歯状工具による縦位の条線文	曽利Ⅳ式
第62図1	25号住居	PJ-25.5.12.14.15.19.20.22 35.29.72.68	深鉢	22.0	28.0	－	513.0	1/4	○	△	△	○	繊維を含む、底部尖底	中越式
第62図2	25号住居	PJ-25.2.4.25.38.41.43.44.45.58.66.67.69	深鉢	27.2	－	－	581.0	1/6	○	○	△	○	繊維を含む、半截竹管の腹面を用いた浅い沈線による格子目上文	中越式
第62図3	25号住居	PJ-25.71	深鉢	(25.0)	－	－	42.0	破片	△	△	△	△	繊維を多量に含む、タガ状隆帯、口唇と胴部に無節縄文	坂平式
第62図4	25号住居	PJ-25	深鉢	－	－	－	36.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、無節縄文による羽状縄文	関山式か
第68図1	26号住居	PJ-34.108	深鉢	(28.0)	－	－	78.0	破片	○	○	△	△	繊維を含む、外面と口縁内面に無節縄文、結節縄文	花積下層式、69-5と25-8と同一個体

山崎遺跡土器観察表

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第68図2	26号住居	PJ-26.83	深鉢	(24.0)	－	－	20.0	破片	○	○	×	○	繊維を含む、無節縄文	前期初頭
第68図3	26号住居	IG-493	深鉢	(24.0)	－	－	14.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、無節縄文	前期初頭
第68図4	26号住居	PJ-26.89	深鉢	(16.0)	－	－	32.0	破片	○	○	◎	△	内面に指頭調整痕が残る	中越式
第68図5	26号住居	PJ-26.85.86.91.97.107.121.128 134.139.144.147 図-1.2 IG-452	深鉢	29.2	(36.0)	－	1,480.0	1/3	○	△	△	○	繊維を含む、単節縄文による羽状縄文	関山Ⅱ式平行、内外面にススト付着
第68図6	26号住居	PJ-34	深鉢	(18.0)	－	－	6.0	破片	△	△	△	△	口唇部に連続指頭文、細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第68図7	26号住居	PJ-34	深鉢				21.0	破片	◎	○	×	○	単節縄文、集合沈線による波状文	関山式
第68図8	26号住居	PJ-3456	深鉢				17.0	破片	○	○	△	×	4本一単位の細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第69図1	36号住居	PJ-36.22	深鉢	(26.0)	－	－	49.0	破片	△	○	◎	○	繊維を含む、口縁に断面三角形の微隆起線をめぐらせる	下吉井式
第69図2	36号住居	PJ-14.2	深鉢	(27.0)	－	－	13.0	破片	○	△	△	△	口唇に2列の連続爪形文	堂ノ上Z式
第69図3	36号住居	PJ-36.9	深鉢				21.0	破片	△	△	△	○	繊維を含む、内外面に指頭調整痕が残る	中越式か、69-4と同一個体
第69図4	36号住居	PJ-36.184	深鉢				46.0	破片	△	△	×	○	繊維を含む、内外面に指頭調整痕が残る	中越式か、69-3と同一個体
第69図5	36号住居	PJ-36.190	深鉢				156.0	破片	○	△	△	○	繊維を多量に含む、無節縄文による結節縄文	花積下層式、25-8と68-1と同一個体
第69図6	36号住居	PJ-36.57	深鉢				19.0	破片	△	◎	△	○	連続爪形文	諸磯b式
第69図7	36号住居	PJ-3666	深鉢				33.0	破片	○	△	△	◎	半截竹管の腹面による縦位の細密な集合沈線文	前期末葉～中期初頭
第69図8	36号住居	PJ-36112.189.39　IG-553	深鉢	－	－	15.0	168.0	破片	○	○	△	○	単節縄文(撚り戻しか)	諸磯b式か
第69図12	37号住居	PJ-34	深鉢	(27.0)	－	－	16.0	破片	△	◎	◎	△	半截竹管の腹面による平行沈線文、口唇に連続刻目文	前期後葉か
第69図13	37号住居	PJ-26-7	深鉢	(24.0)	－	－	33.0	破片	○	◎	○	△	単節縄文(撚り戻しか)	釈迦堂Z3式か
第69図14	37号住居	IG-42	深鉢				45.0	破片	○	△	△	△	半截竹管の腹面による連続爪形文	諸磯b式
第69図15	37号住居	PJ-26-127	深鉢				25.0	破片	△	○	○	△	半截竹管の腹面による平行沈線文→円形竹管文	諸磯b式
第69図16	37号住居	PJ-34	深鉢				12.0	破片	△	○	△	△	半截竹管の腹面による平行沈線文→円形竹管文	諸磯a～b式
第69図17	37号住居	PJ-34.52	深鉢				17.0	破片	△	△	×	△	単節縄文→円形竹管文	諸磯a式
第69図18	37号住居	PJ-34.74	深鉢				15.0	破片	△	○	△	△	単節縄文→半截竹管腹面による平行沈線文→円形竹管文	諸磯a～b式
第69図19	37号住居	PJ-26	深鉢				6.0	破片	△	○	×	○	単節縄文→半截竹管腹面による斜位の平行沈線文→円形竹管文	諸磯a～b式
第69図20	37号住居	PJ-34.4	深鉢				12.0	破片	◎	△	×	△	2本一単位の隆線を貼り付ける、隆線上に連続刺突文	前期後葉か
第69図21	37号住居	PJ-34.56	深鉢				12.0	破片	△	△	×	○	柵状の浮線文	諸磯b式
第69図22	37号住居	PJ-26.133	深鉢				14.0	破片	○	○	×	△	単節縄文→半截竹管腹面による斜位の平行沈線文	諸磯b式
第69図23	37号住居	PJ-34.91	深鉢				32.0	破片	△	○	○	△	単節縄文、半截竹管腹面による平行沈線	諸磯b式
第69図24	37号住居	IG-441	深鉢				17.0	破片	△	△	△	△	櫛歯状工具による細密な集合沈線文→ボタン上貼り付け	諸磯c式
第69図25	37号住居	PJ-37.2	製品				9.0	破片	△	×	×	○	手づくねによる整形、側面に連続刺突文	時期不明、耳飾か把
第70図1	34号住居	炉. 図-1 PJ-34.4.20.65.67.159. 163～173.178.180 IG-54.103. 110.185.483.484.486	深鉢	32.0	57.5	17.0	#######	4/5	○	△	○	△	隆帯を対向U字状・直線状に貼り付け区画内に棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線文→不定間隔で集合沈線間に連続刻目文→隆帯上は連続刺突文	曽利Ⅰ式、内面に二次被熱あり。埋甕
第70図2	34号住居	50.42.8.14.11.173.1.192.172.175.94 .167.152　IG-96.11.110	深鉢	40.0	－	－	3,631.0	1/6	○	△	△	○	幅広で太い隆帯を対向U字状・直線状に貼り付ける、区画内に棒状工具をもちいた単沈線による縦位の集合沈線文、隆帯上は指先を用いた連続刻目文(刻目文内に指紋が残る)	曽利Ⅰ式、内面に二次被熱痕激しい。
第70図3	34号住居	PJ-34.37.97.79.98.107 PJ-26.157 PT151	深鉢	11.0	(23.0)	－	239.0	1/5	△	×	△	△	隆線を垂下→半截竹管の腹面により隆線上に連続爪形文→胴部は半截竹管腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式、内外面にスス・コゲ付着
第70図4	34号住居	炉.図-2	深鉢	8.8	15.9	5.3	413.0	4/5	○	△	△	○	半截竹管の腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式、小形。埋甕
第70図5	34号住居	PJ-34.116.127.140.150	浅鉢	31.5	－	－	534.0	破片	○	△	△	○	口唇に棒状工具を用いた2本一単位の平行沈線をめぐらす→沈線間に連続刺突文	井戸尻式第3段階か
第70図6	34号住居	PJ-26.155	ミニチュア	3.5	6.8	3.2	77.0	完形	○	△	△	○	棒状工具を用いた単沈線による格子目状沈線文	曽利Ⅰ式、完形
第70図7	34号住居	PJ-34	ミニチュ	6.8	－	－	8.0	破片	△	△	△	△		中期か
第73図1	27号住居	PJ-27	深鉢	(12.0)	－	－	6.0	破片	△	△	△	△	口唇部に連続指頭文、細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第73図2	27号住居	PJ-27.143	深鉢	(30.0)	－	－	27.0	破片	○	○	△	△	繊維を含む、口唇に斜位の刻目文	前期初頭
第73図3	27号住居	PJ-27.19.20	深鉢	(14.0)	－	－	21.0	破片	△	×	×	×	繊維を含む、無節縄文	前期初頭
第73図4	27号住居	PJ-27.142	深鉢	(28.0)	－	－	24.0	破片	○	○	△	○	外面と口唇内面に単節縄文	花積下層式
第73図5	27号住居	PJ-27.67.121.125. DK-73.12	深鉢	14.4	－	－	128.0	1/3	△	△	×	△	半截竹管の腹面による集合沈線文→口縁部に縦位の短い隆線貼り付け、ボタン状貼り付け	諸磯c式、小形(ミニチュアか)
第73図6	27号住居	PJ-27	深鉢				6.0	破片	△	○	△	×	微隆起線、隆起線上に連続爪形文、単一沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第73図7	27号住居	PJ-27.32	深鉢	－	－	(11.0)	55.0	破片	△	○	×	○	繊維を含む、条痕状の沈線文	前期初頭
第73図8	27号住居	PJ-27.75	深鉢				75.0	破片	○	△	△	◎	半截竹管の腹面による集合沈線文→2個一対のボタン状貼り付け	諸磯c式
第73図14	35号住居	IG-514	深鉢	(14.0)	－	－	12.0	破片	◎	○	×	△		前期前葉か
第73図15	35号住居	PJ-35	深鉢	(16.0)	－	－	10.0	破片	○	△	△	△		前期前葉か
第73図16	35号住居	PJ-35	深鉢				5.0	破片	△	△	△	×	櫛歯状工具による細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第73図17	35号住居	IG-31	深鉢				20.0	破片	△	○	○	○	単節縄文、棒状工具による単沈線	前期後葉か
第73図18	35号住居	IG-612	深鉢				22.0	破片	○	○	△	△	単節縄文、内面に指頭調整痕が明瞭に残	釈迦堂Z3式か
第73図19	35号住居	PJ-35.4	深鉢				43.0	破片	○	○	△	○	繊維を含む、無節縄文による羽状縄文	前期中葉
第73図20	73号土坑	DK-73.18	深鉢	(19.0)	－	－	28.0	破片	△	○	×	○	繊維を含む、内面に横方向の指ナデによる調整痕が残る	前期初頭
第73図21	73号土坑	DK-73.2	深鉢	(22.0)	－	－	43.0	破片	△	○	△	△	単節縄文	前期後葉
第73図22	73号土坑	DK-73.3.5	浅鉢	－	－	5.0	111.0	1/4	△	○	○	△	削りよって器面に稜を作出	諸磯b式
第73図23	73号土坑	DK-73.15	深鉢				54.0	破片	○	△	△	△	繊維を含む、0段多条縄文→櫛歯状工具によるループ文	関山Ⅱ式
第74図1	28号住居	PJ-28.12.21	深鉢				88.0	破片	△	△	×	△	繊維を多量に含む、タガ状隆帯	坂平式
第74図2	28号住居	IG-456	深鉢				99.0	破片	○	○	×	△	組紐か	神ノ木式か、内面の二次被熱が激しい。
第74図3	28号住居	PJ-28.9	深鉢				19.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、細密沈線文、連続爪形文、内面に条痕文	上の坊式か
第74図4	28号住居	PJ-28.8.9.28	深鉢	(31.0)	－	－	247.0	1/8	○	△	×	△	無節縄文	前期、外面にスス付着。
第76図1	29号住居	埋ヨウロ.図-1	深鉢	26.0	－	－	1,560.0	1/3	○	○	△	△	口唇に「つ」字状の貼り付け→口唇と隆帯上に連続爪形文、口縁部と頸部は半截竹管の腹面による格子目状沈線文	五領ヶ台Ⅰ式、埋甕炉
第76図2	29号住居	PJ-29.2	深鉢				36.0	破片	○	△	△	◎	単節縄文→隆線貼り付け、隆線上に連続爪形文	十三菩提式
第76図7	30号住居	埋ヨウロ-1図-1.2.3.4. IG-644.648	深鉢	26.0	－	－	918.0	1/4	◎	○	△	○	口唇に連続爪形文、半截竹管の腹面による斜位の集合沈線文	五領ヶ台Ⅰ式。埋甕炉
第76図8	30号住居	埋ヨウロ-2	深鉢				399.0	1/5	○	○	△	○	半截竹管の腹面による文様施文、頸部は矢羽根上沈線、胴部は縦位および斜位の集合沈線文(一部連続刻目状を呈す)	前期末葉～中期初頭。埋甕炉
第78図1	31号住居	PJ-31.7	深鉢	29.0	(35.0)	－	1,691.0	1/2	△	△	×	△	単節縄文、内削ぎ状の口縁	釈迦堂Z3式
第78図2	31号住居	PJ-31.26.中層	深鉢				664.0	1/5	○	◎	○	○	単節縄文、櫛歯状工具を用いた条線による木葉状文	諸磯a式
第78図3	31号住居	PJ-31.25.26　PT487	深鉢	18.0	－	－	508.0	1/4	△	△	×	△	単節縄文、口唇に半截竹管の腹面による連続刺突文、内面に輪積み痕が残る	前期後葉か。PT487は31号住居柱穴
第78図4	31号住居	PJ-31.4.10　PJ-34.110 PT-115 PJ-13	深鉢か	17.4	－	－	407.0	1/2	△	△	×	△	繊維を含む、口縁部は連続爪形文による渦巻状文、「X」字状文、胴部は単節縄文による羽状縄文	前期中葉か

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第78図5	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(17.0)	－	－	284.0	1/8	△	△	△	△	繊維を含む、半截竹管の腹面による平行沈線文、波状文、単節縄文	関山式
第78図6	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(28.0)	－	－	126.0	破片	○	△	○	○	単節縄文	神之木式
第78図7	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(23.0)	－	－	12.0	破片	○	△	×	○	口唇に櫛歯状工具に連続刺突文	神之木式
第78図8	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(23.0)	－	－	13.0	破片	○	△	×	○	口唇に櫛歯状工具に連続刺突文	神之木式
第78図9	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(24.0)	－	－	33.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、口唇に連続刺突文、器面に条痕状の沈線文	前期初頭
第78図10	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(26.0)	－	－	21.0	破片	○	△	×	△	3列の連続爪形文	堂ノ上Z式
第78図11	31号住居	IG-696	深鉢	(28.0)	－	－	14.0	破片	○	△	△	△	複節縄文か、口唇に連続爪形文	神之木式
第78図12	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(16.0)	－	－	16.0	破片	△	△	△	×	つまみ上げによる隆帯作出、斜位の細密沈線、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第78図13	31号住居	PJ-31.1	深鉢	(18.0)	－	－	25.0	破片	○	○	△	○	口唇に連続刺突文、胴部は無節縄文	神之木式
第78図14	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(25.0)	－	－	42.0	破片	△	○	×	○	口唇に先端が鋭利な工具による連続短沈線文	堂ノ上Z式
第78図15	31号住居	PJ-31.中層.	深鉢	(13.0)	－	－	26.0	破片	△	△	×	△	口唇部に連続指頭文、櫛歯状工具による細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第78図16	31号住居	PJ-317	深鉢	(31.0)	－	－	40.0	破片	△	○	○	△	口唇に連続刻目文、細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第78図17	31号住居	PJ-31中層. DK213 IG-723	深鉢か	－	－	20.0	294.0	破片	△	△	△	×	底部がやや丸底を呈す、横斜に隆線貼り付け、隆線上に連続刻目文、単節縄文による羽状縄文、胎土は灰黄褐色から黒色系著手	北白川下層Ⅱ式か
第78図18	31号住居	PJ-31.2. IG-37	深鉢	(31.0)	－	－	264.0	破片	△	○	△	△	繊維を含む、無節縄文	前期中葉
第78図19	31号住居	PJ-31.5.9.中層 IG-34 PJ-33 PJ-27.56	深鉢	(28.0)	－	－	500.0	1/4	◎	△	△	○	単節縄文(撚り戻し)	前期中葉か
第78図20	31号住居	IG-694	深鉢	(22.0)	－	－	170.0	破片	△	△	△	△	繊維を含む、単節縄文	前期初頭
第78図21	31号住居	PJ-31.中層　DK73-11	深鉢	(25.0)	－	－	61.0	破片	○	△	×	×	単節縄文	前期前葉
第78図22	31号住居	PJ-31	深鉢	(24.0)	－	－	32.0	破片	○	△	△	△	単節縄文、内面に条痕が残る	前期前葉
第78図23	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(23.0)	－	－	70.0	破片	○	○	◎	◎	口縁に焼成後の穿孔あり	中越式
第78図24	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(26.0)	－	－	96.0	破片	○	○	△	○	繊維を含む	中越式
第78図25	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	(26.0)	－	－	93.0	破片	△	○	×	△	繊維を含む、内外面に指頭調整痕が残る	中越式
第79図1	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				27.0	破片	×	△	○	△	4本一単位の櫛歯状工具による細密沈線文、内面指頭調整痕が残る	木島式
第79図2	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				91.0	破片	○	△	△	△	胎土に赤色粒子を含む、単節縄文、櫛歯状工具による連続刺突文、波状文	神之木式
第79図3	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				31.0	破片	○	△	×	○	繊維を含む、内面に条痕文	早期末葉か
第79図4	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				6.0	破片	○	○	△	△	つまみ上げによる隆帯を作出、細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第79図5	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				17.0	破片	○	△	△	×	単節縄文による羽状縄文	関山式か
第79図6	31号住居	PJ-31	深鉢				86.0	破片	○	△	○	○	無節縄文、内外面に指頭調整痕が残る	中越式
第79図7	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				51.0	破片	△	△	△	○	繊維を含む、無節縄文による結節縄文	前期前葉
第79図8	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				35.0	破片	○	△	○	△	単節縄文、内外面に凹凸が激しい	前期前葉
第79図9	31号住居	PJ-31.中層	深鉢				56.0	破片	△	○	△	○	繊維を含む、底部尖底	中越式
第79図10	31号住居	PJ-31.中層	深鉢	－	－	6.5	76.0	破片	○	×	×	△	繊維を大量に含む平底	下吉井式
第79図11	31号住居	PJ-31.中層	深鉢か	－	－	8.8	24.0	破片	○	△	△	△	底部が内湾しやや高台状を呈す	前期か
第79図12	31号住居	IG-729	深鉢か	－	－	8.4	52.0	破片	○	△	○	△	底部はやや内湾する	前期か
第80図1	32号住居	PJ-32.下層	深鉢	(29.0)	－	－	23.0	破片	○	△	△	△	繊維を含む	前期前葉
第80図2	32号住居	PJ-32.下層	深鉢				13.0	破片	△	△	△	○	4本一単位の櫛歯状工具による細密沈線文、内外面に指頭調整痕が残る	木島式
第80図3	32号住居	PJ-32.下層	深鉢				172.0	破片	○	△	×	○	組紐	神之木式
第80図4	32号住居	PJ-32.下層	深鉢				257.0	1/8	△	△	×	△	繊維を含む、無節縄文	花積下層式
第82図1	33号住居	PJ-33.1 IG-727 PJ-31.6	深鉢	31.0	－	－	648.0	1/5	○	○	○	△	繊維を含む、単節縄文	神之木式
第82図2	33号住居	PJ-33.4 IG-778	深鉢	(33.0)	－	－	352.0	1/6	△	△	×	×	単節縄文	神之木式
第82図3	33号住居	PJ-33 IG-721 PJ-33.6 IG-809	深鉢	(32.0)	－	－	265.0	1/7	○	△	△	△	組紐、口唇部に櫛歯状工具による連続突文	神之木式、82-4と同一個体
第82図4	33号住居	PJ-33	深鉢	〃	－	－	31.0	〃	○	△	△	△	組紐、口唇部に櫛歯状工具による連続突文	神之木式、82-3と同一個体
第82図5	33号住居	PJ-33	深鉢	(27.0)	－	－	23.0	破片	△	△	△	△	繊維を含む、組紐、口唇に連続した三角形状の突起を作出	関山式か
第82図6	33号住居	PJ-33	深鉢	(28.0)	－	－	23.0	破片	○	○	○	○	口唇に櫛歯状工具による連続押し引き文	神之木式
第82図7	33号住居	IG-708	深鉢	(11.0)	－	－	21.0	破片	△	△	×	×	繊維を含む、単節縄文→半截竹管腹面による格子目状沈線文	関山Ⅱ式
第82図8	33号住居	PJ-33	深鉢	(28.0)	－	－	20.0	破片	◎	△	×	△	単節縄文、口唇に連続した原体圧痕	前期中葉か、82-10と同一個体
第82図9	33号住居	PJ-33	深鉢	(16.0)	－	－	16.0	破片	○	△	△	○	幅広の連続爪形文	堂ノ上Z式
第82図10	33号住居	PJ-33 IG846	深鉢	(26.0)	－	－	32.0	破片	◎	△	×	△	口唇に連続した原体圧痕	前期中葉か、82-8と同一個体
第82図11	33号住居	PJ-33	深鉢	(23.0)			20.0	破片	△	△	◎	△	口唇に櫛歯状工具による3列の連続刺突	神之木式
第82図12	33号住居	PJ-33	深鉢	(26.0)	－	－	79.0	破片	△	△	△	△	繊維を含む、口縁外面意コゲが付着	中越式か
第82図13	33号住居	IG-719	深鉢	(26.0)	－	－	73.0	破片	◎	◎	△	○		中期か
第82図14	33号住居	IG-721	深鉢	(24.0)	－	－	23.0	破片	○	△	×	△	繊維を含む	中越式か
第82図15	33号住居	PJ-33	深鉢				35.0	破片	○	○	△	△	繊維を含む、タガ状隆帯	坂平式
第82図16	33号住居	IG-768	深鉢				22.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、組紐、半截竹管腹面による平行沈線	関山Ⅱ式、30-12と同一個体
第82図17	33号住居	PJ-33	深鉢				26.0	破片	○	△	×	△	繊維を含む、櫛歯状工具による条線文、内面に指頭調整痕が残る	中越式
第82図18	33号住居	IG-706	深鉢				27.0	破片	○	△	△	×	繊維を含む、櫛歯状工具による条線文	中越式か
第82図19	33号住居	PJ33	深鉢				22.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、単節縄文異条縄文	関山Ⅱ式
第82図20	33号住居	PJ-33 IG-897	深鉢	(27.0)	－	－	42.0	破片	△	△	△	△	繊維を含む、組紐	関山式か
第82図21	33号住居	PJ-33.3.5 PJ-31	深鉢				565.0	1/4	○	△	×	×	胴下部に無節縄文、内外面に凹凸が激しい、底部尖底か	中越式
第82図22	33号住居	PJ-33.2	深鉢	－	－	9.5	320.0	破片	○	△	△	×	単節縄文	前期中葉か
第88図1	38号住居	PJ-38.1 IG-416	深鉢	(15.0)	－	－	164.0	破片	○	△	×	△	棒状工具による単沈線を交互にめぐらし半隆帯を作出	井戸尻式第3段階
第88図2	38号住居	PJ-38.1 IG-69 DK-160	深鉢	15.8	－	－	213.0	1/8	○	△	△	○	隆線を横位にめぐらす→隆線上に連続刺突文、胴部は半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式。DK160は38号住居柱穴
第88図3	38号住居	DK-125 DK-160	深鉢				181.0	破片	○	○	△	△	棒状工具による単沈線で半隆帯を作出、貼付隆帯上は半截竹管の腹面による連続押引文	井戸尻式第3段階。DK160は38号住居柱穴
第88図4	38号住居	DK-139.1	深鉢				99.0	破片	△	△	×	△	棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線文、沈線間に連続刻目文	曽利Ⅰ式。DK139は38号住居柱穴
第88図5	38号住居	DK-160 DK-188	深鉢	－	－	8.4	349.0	破片	○	△	△	○	2本一単位の隆線を垂下→半截竹管の腹面による集合沈線、隆線上に連続刻目文→隆線脇を浅い単沈線で押さえる	曽利Ⅰ式。DK160・DK188は38号住居柱穴
第89図1	42号住居	炉	深鉢				5.0	破片	△	○	△	○	繊維を含む	前期前葉。炉出土。
第89図2	42号住居	炉	深鉢				12.0	破片	△	○	○	○	単節縄文	清水上Ⅱ式。炉出土。
第90図1	43号住居	PJ-43 ウメ. PJ-33.IG-718.719.796.845	深鉢				1,870.0		○	○	△	△	幅広の単沈線による逆U字状区画文、区画内に6本一単位の櫛歯状工具による条線文	曽利Ⅳ式。埋甕
第91図1	44号住居	IG-38	深鉢				57.0	破片	△	×	△	△	棒状工具による沈線文	前期前葉か
第91図2	44号住居	IG-703	深鉢				12.0	破片	○	○	×	△	単節縄文上、櫛歯状工具による連続刺突	神之木式
第91図3	44号住居	IG-531	深鉢				18.0	破片	△	△	○	△	4本一単位の櫛歯状工具による格子目状細密沈線文、内外面に指頭調整痕が残る	木島式
第91図4	45号住居	PJ-45	深鉢				17.0	破片	△	○	○	△	貝殻復縁文	早期末葉～前期初頭
第93図1	46号住居	炉.図-1.2.5.6.7.8	深鉢	(16.0)	－	－	595.0	2/3	○	△	△	○	半截竹管の腹面による縦位集合沈線文→不定間隔で同一工具による連続押引文	曽利Ⅰ式
第93図2	46号住居	PJ-46.20 IG-101	深鉢	(15.0)	－	－	283.0	1/5	△	△	×	△	半截竹管の腹面による縦位集合沈線文、黒色に仕上げていた可能性あり	曽利Ⅰ式、外面に二次被熱痕あり
第93図3	46号住居	PJ-46.6.7 PT-514	深鉢	(16.0)	－	－	205.0	1/8	△	△	△	○	2本一単位の隆線を貼りつけ棒状工具による単沈線で渦巻文を作出、棒状工具を用いた単沈線による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第93図4	46号住居	PJ-46	深鉢	(12.0)	－	－	62.0	破片	○	△	×	○	半截竹管腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第96図3	47号住居	IG-537.538	深鉢				20.0	破片	△	△	×	△	つまみ上げによる隆帯作出、櫛歯状工具による細密沈線文を内外面に施す、内外面に指頭調整痕が明瞭に残る	木島式
第96図4	47号住居	IG-897	深鉢				22.0	破片	△	○	○	△	繊維を含む、無節縄文	前期前葉か
第96図5	47号住居	IG-902	深鉢				30.0	破片	○	△	×	△	繊維を含む、無節縄文、半截竹管腹面による山形文、平行沈線文	関山Ⅱ式
第96図6	47号住居	PJ-47 IG-536.897.901	深鉢				80.0	破片	◎	△	△	△		中越式か
第97図1	48号住居	PJ-48	深鉢				34.0	破片	○	○	△	○	太い隆帯の貼り付け→隆帯上に指頭圧痕文、棒状工具による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式か
第97図2	48号住居	PJ-48	深鉢				14.0	破片	○	△	×	△	頸部は棒状工具による単沈で半隆帯を作出、胴部は半截竹管文による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第98図1	01号土坑	DK-1.1	深鉢	(22.0)	−	−	54.0		○	△	×	△		曽利式
第98図6	02号土坑	DK-2 図-1.2.3.6.7.8	深鉢	23.2	36.2	10.0	3,900.0	完形	○	○	△	○	幅広の低隆帯を横位にめぐらせる→低隆帯上を刺突文で充填、底隆帯脇は一部単沈線により押さえる	井戸尻式第3段階
第99図1	04号土坑	DK-4.2.3.12 TR-1	深鉢	36.0	48.0	10.0	2,409.0	1/3	○	○	△	○	眼鏡状の把手を貼り付け、隆線をU字状・直線状に貼り付ける、隆線上にはんさい連続押引き紋、半截竹管腹面による縦位集合沈線文、胴部上半から頸部にかけて摩滅が激しい	曽利Ⅰ式、内面に二次被熱痕あり、99-2と同一個体
第99図2	04号土坑	DK-4.4.6.11	深鉢	〃	〃	〃	895.0	〃	○	◎	△	△	頸部は幅広の隆帯と棒状工具による単沈線で文様を作出、胴部は半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式、摩滅が非常に激しい、99-1と同一個体
第100図1	8号土坑	図-2.7.8.9 IG-58	深鉢	(47.0)	−	−	720.0	破片	○	◎	△	○		曽利Ⅰ式か
第100図2	8号土坑	DK-8. 図-1.5	深鉢				217.0	破片	○	△	×	△	頸部に3条の隆線を貼り付ける、隆線上に連続刺突文	曽利Ⅰ式か
第100図3	8号土坑	図-10 IG-60	深鉢				275.0	破片	△	○	△	○	幅広の隆線上に半截竹管腹面による連続押引文、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第100図4	8号土坑	図-13.14.15. IG-58.59.407	深鉢				1,056.0	破片	△	△	×	△	隆線を人体状に貼り付け、隆線上は半截竹管腹面による連続押引文、半截竹管による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第100図5	8号土坑	図-6	深鉢				79.0	破片	○	○	△	○	半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式か
第101図1	39号住居	DK-39.1.2.3.9.10 図-1～16	深鉢	17.0	−	−	855.0	2/3	△	△	○	△	頸部は粘土紐貼り付けによる籠目文、胴部は幅広の底隆帯を貼り付け→隆帯上を単沈線により背割、棒状工具の単沈線による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式、外面の二次被熱痕激しい、籠目文部にコゲ付着
第101図2	39号住居	DK-39.7.8	深鉢				326.0		○	○	×	○	2本一単位の隆線を縦位に垂下、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式、内面に二次被熱痕あり
第101図3	62号土坑	DK62 図5.6.7.8	深鉢	(31.0)	−	−	128.0	破片	△	×	×	△	繊維をごく僅かに含む、無節縄文、ループ	花積下層式か
第101図4	62号土坑	DK-62 図-18	鉢か	(25.0)	−	−	29.0	破片	△	○	△	○	平行沈線間の連続爪形文	諸磯b式
第101図5	62号土坑	DK-62 図-3.4.9.11.12.13.15.16.17	深鉢	21.4	−	−	854.0	1/3	○	○	△	△	口唇は細かな連続刻目文、口縁部は半截竹管腹面による平行沈線文を施す際に浅い連続押引文の効果を加える、頸部は半截竹管腹面による斜位の集合沈線文	五領ヶ台Ⅰ式
第101図6	62号土坑	DK-62 図-10	深鉢				372.0	1/6	△	△	×	△	頸部上半は細い粘土紐貼り付けによる籠目文、頸部下半は2本の平行隆線間に蛇行する隆線をめぐらせる、胴部は2本一単位の隆線をU字状に貼り付け→半截竹管腹面による縦位集合沈線文、隆線上に連続刺突文	曽利Ⅰ式
第102図2	112号土坑	DK-112 図-1～21	深鉢	43.6	−	−	3,320.0		○	△	△	○	口縁部に幅広の隆帯を垂下(4単位)→隆帯上を単沈線で背割	井戸尻式第3段階
第102図3	112号土坑	DK-112 図-1	深鉢				93.0	破片	○	△	×	△	「X」字状の把手を貼り付ける、把手上は半截竹管腹面による平行沈線で背割、半截竹管腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ～Ⅱ式
第102図4	112号土坑	DK-112 図-3.12	深鉢				84.0	破片	△	○	△	△	隆線上を半截竹管腹面による連続押引文、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第103図1	77号土坑	DK-77.2	深鉢				164.0		○	△	×	△	「X」字状の把手を貼り付け半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第104図2	119号土坑	DK-119 図-1.2	浅鉢	(39.0)	−	−	661.0	破片	◎	△	△	○	口唇に短沈線をめぐらせる、一部にU字状の隆線を貼り付ける	中期中葉～後葉
第104図3	119号土坑	DK-119 図-3	深鉢	15.0	−	−	2,240.0	7/8	△	△	△	○	頸部に眼鏡上突起の貼り付け(4単位)、突起下に2本一単位の隆線を貼り付け(4単位)、逆U自浄の隆線を貼り付け(4単位)→隆線上に連続指頭文、逆U字じょう区画内にはんさい縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式、台付
第104図4	123・126号土坑	DK-123 図-1 DK-126	深鉢	13.8	28.2	8.5	1,217.0	4/5	△	△	△	○	2本一単位の隆線を縦位に垂下(3単位)→隆線上に連続刺突文、棒状工具を用いた単沈線による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第105図1	127号土坑	DK-127 図-2	深鉢	−	−	7.5	860.0		○	○	△	○	棒状工具を用いた2本一単位の単沈線を縦位に垂下→短沈線による逆ハ字文	曽利Ⅴ式
第105図2	130号土坑	DK-130 図-2.3.5.6	浅鉢	(47.0)	−	−	510.0		△	○	△	△	口唇に集中した単沈線による文様描出、内面にも文様を展開	曽利Ⅰ式
第106図1	135号土坑	DK-135	深鉢				21.0		○	△	×	△	組紐	神之木式
第106図2	135号土坑	DK-135	深鉢				8.0		○	△	×	△	単節縄文、原体押圧	神之木式
第106図3	135号土坑	DK-135	深鉢				57.0		△	△	×	×	繊維を含む、組紐→半截竹管腹面による平行沈線文	関山Ⅱ式
第107図1	137号土坑	DK-137 図-1.2	深鉢				880.0		△	△	×	△	繊維を含む、底部尖底、胴部上半に斜位の条痕文、底部付近に撚糸文	早期末葉～前期初頭
第107図2	137号土坑	DK-137	深鉢				20.0	破片	△	○	○	○	繊維を僅かに含む、口唇に隆線貼り付け	下吉井式
第107図3	147号土坑	DK-147 図-1	深鉢	31.0	33.0	8.5	2,932.0	4/5	○	△	△	○	口縁は細い粘土紐貼り付けによる幾何学状のモチーフを描く、突起は4単位、胴部は2本一単位の隆線を垂下(5単位)、隆線上に連続刺突文、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	井戸尻式第3段階
第108図1	151号土坑	DK-151 図-10.14.15.16.17.19.25.28.30.31.32.33.34.36.37.41.42.43.44.48	深鉢	27.5	48.0	12.5	8,400.0	9/10	○	△	△	○	頸部に眼鏡上突起の貼り付け(2単位)→2本一単位の隆線を縦位に垂下(5単位)、U字状に貼り付け(2単位)、隆線上を半截竹管腹面による連続押引文、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第108図2	151号土坑	DK-151 図-13.18.26.27.29.30.35.38.39.40.45.46.47.50.51.52.53.60～67	深鉢	54.0	88.0	21.0	#######	1/2	○	△	△	○	2本一単位の隆帯を垂下、対向U字状隆帯を貼り付け、隆帯上に連続刺突文、対向U字状区画内に棒状工具を用いた単沈線に縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第109図3	200号土坑	DK-200 図-1	深鉢	−	−	6.8	269.0	1/5	○	○	△	○	棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線文、外面に二次被熱痕あり、内面からか断面にかけてコゲ付着、転用された土器	曽利Ⅰ～Ⅱ式
第110図1	205号土坑	DK-205 図-2.5.6	深鉢	27.4	−	−	3,740.0	3/4	○	△	×	△	口縁部は幅広の隆帯を渦巻状・直線状に貼り付ける、胴部は2本一単位の隆線を直線状に垂下(3単位)、U字状に貼り付ける(2単位)、隆線上に連続刺突文、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第110図4	209号土坑	DK-209	深鉢				79.0		○	○	○	△	単節縄文→連続爪形文、「C」字状の竹管	諸磯b式
第111図1	213号土坑	DK-213 図-1.3	深鉢	25.2	−	−	532.0	1/4	△	○	×	△	繊維を含む、底部尖底、内外面に指頭調整痕が明瞭に残る	中越式
第111図2	213号土坑	DK-213	深鉢				15.0		○	△	△	○	櫛歯状工具による条線文、刺突文	前期中葉～後葉
第111図3	213号土坑	DK-213	鉢				31.0		○	△	△	△	繊維を含む、単節縄文→半截竹管腹面による幾何学状沈線文	関山Ⅱ式
第111図4	213号土坑	DK-213	深鉢				25.0		○	△	×	△	単節縄文(撚り戻し)	前期中葉～後葉
第112図1	214号土坑	DK-214	深鉢				12.0		○	△	○	△	連続爪形文	諸磯b式
第112図2	214号土坑	DK-214	深鉢				47.0		○	○	△	○	半截竹管腹面による平行沈線文、矢羽状	前期末葉～中期初頭
第112図3	214号土坑	DK-214	深鉢				33.0		○	△	×	△	棒状工具を用いた単沈線による平行沈線	諸磯a～b式
第112図4	214号土坑	DK-214	深鉢				14.0		○	△	△	×	半截竹管腹面による沈線文	諸磯a式
第112図6	217号土坑	DK-217	深鉢				93.0		○	△	×	△	単節縄文、焼成後の穿孔あり	前期中葉～後葉

図版番号	遺構番号	注記番号	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重さ(g)	残存度	長石	石英	雲母	角閃石	特徴、胎土質、出土位置	備　考
第112図7	217号土坑	DK-217 図-1	深鉢	(17.0)	－	－	37.0		○	○	◎	△	無節縄文、内削ぎ状の口縁	釈迦堂Z3式
第112図8	217号土坑	DK-217.図-5	深鉢				61.0		△	△	△	△	0段多条縄文、羽状縄文	前期中葉
第113図1	243号土坑	DK-243 図-1.2	深鉢	38.0	－	－	1,486.0		△	△	×	△	頸部は幅広の底隆帯上に棒状工具による短沈線を交互にめぐらす、胴部は隆線の貼り付け→隆線上に連続刺突文、棒状工具を用いた単沈線による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第114図1	252号土坑	DK-252 図-3	深鉢	12.3	－	－	1,667.0	完形	△	△	×	△	口縁から胴部にかけて2本一単位の隆線を「J」字状に貼り付ける(2単位)、胴部は半截竹管腹面による縦位集合沈線文→隆線脇を幅広の単沈線で押さえる	曽利Ⅰ式、外面の二次被熱痕激しい
第114図2	252号土坑	DK-252 図-1.2	深鉢	15.0	24.3	8.7	1,231.0	4/5	○	△	△	○	棒状工具を用いた単沈線による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第115図1	43号土坑	DK-43.1	深鉢				8.0		△	△	△	△	半截竹管腹面による縦位集合沈線文	前期末葉～中期初頭
第115図2	43号土坑	DK-43	土製品(耳飾)				5.0		△	△	×	△	前面に丁寧なミガキ	前期後葉か
第115図3	81号土坑	DK-81	深鉢				50.0		○	◎	○	×	単節縄文、結節縄文	前期後葉
第115図4	81号土坑	DK-81	深鉢	(27.0)	－	－	62.0		○	△	×	×	繊維を含む、外面と口縁内面に単節縄文(撚り戻しか)	花積下層式
第115図5	80号土坑	DK-80.1	深鉢				92.0		○	○	△	○	隆線貼り付け→隆線上に連続刺突文	曽利Ⅰ式
第115図6	91号土坑	IG-108	深鉢	－	－	12.6	234.0	1/4	◎	◎	△	◎	半截竹管腹面による浅く鋭利な縦位集合沈線文	前期か
第115図7	92号土坑	DK-92	深鉢	(14.0)	－	－	150.0		○	○	△	○		曽利式
第115図8	108号土坑	DK-108.1	深鉢	(23.0)	－	－	30.0	破片	△	△	×	×	繊維を含む、無節縄文、結節縄文	前期初頭
第115図9	108号土坑	DK-108	深鉢	(22.0)	－	－	21.0	破片	○	△	◎	△	口唇に短い粘土紐を貼り付ける、口縁は単節縄文→浮線文、浮線文上は連続刺突文	諸磯b式
第115図10	114号土坑	DK-114	深鉢				9.0	破片	◎	△	△	△	連続爪形文	諸磯a～b式
第115図11	114号土坑	DK-114	深鉢				17.0	破片	○	○	△	△	連続爪形文による木葉状文	諸磯a～b式
第115図12	115号土坑	DK-115	深鉢	(22.0)	－	－	34.0	破片	△	△	×	○	単節縄文	前期後葉
第115図13	115号土坑	DK-115 図-1	深鉢	－	－	10.2	326.0	破片	△	◎	◎	△	無節縄文	前期前葉か
第115図14	127号土坑	DK-127 図-4～7. 11～15	深鉢	27.7	(38.0)	－	2,120.0	1/2	○	○	△	△	半截竹管腹面による米字状文、集合沈線文、口唇部は連続刻目文	諸磯a式
第115図15	128号土坑	DK-128	深鉢	(14.0)	－	－	13.0	破片	△	△	×	○	連続爪形文、円形竹管文	諸磯b式
第115図16	129号土坑	DK-129	深鉢				59.0	破片	○	○	△	△	幅広の隆線貼り付け	中期中葉～後葉
第115図17	154号土坑	DK154-3	深鉢				122.0	破片	○	△	×	○	幅広の隆帯を貼り付け→半截竹管腹面による平行沈線文で隆帯を背割、半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第115図18	167号土坑	DK-167	深鉢				24.0	破片	△	△	×	×	単節縄文→隆線を貼り付け→隆線上に連続刺突文	前期後葉か
第115図19	174号土坑	DK-174 IG-426	深鉢	(23.0)	－	－	82.0	破片	△	◎	○	△	口縁部の微隆起線上に連続した鋭利な刻み、胴部は櫛歯状工具による細密沈線文、内面に指頭調整痕が残る	木島式
第115図20	181号土坑	DK-181.1.2	深鉢	(15.0)	－	－	102.0	破片	○	△	○	△	無節縄文、内削ぎ状の口縁、外面に凹凸が激しい	釈迦堂Z3式
第115図21	181号土坑	DK-181.8	深鉢				24.0	破片	○	○	△	△	組紐か	神之木式
第115図22	181号土坑	DK-181	深鉢				12.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、直前段合撚	関山式
第115図23	181号土坑	DK-181.7	深鉢	(23.0)	－	－	12.0	破片	○	○	◎	△	単沈線内に連続刺突文	諸磯a式か
第115図24	181・217号土坑	DK-181.5.7 DK-217	深鉢				73.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、直前段合撚	関山式
第115図25	199号土坑	DK-199	深鉢				363.0	破片	○	◎	△	○	隆線の貼り付け→半截竹管腹面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第115図26	208号土坑	DK-208 図-2.3.5	深鉢	13.6	－	－	859.0	4/5	○	○	△	○	2本一単位の隆線を「U」字状に貼り付ける(2単位)、隆線上を半截竹管腹面による連続押引文、半截竹管腹面による縦位集合沈線	曽利Ⅰ式
第115図27	224号土坑	DK-224	深鉢	(27.0)	－	－	30.0	破片	○	△	△	△	複節縄文、口唇部に連続刺突文	前期中葉
第115図28	225号土坑	DK-225	深鉢				829.0	破片	○	○	×	△	粘土紐貼り付け→半截竹管腹面による縦位集合沈線文→隆線脇を単沈線で押さえる→隆線上に連続爪形文	曽利Ⅰ式
第115図29	228号土坑	DK-228.1	深鉢	15.0	－	－	309.0	1/5	△	△	×	○	半截竹管腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式
第120図1	108号ピット	PT-108 PJ-05	深鉢				32.0	破片	△	○	○	△	外面は貝殻条痕文→貝殻復縁文	清水上Ⅰ式
第120図2	110号ピット	PT-110.1	不明				10.0	破片	○	△	×	△	粘土紐接合部に穿孔と異なるが孔を有する、文様貼り付け全体が剥がれたものか	時期不明
第120図3	110・111号ピット	PT-110.1 図-1 PT-111	ミニチュア	7.2	－	－	66.0	1/3	○	△	×	△	口縁は粘土紐をつなぎ弧状に貼り付け、隆線上を単沈線で背割り胴部は棒状工具を用いた単沈線による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式、深鉢形
第120図4	114号土坑	PT-114	深鉢				29.0	破片	○	○	△	◎	斜位の浮線文、浮線上は鋭利な工具による沈線文	諸磯b式
第120図5	114号土坑	PT-114	深鉢				7.0	破片	△	○	×	△	連続爪形文	諸磯a式か
第120図6	122号ピット	PT-122 図-1 PJ-37.1	皿	11.0	4.8	8.0	126.0	破片	△	△	×	△		中期か
第120図7	150号ピット	PT-150	深鉢				92.0	破片	△	○	△	◎	半截竹管腹面による隆帯上を連続爪形文	曽利Ⅰ式
第120図8	156号ピット	PT-156	深鉢	(15.0)	－	－	12.0	破片	△	○	△	△	半截竹管腹面による連続爪形文	諸磯a式
第120図9	156号ピット	PT-156	深鉢				11.0	破片	○	○	△	×	半截竹管腹面によ平行沈線文	諸磯b式
第120図10	200号ピット	PT-200 図-1	深鉢	(30.0)	－	－	494.0	破片	△	△	×	○	幅広の低隆帯と幅広の単沈線により「Π」状の文様を作出、区画内に先端鋭利な工具による逆ハ字文、逆ハ字文はまず右下がりの単沈線を区画内に施した後左下がりの単沈線を施す	曽利Ⅳ式
第120図11	231号ピット	PT-231.1.3	深鉢				107.0	破片	○	○	×	△	頸部は隆線上に連続刻目文、胴部は棒状工具を用いた単沈線による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式
第120図12	501号ピット	PT-501	深鉢	16.5	－	－	36.0	破片	○	△	×	△	半截竹管覆面による縦位集合沈線文	曽利Ⅰ式か、内面に二次被熱あり
第120図13	503号ピット	PT-503.1	深鉢	(11.0)	－	－	52.0	破片	◎	◎	○	△	幅広の隆帯上を単沈線で背割、連続刺突文、胴部は半截竹管腹面による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式
第120図14	517号ピット	PT-517	深鉢				35.0	破片	○	○	△	△	隆線を垂下→隆線上に連続刺突文、棒状工具による縦位の集合沈線文	曽利Ⅰ式
第120図15	521号ピット	PT-521	深鉢	(12.0)	－	－	12.0	破片	△	△	×	△	繊維を含む、口縁につまみ上げによる微隆起帯を施す	前期初頭
第121図1	1号焼土	SD-1 図-1	深鉢				100.0	破片	○	△	△	△	半截竹管の腹面による平行沈線文、斜位の集合沈線文	五領ヶ台式、内面に被熱痕あり
第121図2	8号トレンチ	TR-8	深鉢				78.0	破片	△	△	△	○	棒状工具による単沈線、単節縄文	称名寺式中段階
第121図3	遺跡一括	IG-929(PJ22内)	深鉢	(20.0)	－	－	28.0	破片	△	×	×	△	繊維を含む、無節縄文、口唇に円形の突起を貼り付ける	前期初頭か
第121図4	遺跡一括	IG-638	深鉢				22.0	破片	△	○	○	△	半截竹管の腹面による平行沈線文、区画文、細かな格子目縄文	前期末葉
第121図5	遺跡一括	05-45	深鉢	(9.0)	－	－	13.0	破片	○	△	△	○	櫛歯状工具による連続刺突文、斜位の条線文	神之木式
第121図6	遺跡一括	05-45	深鉢				33.0	破片	△	△	×	△	櫛歯状工具による連続刺突文	神之木式

山崎遺跡鉄観察表

図版番号	処理番号	遺構名	種類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚み (mm)	重量 (g)	備考
第38図6	37014	10号住居	紡錘車	14.5	0.7	0.7	20.0	
第38図7	35221	10号住居	鉄族	24.0	8.0	0.5	38.6	

山崎遺跡石器観察表

図版番号	遺構名	注記	器種	石材(確認済)	刃部加工 (剥離技術)	成形・ 成形加工	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量(g)	所見
第10図21	1号住居	PJ 1 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	16.5	12.7	3.3	0.4	
第10図22	1号住居	PJ 1 51	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	13.5	14.2	3.0	0.4	
第10図23	1号住居	PJ 1 112	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	20.1	13.3	3.6	0.5	
第10図24	1号住居	PJ 1 153	石鏃	赤チャート	S'P	S'P	16.9	12.3	2.2	0.3	
第10図25	1号住居	PJ 1	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.2	11.2	2.7	1.3	未製品
第11図1	1号住居	PJ 1 52	尖頭器	黒曜石	正反S'P	正反S'D	30.3	24.6	8.7	3.8	
第11図2	1号住居	PJ 1	素刃削器	黒曜石	mf	S'P	21.8	26.0	8.9	3.3	
第11図3	1号住居	PJ 1 65	石器未製品	黒曜石	なし	反HD	26.5	23.2	7.9	3.5	
第11図4	1号住居	PJ 1	素刃削器	黒曜石	mf	反S'P	34.3	17.9	8.8	3.3	
第11図5	1号住居	IG 138	削器	黒曜石	S'P	なし	47.4	33.4	15.2	14.7	
第11図6	1号住居	PJ 1	素刃削器	黒曜石	mf	S'P	29.5	15.4	3.7	1.6	
第11図7	1号住居	PJ 1 54	石箆	黒曜石	正反S'P	正反S'D	37.7	25.6	9.1	7.2	
第11図8	1号住居	IG 151	石錐	黒曜石	正・稜上反S'P	なし	44.4	14.4	8.3	3.5	
第11図9	1号住居	PJ 1 54	石錐	黒曜石	正反S'P	正反S'P	33.8	23.2	11.5	5.7	
第11図10	1号住居	PJ 1	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	17.9	15.2	7.0	1.8	
第12図1	1号住居	IG 136	石器未製品	黒曜石	なし	HD	33.5	25.7	11.8	7.6	
第12図2	1号住居	PJ 1	横形石匙	黒曜石	正反S'P	正反S'P	17.3	27.4	6.5	2.0	
第12図3	1号住居	PJ 1	粗製石匙	黒曜石	mf	HD	21.3	23.0	6.1	1.6	
第12図4	1号住居	PJ 1	磨石類	安山岩			78.0	62.0	57.0	426.0	
第12図5	1号住居	PJ 1 96	磨石類	安山岩			163.0	67.0	56.0	977.0	
第12図6	1号住居	PJ 1 ｶｸﾗﾝ	磨石類	安山岩			109.0	92.0	52.0	666.0	
第12図7	1号住居	PJ 1 143	磨石類	砂岩			78.0	53.0	28.0	126.0	
第12図8	1号住居	IG 741	石核	黒曜石			48.0	52.0	24.0	71.4	
第12図9	1号住居	PJ 1	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	24.0	17.1	6.5	1.7	
第12図10	1号住居	PJ 1 53	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	44.3	18.1	12.3	5.3	石錐？
第12図11	1号住居	PJ 1	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	29.5	26.3	6.8	4.0	
第13図1	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	36.4	39.9	14.6	18.0	
第13図2	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	29.0	21.5	14.4	8.9	
第13図3	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	33.7	19.9	16.6	8.0	
第13図4	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	19.1	37.5	13.3	8.0	
第13図5	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	27.3	31.9	16.8	14.1	
第13図6	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	38.8	26.2	16.6	15.5	両極打撃？
第13図7	1号住居	IG 743	石核	黒曜石	HD	なし	32.1	29.1	9.6	8.0	
第13図8	1号住居	PJ 1	石核	黒曜石	HD	なし	22.1	18.1	12.3	4.2	
第14図1	1号住居	IG 134	石核	黒曜石	HD	なし	15.2	25.5	11.3	3.4	
第14図2	1号住居	PJ 1	剥片	黒曜石	なし	なし	19.4	27.1	7.3	1.9	
第14図3	1号住居	PJ 1	剥片	黒曜石	なし	なし	36.2	19.1	10.9	4.7	
第14図4	1号住居	PJ 1	剥片	黒曜石	なし	なし	35.6	23.1	10.4	5.9	
第14図20	2号住居	PJ 2 34	石核	黒曜石			51.0	39.0	25.0	51.6	
第14図21	2号住居	PJ 2 33	砕片	黒曜石			41.0	31.0	11.0	14.6	
第15図11	3号住居	PJ 3 1	原石	黒曜石			51.0	38.0	25.0	44.6	
第15図12	3号住居	PJ 3 15	磨石類	安山岩			135.0	70.0	43.0	553.0	
第15図13	3号住居	PJ 3 図2	磨石類	安山岩			105.0	79.0	65.0	735.0	
第16図2	4号住居	IG 685	磨石類	安山岩			96.0	76.0	42.0	487.0	
第19図5	5号住居	PJ 5 153	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	18.6	15.7	4.0	0.8	
第19図6	5号住居	PJ 5	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	22.9	15.0	5.1	1.2	未製品
第19図7	5号住居	PJ 5	石鏃	珪質頁岩	S'P	S'P	24.3	17.4	3.3	1.4	未製品
第19図8	5号住居	PJ 5	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	19.8	18.0	4.8	1.7	未製品
第19図9	5号住居	PJ 5	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	24.5	18.1	5.7	2.1	石鏃未製品
第19図10	5号住居	PJ 5 202	尖頭器？	頁岩	S'P+HP	S'P	63.4	36.5	8.7	19.0	部分的に鋸歯

山崎遺跡石器観察表

第19図11	5号住居	PJ 5	掻器	黒曜石	S'P	S'P	22.9	20.7	7.0	2.1	
第19図12	5号住居	PJ 5	削器	黒曜石	S'P	なし	28.7	15.2	5.2	1.5	
第19図13	5号住居	PJ 5	削器	黒曜石	S'P	反S'P	28.3	15.1	7.2	1.9	
第20図1	5号住居	PJ 5 59	削器	黒曜石	S'P	S'P	32.7	19.2	8.6	3.0	
第20図2	5号住居	PJ 5 5	削器	黒曜石	S'P	なし	22.5	24.0	8.0	3.3	
第20図3	5号住居	PJ 5	素刃削器	黒曜石	mf	正反S'P	27.9	17.2	5.0	1.7	
第20図4	5号住居	PJ 5	石錐	黒曜石	正反S'P	正反S'P	23.9	17.9	4.4	1.5	
第20図5	5号住居	PJ 5 80	横形石匙	安山岩	S'P	正反(HD+S	30.7	66.4	8.5	14.3	
第20図6	5号住居	PJ 5 50	縦形石匙	珪質頁岩	正反S'P	正反(HD+S	34.3	23.7	7.4	5.2	
第20図7	5号住居	PJ 5 68	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	68.1	45.3	14.7	47.0	
第20図8	5号住居	PJ 5 90	打製石斧	砂岩	HD	HD	78.8	43.3	15.8	61.0	
第20図9	5号住居	PJ 5 146	打製石斧	頁岩	HD	HD	86.2	51.2	17.1	67.0	
第21図1	5号住居	PJ 5 164	打製石斧	頁岩	HD	HD	69.2	37.6	17.5	50.0	
第21図2	5号住居	PJ 5 131	打製石斧	安山岩	HD	HD	130.0	69.4	21.9	179.0	
第21図3	5号住居	PT 444	打製石斧	砂岩	HD	HD	81.7	51.7	17.3	89.0	
第21図4	5号住居	PJ 5 182	磨石類	安山岩			105.0	43.0	40.0	237.0	
第21図5	5号住居	PJ 5 図2	磨石類	安山岩			90.0	59.0	56.0	550.0	
第21図6	5号住居	PJ 5 253	磨石類	安山岩			102.0	73.0	42.0	430.0	
第21図7	5号住居	PJ 5 93	ハンマー	ホルンフェルス			135.0	35.0	15.0	67.0	ハンマー？
第21図8	5号住居	PJ 5 100	石棒	緑色岩			87.0	40.0	32.0	174.0	
第21図9	5号住居	PJ 5 44	石核	安山岩	HD	なし	39.1	62.9	18.7	47.0	
第22図1	5号住居	PJ 5 112	石核	黒曜石	HD	なし	39.0	26.6	13.2	10.5	
第22図2	5号住居	PJ 5	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	30.9	19.1	11.8	4.4	
第22図3	5号住居	PJ 5 121	使用痕剥片	ホルンフェルス	mf	なし	91.1	39.0	8.1	25.0	
第22図4	5号住居	PJ 5	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	22.0	12.2	3.2	0.6	
第22図5	5号住居	PJ 5	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	29.0	15.4	8.7	3.3	
第22図6	5号住居	PJ 5	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	29.8	18.2	9.9	2.8	
第22図7	5号住居	PJ 5 75	使用痕剥片	頁岩	mf	なし	66.1	55.2	12.7	53.0	
第22図8	5号住居	PJ 5	剥片	黒曜石	なし	なし	27.2	18.8	9.4	4.5	
第22図9	5号住居	PJ 5 109	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	56.8	17.6	11.5	6.8	石核整形剥片素材
第27図23	6号住居	PJ 6 332	磨石類	安山岩			111.0	84.0	41.0	558.0	
第28図1	6号住居	PJ 6 297	磨石類	安山岩			93.0	79.0	53.0	478.0	
第28図2	6号住居	PJ 6 283	磨石類	安山岩			115.0	70.0	58.0	539.0	
第28図3	6号住居	PJ 6 180	磨石類	安山岩			86.0	59.0	59.0	390.0	
第28図4	6号住居	PJ 6 334	磨石類	安山岩			134.0	114.0	78.0	1280.0	
第28図5	6号住居	PJ 6 181	磨石類	安山岩			80.0	74.0	50.0	377.0	
第28図6	6号住居	PJ 6 333	磨石類	安山岩			108.0	77.0	28.0	327.0	
第28図7	6号住居	PJ 6 308	磨石類	安山岩			100.0	78.0	42.0	307.0	
第28図8	6号住居	PJ 6B 408	磨石類	凝灰質砂岩			95.0	73.0	56.0	562.0	
第28図9	6号住居	PJ 6B 402	磨石類	安山岩			106.0	66.0	50.0	496.0	
第28図10	6号住居	PJ 6 5	磨石類	安山岩			85.0	57.0	47.0	293.0	
第28図11	6号住居	PJ 6 69	磨石類	安山岩			95.0	75.0	40.0	288.0	
第28図12	6号住居	PJ 6B 433	磨石類	安山岩			127.0	63.0	61.0	650.0	
第28図13	6号住居	PJ 6	台石	安山岩			350.0	511.0	98.0	22000.0	
第28図14	6号住居	PJ 6 335	台石	安山岩			237.0	294.0	86.0	10800.0	
第28図15	6号住居	PJ 6B 435	台石	安山岩			130.0	128.0	63.0	1193.0	
第29図1	6号住居	PJ 6B 431	磨製石斧	緑色岩			110.0	41.0	24.0	155.0	
第29図2	6号住居	PT 382	磨製石斧	緑色岩			109.0	42.0	10.0	61.0	再生品？
第29図3	6号住居	PJ 6 413	磨製石斧	蛇紋岩			49.0	32.0	9.0	24.6	
第29図4	6号住居	PJ 6 147	原石	黒曜石			37.0	19.0	19.0	16.7	
第30図22	39号住居	PJ 39 70	磨石類	安山岩			122.0	80.0	57.0	752.0	
第30図23	39号住居	PJ 39 69	磨石類	安山岩			124.0	91.0	52.0	925.0	
第30図24	39号住居	PJ 39 71	磨石類	安山岩			124.0	58.0	69.0	851.0	

山崎遺跡石器観察表

第30図25	39号住居	PJ 39 20	磨石類	安山岩			130.0	77.0	28.0	442.0	
第30図26	39号住居	PJ 39 68	磨石類	安山岩			161.0	109.0	42.0	903.0	
第30図27	39号住居	IG 841	石柱	デイサイト			292.0	161.0	168.0	11300.0	
第32図7	13号住居	PJ 13 165	磨石類	砂岩			82.0	103.0	44.0	430.0	
第32図8	13号住居	PJ 13 173	多孔石	安山岩			194.0	138.0	86.0	2620.0	
第37図1	9号住居	PJ 11 5	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	18.7	17.5	3.6	0.9	
第37図2	9号住居	PJ 9	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	19.7	15.5	4.9	1.1	
第37図3	9号住居	PJ 9	削器	頁岩	S'P	S'P	44.4	36.4	4.4	8.0	右辺摩滅
第37図4	9号住居	PJ 9	石錐	黒曜石	S'P	なし	27.2	20.3	9.1	4.3	
第37図5	9号住居	PJ 10 2	掻器	黒曜石	S'P	S'P	28.7	23.3	11.3	5.8	
第37図6	9号住居	PJ 9	削器	珪質頁岩	HD	HD	48.9	46.4	12.5	25.0	刃部鋸歯
第37図7	9号住居	PJ 9 204	横形石匙	頁岩	反HP	HD+S'P	41.6	70.3	10.1	19.9	
第37図8	9号住居	PJ 9 158	打製石斧	頁岩	HD	HD	86.6	54.9	21.5	99.0	
第37図9	9号住居	PJ 9	石器未製品	黒曜石	なし	正反S'P	31.2	21.6	10.6	5.6	
第37図10	9号住居	PJ 9 215	磨石類	安山岩			120.0	89.0	53.0	568.0	
第37図11	9号住居	PJ 9 157	磨石類	安山岩			109.0	79.0	54.0	422.0	
第37図12	9号住居	PJ 9 207	磨石類	安山岩			100.0	59.0	44.0	339.0	
第37図13	9号住居	PJ 9 156	磨石類	安山岩			91.0	65.0	31.0	252.0	
第37図14	9号住居	IG 228	磨石類	凝灰岩			54.0	48.0	9.0	36.0	
第38図1	9号住居	PJ 9 216	石皿	凝灰岩			188.0	142.0	64.0	1787.0	
第38図2	9号住居	PJ 9 119	磨製石斧	頁岩			52.0	21.0	9.0	28.0	
第38図3	9号住居	PJ 9 38	原石	黒曜石			58.0	29.0	18.0	53.8	
第38図4	9号住居	PJ 9 155	大珠	ヒスイ			99.0	42.0	22.0	216.0	
第38図5	9号住居	PJ 9 219	石柱	安山岩			134.0	508.0	97.0	7380.0	
第40図4	12号住居	PJ 12 炉	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.5	10.5	3.1	0.4	
第40図5	12号住居	PJ 12 32	削器	黒曜石	S'P	正反S'P	26.8	14.7	3.8	0.8	
第40図6	12号住居	PJ 12	両極石器	黒曜石	HvD	HvD	19.0	19.4	11.2	3.6	
第40図7	12号住居	PJ 12	両極石器	珪質頁岩	HvD	HvD	23.0	17.2	7.3	3.7	
第40図8	12号住居	IG 82	打製石斧	安山岩	なし	HD	43.2	38.0	15.3	24.2	胴部断片
第40図9	12号住居	PJ 12 39	磨石類	安山岩			103.0	84.0	68.0	668.0	
第40図10	12号住居	PJ 12 23	磨石類	安山岩			78.0	61.0	40.0	176.0	
第41図1	12号住居	PJ 12	両面加工石器	珪質頁岩	正反HD	正反HD	55.1	38.3	13.5	26.0	
第41図2	12号住居	PJ 12	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	27.3	13.9	3.3	1.0	
第41図3	12号住居	PJ 12	石器未製品	チャート	なし	反S'P	31.6	18.8	6.4	3.4	
第41図4	12号住居	PJ 12	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	26.9	21.7	9.3	5.1	
第44図10	17号住居	PJ 17 68	石鏃	珪質頁岩	S'P	S'P	22.4	18.2	4.6	1.3	
第44図11	17号住居	IG 764	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	20.7	13.7	3.5	0.6	
第44図12	17号住居	PJ 17 209	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	26.1	9.7	2.6	0.6	未製品
第44図13	17号住居	PJ 17	石鏃	チャート	S'P	S'P	25.1	15.9	6.5	2.1	
第44図14	17号住居	PJ 17	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	14.1	21.6	6.7	1.6	
第44図15	17号住居	PJ 17	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	13.0	10.3	2.4	0.3	未製品
第44図16	17号住居	PJ 17	削器	黒曜石	S'P	なし	24.2	15.4	4.7	1.2	
第44図17	17号住居	PJ 17 6	削器	砂岩	正反HP	正反HD	51.5	84.7	15.7	74.0	
第45図1	17号住居	PJ 17 123	削器	珪質頁岩	反S'P	なし	56.2	28.2	13.0	10.7	
第45図2	17号住居	IG 72	削器	砂岩	正反HD	正反HD	47.0	64.2	17.4	51.9	
第45図3	17号住居	PJ 17 132	両極石器	ホルンフェルス	HvD	HvD	56.4	55.9	11.2	37.0	
第45図4	17号住居	PT230 1	削器	珪質頁岩	HP	HD	34.9	35.1	8.1	7.0	
第45図5	17号住居	PJ 17	石器未製品	黒曜石	なし	正反S'P	12.8	14.0	2.2	0.4	石錐？
第45図6	17号住居	PJ 17 209	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	17.6	13.9	4.4	0.8	
第45図7	17号住居	PJ 17	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	20.9	15.0	6.7	1.3	
第45図8	17号住居	PJ 17	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	25.6	19.0	5.7	2.0	
第45図9	17号住居	PJ 17	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	21.3	22.5	7.8	3.1	
第45図10	17号住居	PJ 17 207	縦形石匙	ホルンフェルス	正反HP	HD	79.6	44.5	20.5	76.0	

山崎遺跡石器観察表

第45図11	17号住居	PJ 17 201	横形石匙	凝灰岩	反HP	HD	83.0	85.6	13.8	82.6	
第46図1	17号住居	PJ 17 100	打製石斧	頁岩	HD	HD	110.4	59.1	21.2	135.0	土擦痕
第46図2	17号住居	IG 316	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	104.4	46.7	16.5	87.0	
第46図3	17号住居	PJ 17 141	打製石斧	頁岩	HD	HD	99.1	64.5	21.7	122.0	
第46図4	17号住居	PJ 17	打製石斧	頁岩	HD	HD	54.0	41.1	15.0	36.0	
第46図5	17号住居	IG 319	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	105.3	48.9	16.9	90.0	
第46図6	17号住居	PT 325	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	72.1	42.2	13.5	43.0	
第46図7	17号住居	PJ 17 211	磨石類	デイサイト			133.0	90.0	54.0	710.0	
第46図8	17号住居	PJ 17 203	磨石類	安山岩			115.0	71.0	51.0	578.0	
第47図1	17号住居	PJ 17 187	磨石類	安山岩			88.0	75.0	49.0	274.0	
第47図2	17号住居	PJ 17 202	磨石類	安山岩			103.0	62.0	40.0	444.0	
第47図3	17号住居	PJ 17 99	磨製石斧	緑色岩			85.0	50.0	35.0	268.0	
第47図4	17号住居	PJ 17 204	石皿	安山岩			236.0	173.0	67.0	4500.0	
第47図5	17号住居	PJ 17 133	磨石類	緑色岩			47.0	20.0	7.0	12.0	
第47図6	17号住居	PJ 17 125	石核	ホルンフェルス	HD	なし	108.2	88.2	50.9	461.0	
第47図7	17号住居	PJ 17 208	使用痕剥片	砂岩	mf	なし	80.7	66.5	26.3	130.0	
第47図8	17号住居	IG 318	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	40.0	23.5	8.5	2.9	
第47図9	17号住居	IG 318	剥片	黒曜石	なし	なし	15.1	16.2	5.1	0.8	
第49図3	18号住居	PJ 18	掻器	珪質頁岩	mf	HD	60.5	28.2	15.9	21.0	
第49図4	18号住居	PJ 18	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	21.3	17.1	4.1	0.9	
第49図5	18号住居	PJ 18 33	横形石匙	ホルンフェルス	HD	HD	36.3	53.2	9.7	15.0	
第49図6	18号住居	PJ 18	粗製石匙	砂岩	mf	正反S'P	55.9	70.1	17.6	57.0	
第49図7	18号住居	PJ 18	打製石斧	砂岩	HD	HD	95.4	42.3	14.1	47.0	
第50図1	18号住居	PJ 18 30	磨石類	安山岩			100.0	60.0	41.0	404.0	
第50図2	18号住居	PJ 18	石核	珪質頁岩	HD	なし	33.3	29.8	7.9	10.0	
第50図3	18号住居	PJ 18 31	剥片	砂岩	なし	なし	109.8	80.7	26.7	169.0	
第50図4	18号住居	PJ 18 32	剥片	砂岩	なし	なし	108.6	97.5	29.6	179.0	
第50図5	18号住居	PJ 18 図1	石柱	デイサイト			182.0	554.0	172.0	20380.0	
第53図1	20号住居	PJ 20 107	磨石類	安山岩			93.0	67.0	59.0	353.0	
第53図2	20号住居	PJ 20 104	磨石類	安山岩			90.0	74.0	43.0	357.0	
第53図3	20号住居	PJ 20 103	磨石類	安山岩			82.0	63.0	62.0	431.0	
第53図4	20号住居	PJ 20 106	磨石類	安山岩			130.0	71.0	69.0	817.0	
第53図5	20号住居	PJ 20 85	原石	黒曜石			77.0	50.0	48.0	178.4	
第54図5	21号住居	PJ 21 63	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	19.8	15.2	3.9	0.8	
第54図6	21号住居	PJ 21	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	19.6	16.1	5.4	1.3	石鏃未製品
第54図7	21号住居	PT 318 2	石錐	ホルンフェルス	反HP	HD	45.1	48.9	12.6	27.0	
第55図1	318号ピット	PT 318図22	打製石斧	ホルンフェルス			96.0	49.0	21.0	134.0	
第55図2	318号ピット	PT 318図12	磨石類	安山岩			127.0	74.0	44.0	454.0	
第55図3	318号ピット	PT 318図14	磨石類	安山岩			102.0	70.0	41.0	470.0	
第55図4	318号ピット	PT 318図21	石皿	デイサイト			241.0	217.0	59.0	3785.0	
第55図5	318号ピット	PT 318. 1	磨製石斧	緑色岩			135.0	53.0	30.0	354.0	
第55図6	318号ピット	PT 318図10	ハンマー	砂岩			174.0	59.0	31.0	494.0	
第55図7	318号ピット	PT 318図23	ハンマー	安山岩			92.0	71.0	41.0	489.0	
第55図8	21号住居	PT 318	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	15.8	21.3	4.5	1.2	
第55図9	21号住居	PT 318 図8	使用痕剥片	ホルンフェルス	mf	なし	62.7	72.5	10.2	36.0	
第55図10	21号住居	PT 318 図19	使用痕剥片	頁岩	mf	なし	41.3	55.4	6.8	16.0	
第55図11	21号住居	PJ 21	剥片	黒曜石	なし	なし	22.9	20.7	7.9	2.4	
第55図12	21号住居	IG 378	剥片	黒曜石	なし	なし	33.7	30.7	11.4	5.6	
第56図1	21号住居	PJ 21 68	多孔石	安山岩			204.0	202.0	112.0	4300.0	
第56図2	21号住居	PJ 21 29	垂飾品	変成岩類	なし	P	38.9	19.2	11.5	11.4	
第56図3	22号住居	PJ 22 11	磨石類	安山岩			80.0	57.0	39.0	268.0	
第59図9	24号住居	PJ 24 21	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	27.8	16.0	4.6	1.3	
第59図10	24号住居	PJ 24 20	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	23.9	17.3	3.8	1.2	

山崎遺跡石器観察表

第59図11	24号住居	PJ 24 東-3	石鏃	黒曜石			16.2	15.9	3.3	0.5	
第60図1	24号住居	PJ 24	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	19.9	16.2	6.6	1.7	
第60図2	24号住居	PJ 24	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	21.0	15.7	3.6	0.8	
第60図3	24号住居	PJ 24 東-2	石鏃	黒曜石			18.1	10.5	2.8	0.3	
第60図4	24号住居	PJ 24	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	21.6	18.5	5.5	1.4	石鏃未製品？
第60図5	24号住居	IG 510	削器	黒曜石	S'P	反S'P	27.1	18.3	10.2	3.0	
第60図6	24号住居	PJ 24 17	削器	珪質頁岩	正反(S'P+S'D?)	なし	52.8	31.5	12.8	17.6	
第60図7	24号住居	PJ 24	石錐	黒曜石	正反S'P	なし	26.1	17.3	5.7	1.6	左辺微小剥離痕
第60図8	24号住居	PJ 24	石錐	黒曜石	正反S'P	正反S'P	39.3	17.3	9.8	5.1	
第60図9	24号住居	PJ 24	両極石器	黒曜石	HvD	HvD	23.3	17.6	10.4	3.1	
第60図10	24号住居	PJ 24 91	ハンマー	砂岩			100.0	34.0	29.0	190.0	
第60図11	24号住居	PJ 24 12	打製石斧	頁岩	HD	HD	108.7	51.4	20.5	85.0	
第60図12	24号住居	PJ 24	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	30.6	16.1	8.1	1.8	
第60図13	24号住居	PJ 24	使用痕剥片	珪質頁岩	mf	なし	35.6	30.3	6.8	7.4	
第61図1	24号住居	PJ 24	剥片	黒曜石	なし	なし	18.2	20.2	6.2	2.2	
第61図2	24号住居	PJ 24	剥片	黒曜石	なし	なし	19.4	18.0	10.5	2.7	石核整形剥片
第61図3	24号住居	PJ 24	剥片	黒曜石	なし	なし	29.6	12.3	7.8	2.0	
第61図4	24号住居	PJ 24	剥片	黒曜石	なし	なし	22.3	25.5	6.1	1.6	
第62図5	25号住居	PJ 25 54	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	14.9	14.6	2.7	0.3	
第62図6	25号住居	PJ 25 59	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	14.4	14.6	3.3	0.5	
第62図7	25号住居	PJ 25 50	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	18.1	16.2	4.1	0.7	
第62図8	25号住居	PJ 25	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	17.5	17.8	5.1	1.3	
第62図9	25号住居	PJ 25	両極石器	黒曜石	HvD	HvD	20.2	12.8	7.8	1.4	
第62図10	25号住居	PJ 25	石器未製品	黒曜石	なし	反S'P+mf	16.3	18.7	6.0	1.4	石錐？
第62図11	25号住居	PJ 25 23	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	108.2	44.2	19.1	102.0	
第62図12	25号住居	PJ 25 75	磨石類	安山岩			114.0	86.0	50.0	585.0	
第62図13	25号住居	PJ 25 53	石核	黒曜石	HD	なし	21.1	31.9	14.7	6.7	
第62図14	25号住居	PJ 25	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	25.4	15.7	5.4	1.8	石鏃未製品？
第63図1	25号住居	PJ 25 39	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	27.9	28.3	9.2	4.5	
第63図2	25号住居	PJ 25 39	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	35.1	21.8	6.2	3.4	
第63図3	25号住居	PJ 25 55	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	31.9	11.8	7.3	1.6	
第63図4	25号住居	PJ 25	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	13.4	18.9	4.8	0.8	
第63図5	25号住居	PJ 25	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	17.2	12.8	3.0	0.4	
第63図6	25号住居	PJ 25	剥片	黒曜石	なし	なし	16.6	20.2	4.1	0.8	
第68図9	26号住居	PJ 26 160	磨石類	安山岩			160.0	66.0	64.0	804.0	
第68図10	26号住居	PJ 26 124	磨石類	安山岩			101.0	67.0	46.0	534.0	
第69図9	36号住居	IG 565	打製石斧	ホルンフェルス			92.0	36.0	14.0	58.0	
第69図10	36号住居	PT 150	打製石斧	ホルンフェルス			113.0	44.0	15.0	80.0	
第69図11	36号住居	PJ 34 24	磨石類	安山岩			47.0	39.0	2.0	59.4	
第69図26	37号住居	PJ 26 180	磨石類	安山岩			75.0	69.0	33.0	240.0	
第69図27	37号住居	PJ 34 178	磨石類	安山岩			108.0	67.0	36.0	343.0	
第69図28	37号住居	PJ 34 54	磨石類	安山岩			107.0	47.0	26.0	219.0	
第70図8	34号住居	PJ 34	石棒	緑色岩			33.0	25.0	13.0	15.1	
第70図9	34号住居	PJ26 163	磨石類	安山岩			114.0	83.0	29.0	331.0	
第73図9	27号住居	PJ 27 116	磨石類	安山岩			82.0	70.0	27.0	222.0	
第73図10	27号住居	PJ 27 117	磨石類	安山岩			125.0	76.0	23.0	261.0	
第73図11	27号住居	PJ 27	磨石類	安山岩			86.0	77.0	52.0	359.0	
第73図12	27号住居	PJ 27	磨石類	安山岩			78.0	61.0	30.0	207.0	
第73図13	27号住居	PJ 27	磨石類	安山岩			105.0	64.0	46.0	439.0	
第73図24	73号土坑	DK 73 .17	磨製石斧	緑色岩			148.0	40.0	29.0	254.0	
第74図5	28号住居	PJ 28 37	磨石類	安山岩			152.0	63.0	53.0	728.0	
第76図3	29号住居	PT 14	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.5	15.3	4.1	0.7	未製品
第76図4	29号住居	PJ 29	石器未製品	珪質頁岩	なし	正反HD	21.7	29.7	11.5	7.0	石匙未製品？

山崎遺跡石器観察表

第76図5	29号住居	PJ 29	石錐	黒曜石	S'P	S'P	18.9	7.0	4.9	0.5	
第76図6	29号住居	PJ 29	剥片	ホルンフェルス	なし	なし	55.6	58.5	14.2	28.0	
第79図13	31号住居	PJ 31　29	磨石類	安山岩			94.0	69.0	44.0	416.0	
第79図14	31号住居	PJ 31　17	磨石類	安山岩			113.0	71.0	32.0	387.0	
第79図15	31号住居	PJ 31　15	磨石類	安山岩			105.0	57.0	48.0	444.0	
第79図16	31号住居	PJ 31　21	磨石類	安山岩			93.0	70.0	38.0	234.0	
第79図17	31号住居	PJ 31　18	磨石類	安山岩			111.0	69.0	35.0	425.0	
第79図18	31号住居	PJ 31　11	磨石類	安山岩			128.0	61.0	47.0	392.0	
第79図19	31号住居	PJ 31　16	磨石類	安山岩			109.0	77.0	40.0	344.0	
第79図20	31号住居	PJ 31　19	磨石類	安山岩			134.0	65.0	31.0	437.0	
第80図5	32号住居	PJ 32	削器	珪質頁岩	反S'P	なし	36.8	49.2	12.3	15.0	
第80図6	32号住居	IG 803	磨石類	安山岩			77.0	75.0	30.0	240.0	
第80図7	32号住居	PJ 32　下層	ハンマー	砂岩			107.0	58.0	34.0	241.0	
第80図8	32号住居	PJ 32	磨石類	安山岩			143.0	102.0	75.0	1492.0	
第80図9	32号住居	PJ 32　下層	石器未製品	珪質頁岩	なし	正反S'D	41.5	29.5	10.7	9.6	
第81図1	32号住居	IG 850	石器未製品	黒曜石	なし	正反S'P	25.0	19.5	8.2	3.0	
第81図2	32号住居	IG 702	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	21.3	31.6	5.4	2.0	
第81図3	32号住居	PJ 32	石核	黒曜石	HD	なし	22.7	32.1	16.6	9.9	
第82図23	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.5	14.7	3.3	0.4	
第82図24	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	20.8	14.1	2.7	0.4	
第82図25	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	22.3	13.1	4.8	0.7	
第83図1	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	28.6	21.7	6.2	2.0	未製品？
第83図2	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	30.8	25.3	9.1	5.6	未製品
第83図3	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	26.5	19.6	6.0	2.7	未製品
第83図4	33号住居	PJ 33下層	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	29.6	20.0	6.2	2.2	未製品
第83図5	33号住居	PJ 33	石錐	黒曜石	S'P	S'P	26.6	19.1	6.2	1.3	
第83図6	33号住居	PJ 33	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	22.0	18.6	10.2	2.0	未製品。瘤付き
第83図7	33号住居	PJ 33	石錐	珪質頁岩	S'P	なし	30.8	20.8	7.3	2.4	
第83図8	33号住居	IG 798	石錐	黒曜石	反S'P	なし	53.3	26.9	18.4	17.4	
第83図9	33号住居	PJ 33	削器	珪質頁岩	S'P	なし	69.9	51.3	13.9	35.0	
第84図1	33号住居	PJ 33	削器	珪質頁岩	S'P	なし	57.5	34.6	15.7	26.3	
第84図2	33号住居	PJ 33	削器	黒曜石	S'P	なし	17.3	22.1	6.2	1.9	両側辺強い摩滅
第84図3	33号住居	IG 780	素刃削器	黒曜石	mf	HD	16.4	27.7	8.1	3.5	
第84図4	33号住居	PJ 33	横形石匙	珪質頁岩	反S'P	正反(HD+S	32.4	49.3	7.4	9.1	
第84図5	33号住居	PJ 33	磨石類	安山岩			124.0	92.0	46.0	570.0	
第84図6	33号住居	PJ 33　8	磨石類	安山岩			143.0	73.0	39.0	478.0	
第84図7	33号住居	PJ 33　9	磨石類	安山岩			98.0	51.0	60.0	522.0	
第84図8	33号住居	IG 712	両極石器	ホルンフェルス	HvD	HvD	60.5	43.8	18.4	56.0	
第85図1	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	42.0	30.0	20.5	15.9	
第85図2	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	23.1	31.3	16.4	8.1	
第85図3	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	36.1	26.7	18.6	8.9	
第85図4	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	36.4	44.0	20.2	27.4	
第85図5	33号住居	IG 794	石核	黒曜石	HD	なし	19.4	47.1	10.7	6.7	
第86図1	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	21.3	31.6	15.7	8.9	
第86図2	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	17.1	30.0	11.6	5.0	
第86図3	33号住居	PJ 33	石核	黒曜石	HD	なし	17.6	28.2	17.5	6.9	
第86図4	33号住居	PJ 33下層	剥片	黒曜石			3.1	2.9	1.6	13.9	
第86図5	33号住居	PJ 33	使用痕剥片	ホルンフェルス	mf	なし	42.5	53.1	8.7	14.2	
第86図6	33号住居	IG 777	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	58.3	42.0	8.2	15.2	
第86図7	33号住居	PJ 33	削器	黒曜石	正反S'P	正反S'P	30.0	37.8	8.9	10.0	
第86図8	33号住居	IG 706	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	22.4	17.1	4.8	1.0	
第87図1	33号住居	PJ 33	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	31.5	20.7	9.1	4.9	
第87図2	33号住居	PJ 33	剥片	黒曜石	なし	なし	25.3	24.3	14.8	7.6	石核整形剥片

山崎遺跡石器観察表

第87図3	33号住居	PJ 33	裂片	黒曜石	なし	なし	35.6	26.0	17.9	12.1	
第87図4	33号住居	PJ 33	裂片	黒曜石	なし	なし	14.4	14.2	4.6	0.7	
第93図5	46号住居	PJ 46	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	22.8	21.8	4.2	1.7	未製品
第93図6	46号住居	PT 514	削器	砂岩	HD	なし	53.6	48.5	10.0	30.0	
第93図7	46号住居	PJ 46 18	削器	珪質頁岩	正反HP	正反HD	67.9	38.0	15.8	41.1	
第94図1	46号住居	PT 511	削器	頁岩	HD	なし	68.6	40.7	27.6	51.0	
第94図2	46号住居	PJ 46 22	両極石器	黒曜石	HvD	HvD	27.0	16.8	11.9	4.2	
第94図3	46号住居	PJ 46 9	両極石器	頁岩	HvD	HvD	51.1	45.7	16.0	44.2	
第94図4	46号住居	PJ 46	縦形石匙	黒曜石	反S'P	反HD	28.4	16.5	8.6	3.3	
第94図5	46号住居	PT 514	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	111.8	41.2	18.3	89.0	
第94図6	46号住居	PJ 46 17	磨石類	安山岩			106.0	90.0	4.9	323.0	
第94図7	46号住居	PJ 46 13	磨石類	安山岩			102.0	76.0	53.0	497.0	
第94図8	46号住居	PJ 46 15	磨石類	安山岩			102.0	72.0	43.0	439.0	
第95図1	46号住居	PJ 46 14	磨製石斧	蛇紋岩			60.0	20.0	11.0	20.1	
第95図2	46号住居	PJ 46 16	磨石類	安山岩			100.0	85.0	53.0	670.0	
第95図3	46号住居	PT 511	石核	珪質頁岩	HD	なし	45.7	40.5	13.2	20.0	
第95図4	46号住居	PT 514	石核	ホルンフェルス	HD	なし	86.9	58.5	29.8	151.0	
第95図5	46号住居	PJ 46 10	使用痕剥片	頁岩	mf	なし	117.5	40.7	15.0	65.3	
第95図6	46号住居	PJ 46	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	24.1	18.5	5.8	1.8	
第95図7	46号住居	PJ 46	使用痕剥片	砂岩	mf	なし	51.2	71.6	15.8	53.7	
第95図8	46号住居	PT 514	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	26.1	21.3	6.2	3.1	
第95図9	46号住居	PJ 46	剥片	珪質頁岩	なし	なし	53.6	41.3	10.4	18.3	
第96図1	46号住居	PT 511 1	原石	黒曜石	なし	なし	66.8	45.2	25.0	62.5	
第96図2	46号住居	PT 505	剥片	珪質頁岩	なし	なし	61.9	67.2	16.4	41.0	
第96図7	47号住居	PJ 47	台石	安山岩			405.0	455.0	116.0	41000.0	
第98図2	1号土坑	DK 1	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.1	15.1	3.3	0.6	
第98図3	1号土坑	DK 1	削器	黒曜石	正反S'P	正反S'P	16.5	22.7	6.8	1.8	あるいは石鏃
第98図4	1号土坑	DK 1	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	23.5	9.7	5.7	0.8	石鏃未製品
第98図5	1号土坑	DK 1	剥片	黒曜石	なし	なし	35.9	13.3	9.5	2.9	
第99図3	4号土坑	DK 4 8	磨製石斧	緑色岩			57.0	45.0	44.0	139.0	
第99図4	5号土坑	DK 5 2	ミニチュア石皿	安山岩			124.0	91.0	43.0	512.0	
第99図5	5号土坑	DK 5 1	磨石類	安山岩			101.0	83.0	61.0	656.0	
第100図6	112号ピット	PT 112(DK 8)	原石	白色頁岩			41.0	29.0	20.0	27.0	
第102図1	72号土坑	DK 72	削器	黒曜石	S'P	なし	42.0	20.6	10.2	7.1	
第103図2	77号土坑	DK 77 図2	ビーズ	滑石			9.0	9.0	5.0	0.5	ビーズ状石製品
第104図1	113号土坑	DK 113	石器未製品	ホルンフェルス			102.0	48.0	20.0	112.0	
第106図4	135号土坑	DK 135	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.9	14.7	4.3	0.7	
第106図5	135号土坑	DK 135	両極石器	黒曜石	HvD	HvD	22.9	14.4	7.8	2.8	
第106図6	135号土坑	DK 135	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	24.0	17.3	6.9	2.6	尖頭器類の未製品？
第106図7	135号土坑	DK 135	石核	チャート	HD	なし	37.3	33.7	10.4	12.8	
第106図8	135号土坑	DK 135	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	30.7	19.7	10.5	3.4	
第107図4	147号土坑	DK 147	打製石斧	凝灰岩	HD	HD	89.4	33.6	8.0	34.0	土擦痕
第108図3	151号土坑	DK 151 図1	打製石斧	頁岩	HD	HD	120.8	59.7	13.8	102.0	
第109図1	151号土坑	DK 151 68	ミニチュア石皿	安山岩			142.0	99.0	38.0	708.0	
第109図2	151号土坑	DK 151 図9	石皿	安山岩			198.0	218.0	63.0	3225.0	
第110図2	205号土坑	DK 205 図1	打製石斧	砂岩	なし	HD	88.2	52.7	21.6	79.0	刃部欠損
第110図3	207号土坑	DK 207	削器	黒曜石	S'P	なし	28.8	16.5	8.7	3.7	
第110図5	209号土坑	DK 209 図1	石皿	安山岩			157.0	137.0	98.0	2400.0	
第111図5	213号土坑	DK 213	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	18.6	11.4	3.2	0.5	
第111図6	213号土坑	DK 213	石核	黒曜石	HD	なし	18.4	35.9	12.3	6.5	
第111図7	213号土坑	DK 213	剥片	黒曜石	なし	なし	28.2	23.7	7.3	4.2	
第112図5	214号土坑	DK 214	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	31.9	19.4	8.7	2.7	
第112図9	217号土坑	DK 217 図2	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	14.2	17.8	3.9	0.6	

第112図10	217号土坑	DK 217	削器	珪質頁岩	S'P	なし	26.5	47.7	10.2	15.0	
第116図1	12号土坑	DK 12	石鏃	珪質頁岩	S'P	S'P	23.7	17.1	4.3	0.8	
第116図2	20号土坑	DK 20 2	打製石斧	頁岩	HD	HD	70.4	44.3	12.6	44.0	
第116図3	21号土坑	DK 21	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	21.8	13.2	3.1	0.8	
第116図4	26号土坑	DK 26	石鏃	チャート	S'P	S'P	15.7	14.9	2.5	0.4	
第116図5	43号土坑	DK 43 3	打製石斧	頁岩	なし	HD	40.5	33.1	11.0	15.0	刃部欠損
第116図6	58号土坑	DK 58 1	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	25.0	20.5	4.1	1.4	
第116図7	59号土坑	DK 59 1	石錐	黒曜石	HD	叩折	41.7	23.3	13.5	10.0	
第116図8	63号土坑	DK 63	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	33.1	14.2	7.0	2.8	
第116図9	71号土坑	DK 71	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	21.1	20.6	7.3	3.1	尖頭器類の未製品？
第116図10	74号土坑	DK 74	磨石類	安山岩			102.0	57.0	38.0	281.0	
第116図11	75号土坑	DK 75	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	18.5	12.6	3.0	0.4	
第116図12	92号土坑	DK 92 3	磨石類	安山岩			104.0	73.0	38.0	399.0	
第117図1	98号土坑	DK 98	裂片	ホルンフェルス	なし	なし	75.3	65.3	17.3	60.0	
第117図2	114号土坑	DK 114 1	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	14.3	22.2	3.2	0.5	
第117図3	116号土坑	DK 116 1	石核	黒曜石	HD	なし	32.9	32.6	12.4	12.3	
第117図4	125号土坑	DK 125	石器未製品	黒曜石	なし	正反S'P	22.0	11.2	6.0	1.2	
第117図5	126号土坑	DK 126	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	21.6	13.4	3.0	0.7	
第117図6	126号土坑	DK 126 図1	打製石斧	頁岩	HD	HD	88.8	45.1	17.2	77.0	土擦痕
第117図7	128号土坑	DK 128 1	磨石類	安山岩			103.0	72.0	52.0	617.0	
第117図8	129号土坑	DK 129 図2	磨石類	安山岩			101.0	94.0	57.0	701.0	
第117図9	131号土坑	DK 131	削器	珪質頁岩	反S'P	S'P	46.2	44.2	12.6	20.0	
第117図10	136号土坑	DK 136 図1	石皿	安山岩			192.0	126.0	58.0	1591.0	
第118図1	152号土坑	DK 152	剥片	砂岩	なし	なし	38.5	40.9	11.1	15.0	
第118図2	160号土坑	DK 160 図1	石皿	溶岩			247.0	211.0	54.0	2805.0	
第118図3	161号土坑	DK 161	両極石器	黒曜石	HvD	HvD	18.3	23.4	9.2	3.3	
第118図4	171号土坑	DK 171 1	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	21.0	14.4	3.9	0.7	
第118図5	173号土坑	DK 173	石器未製品	黒曜石	なし	S'P	19.7	17.9	4.8	1.6	
第118図6	178号土坑	DK 178	削器	珪質頁岩	S'P	反HD	36.1	40.3	18.6	20.0	
第118図7	181号土坑	DK 181 11	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	14.2	12.9	3.0	0.3	
第118図8	181号土坑	DK 181	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	21.0	14.4	4.0	0.7	
第118図9	181号土坑	DK 181 3	磨石類	安山岩			86.0	63.0	50.0	338.0	
第118図10	181号土坑	DK 181 10	削器	黒曜石	反S'P	なし	48.5	14.0	12.5	5.8	
第118図11	182号土坑	DK 182	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	16.5	12.1	3.6	0.3	
第118図12	188号土坑	DK 188	使用痕剥片	黒曜石	mf	なし	33.4	16.9	12.0	5.0	
第118図13	208号土坑	DK 208	石鏃	黒曜石	S'P	S'P	15.6	15.9	2.8	0.3	
第118図14	208号土坑	DK 208	両極剥片	黒曜石	HvD	HvD	21.3	15.2	5.6	1.5	
第119図1	221号土坑	DK 221	打製石斧	ホルンフェルス			52.0	51.0	22.0	68.0	
第119図2	221号土坑	DK 221 図1	磨石類	安山岩			105.0	94.0	51.0	774.0	
第119図3	231号土坑	DK 231	打製石斧	ホルンフェルス	HD	HD	83.2	39.0	8.5	34.0	
第119図4	244号土坑	DK 244	削器	黒曜石	S'P	叩折	29.4	23.6	10.5	6.3	
第119図5	251号土坑	DK 251	横形石匙	白色頁岩	S'P	正反(HD+S	31.1	25.1	7.0	3.7	
第120図16	167号ピット	PT167 1	打製石斧	砂岩	なし	HD	79.4	49.1	20.0	90.0	刃部欠損
第120図17	498号ピット	PT 498 1	磨石類	安山岩			91.0	74.0	10.0	419.0	
第120図18	498号ピット	PT 498 2	磨石類	安山岩			81.0	53.0	39.0	210.0	
第120図19	515号ピット	PT 515	削器	黒曜石	正反S'P	正反HD	57.5	25.3	11.4	13.3	
第121図7	トレンチ他	TR-5	削器	黒曜石	S'P	なし	43.0	19.1	9.9	5.8	
第121図8	遺構外	IG 917	垂飾	滑石			21.0	12.0	4.0	1.8	
第121図9	遺構外	IG 926	原石	黒曜石			42.0	37.0	19.0	30.8	
第121図10	遺構外	IG 109	削器	安山岩			136.0	64.0	37.0	470.0	
第121図11	遺構外	IG 192	磨製石斧	蛇紋岩			81.0	60.0	21.0	179.0	
第121図12	遺構外	IG 15	磨製石斧	緑色岩			96.0	43.0	38.0	226.0	